

福祉用具選択制の実施状況に関する追跡調査  
報告書

令和 8 年 3 月

一般社団法人日本福祉用具供給協会



---

# 目次

---

1.	事業概要.....	1
1.1	事業実施の目的.....	1
1.2	調査の進め方.....	1
1.2.1	特別委員会の設置.....	2
1.2.2	調査の実施.....	2
1.2.3	報告書の作成.....	7
1.3	特別委員会の開催.....	7
1.3.1	委員の構成.....	7
1.3.2	委員会の開催.....	9
2.	調査の結果.....	10
2.1	第3回調査:12か月後(令和7年5月実施).....	10
2.1.1	福祉用具貸与の継続の状況.....	10
2.1.2	福祉用具貸与の中止(福祉用具の回収)の状況.....	18
2.1.3	福祉用具販売の継続の状況.....	21
2.1.4	福祉用具販売の中止の状況.....	29
2.2	第4回調査:18か月後(令和7年11月実施).....	33
2.2.1	福祉用具貸与の継続の状況.....	33
2.2.2	福祉用具貸与の中止(福祉用具の回収)の状況.....	41
2.2.3	福祉用具販売の継続の状況.....	44
2.2.4	福祉用具販売の中止の状況.....	52
2.3	第1回~第4回(18か月間)の結果.....	56
2.3.1	第1回~第4回(18か月間)の推移.....	56
2.3.2	利用者ごとの「利用者負担額における分岐月数」と 「実際の利用期間」の比較.....	71
3.	調査のまとめ.....	78
3.1	選択制の実施状況について.....	78
3.1.1	貸与・販売(購入)の選択状況.....	78
3.1.2	貸与された福祉用具の状況.....	78
3.1.3	販売(購入)された福祉用具の状況.....	79
3.1.4	利用期間と費用負担の状況.....	80
3.1.5	調査結果のまとめ.....	80
3.2	今後に向けて.....	82
4.	参考資料.....	83
4.1	その他集計表.....	83
4.1.1	第3回調査:12か月後(令和7年5月実施).....	83
4.1.2	第4回調査:18か月後(令和7年11月実施).....	98
4.2	第3回調査票(令和7年5月実施).....	113
4.3	第4回調査票(令和7年11月実施).....	117



# 1. 事業概要

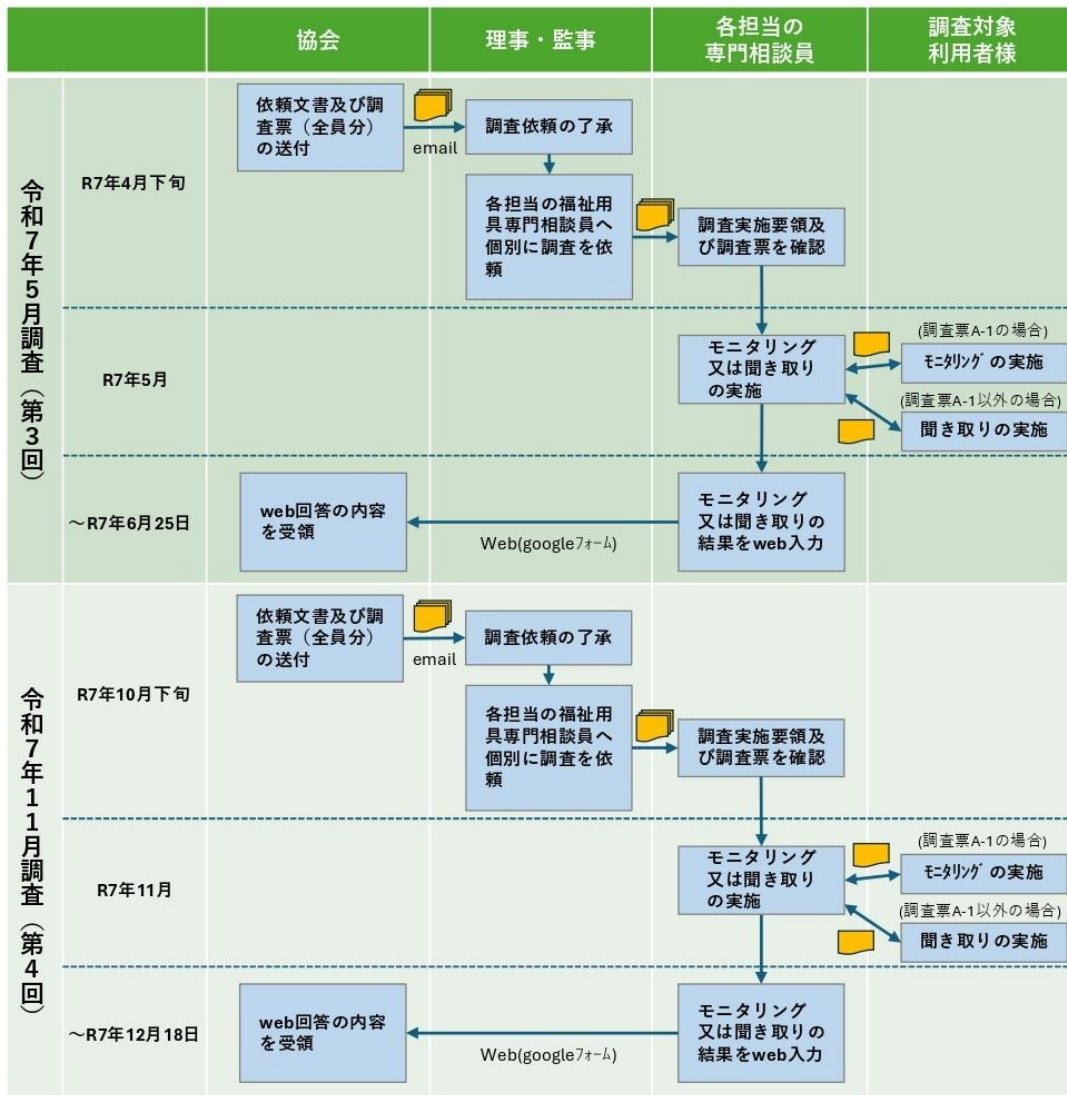
## 1.1 事業実施の目的

福祉用具の一部種目・種類に係る選択制が令和6年4月より施行され、当協会として同年度に「福祉用具選択制の実施状況に関する調査」を実施したところ。

本事業では、令和6年度調査の対象利用者を引き続き追跡調査することにより、主に以下の点に関する情報を収集・分析し、制度の課題等を整理することを目的とする。

- ・身体状況の変化に関する本人の見込みと実態の比較
- ・貸与又は販売を選択したことにより費用面で利益・不利益となった割合
- ・自己負担割合と選択判断の傾向
- ・利用者負担額における分岐月数との比較
- ・選択制対象用具の支給における福祉用具専門相談員の業務に係る費用 等

## 1.2 調査の進め方



## 1.2.1 特別委員会の設置

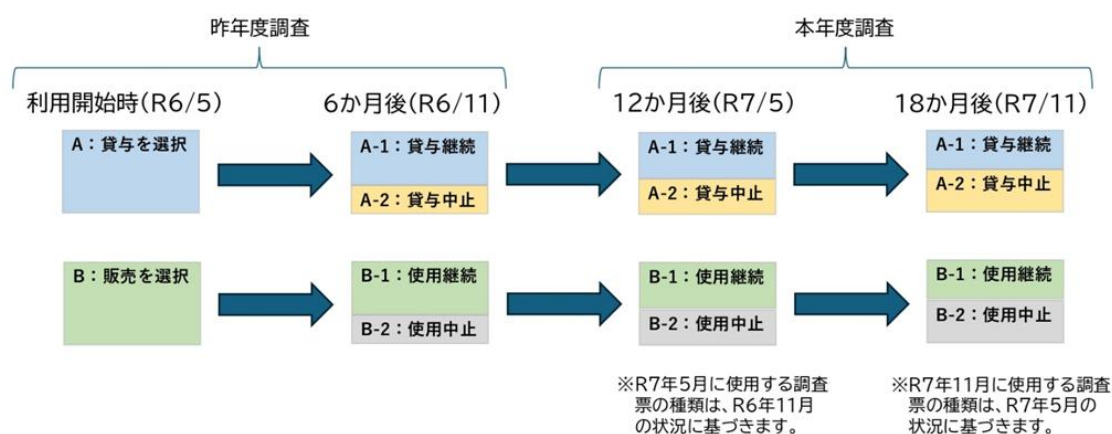
本事業の推進、成果のとりまとめ等について検討を行うため、特別委員会を2回開催した。

## 1.2.2 調査の実施

### ① 調査対象

令和6年度調査「福祉用具選択制の実施状況に関する調査」において有効回答のあった利用者のうち、死亡された方を除いた利用者を調査対象とした。(担当の福祉用具専門相談員によるweb回答)。

以下イメージの通り、調査票は4種類(A-1:貸与継続、A-2:貸与中止、B-1:販売使用継続、B-2:販売使用中止)を使用した。



なお、令和7年5月調査では、令和6年11月時点の状況(貸与・販売、継続・中止)に基づいた調査票を使用し、令和6年11月調査の回答内容に沿った調査票様式を事務局より会員企業を經由して担当の福祉用具専門相談員へ送付した。(例:令和6年11月時点で貸与継続であった利用者が令和7年5月時点では回収済だった場合は「調査票 A-1」を使用)

また、令和7年11月調査では、令和7年5月時点の状況(貸与・販売、継続・中止)に基づいた調査票を使用するものとし、令和7年5月調査の回答内容に沿った調査票様式をお送りした。(例:令和7年5月時点で貸与継続であった利用者が令和7年11月時点では回収済だった場合は「調査票 A-1」を使用)

### ② 回答方法

調査票 A-1(貸与・継続)、調査票 A-2(貸与・中止)、調査票 B-1(販売・継続)、調査票 B-2(販売・中止)いずれも担当の福祉用具専門相談員が web にて回答した。

③ 回答期間

- ・令和 7 年 5 月調査分(第3回:12 か月後): 令和 7 年 5 月 1 日(木)～ 6 月 25 日(水)
- ・令和 7 年 11 月調査分(第4回:18 か月後): 令和 7 年 11 月 1 日(土)～12 月 18 日(木)

④ 配付数・回答数

・第3回:12 か月後 調査分(配付数・回答数)

	配付数	回答数
調査票A-1(貸与・継続)	216名	216名
調査票A-2(貸与・中止)	84名	84名
調査票B-1(販売・継続)	104名	101名
調査票B-2(販売・中止)	12名	12名

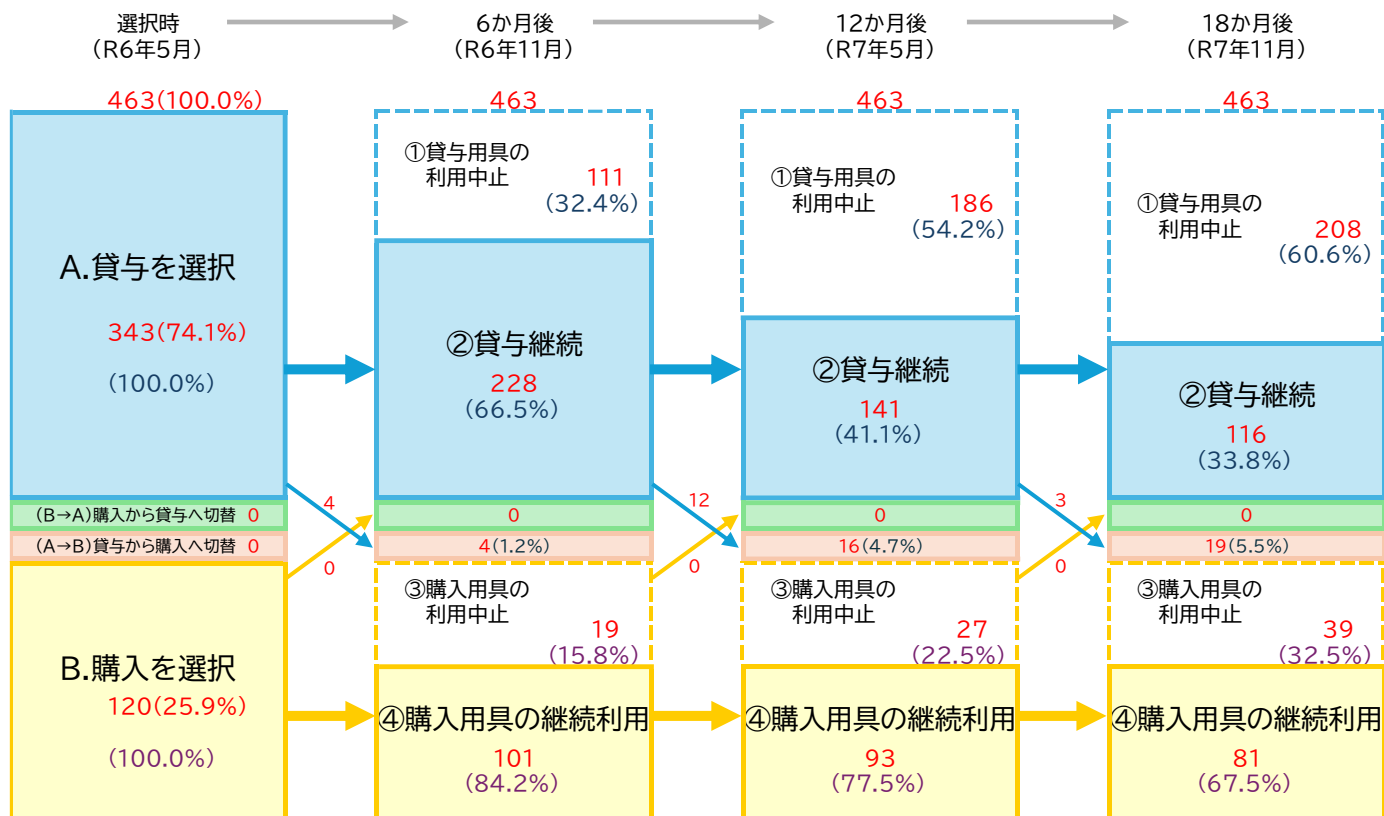
・第4回:18 か月後 調査分(配付数・回答数)

	配付数	回答数
調査票A-1(貸与・継続)	140名	138名
調査票A-2(貸与・中止)	133名	133名
調査票B-1(販売・継続)	94名	93名
調査票B-2(販売・中止)	14名	14名

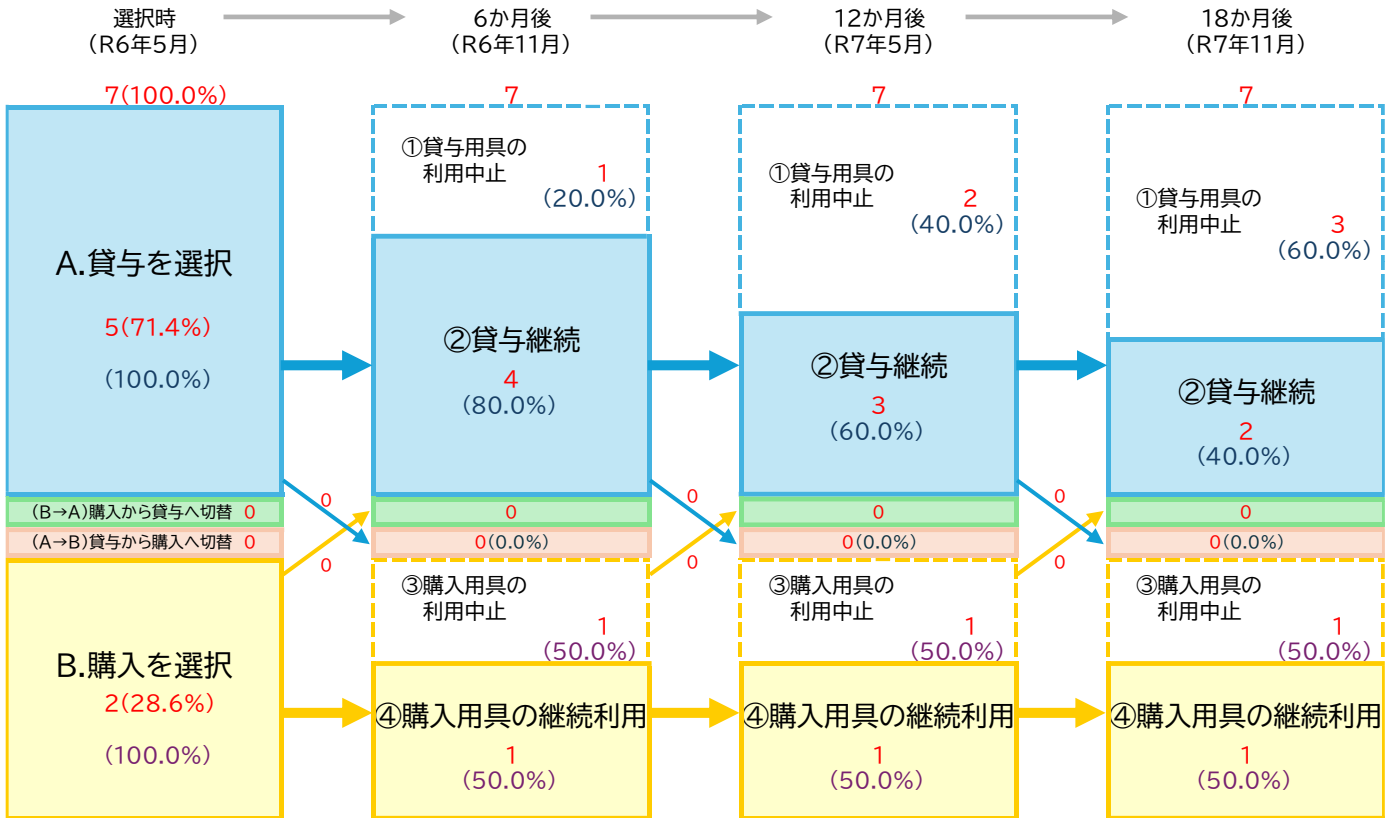
※各調査票において、利用者の死亡が確認された場合は、次回の調査票配付対象から除外している。

※調査の途中で、貸与から販売(又は販売から貸与)へ変更となった場合は、次回の調査票配付対象から除外している。

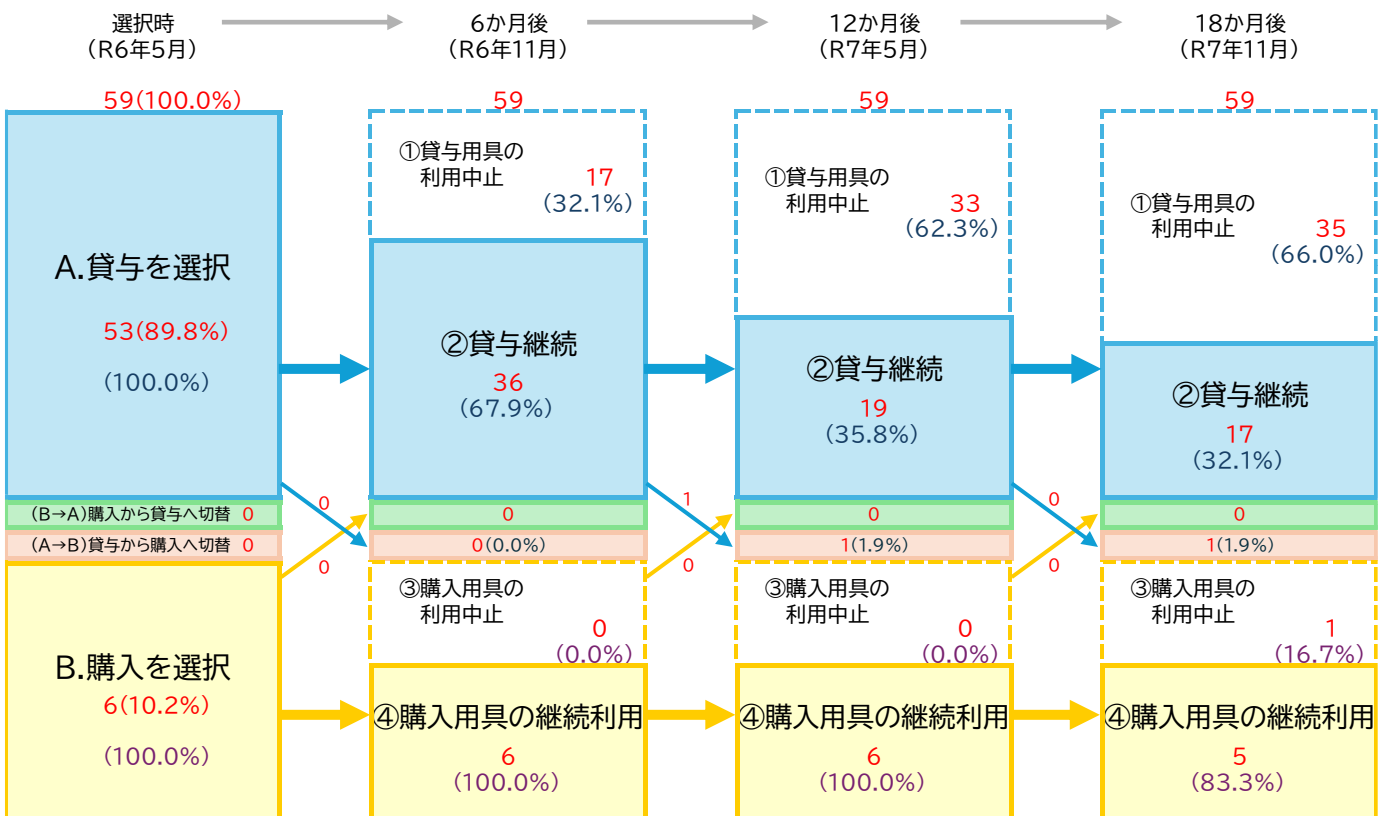
⑤ 第1回～第4回(18 か月間)の推移【全体】



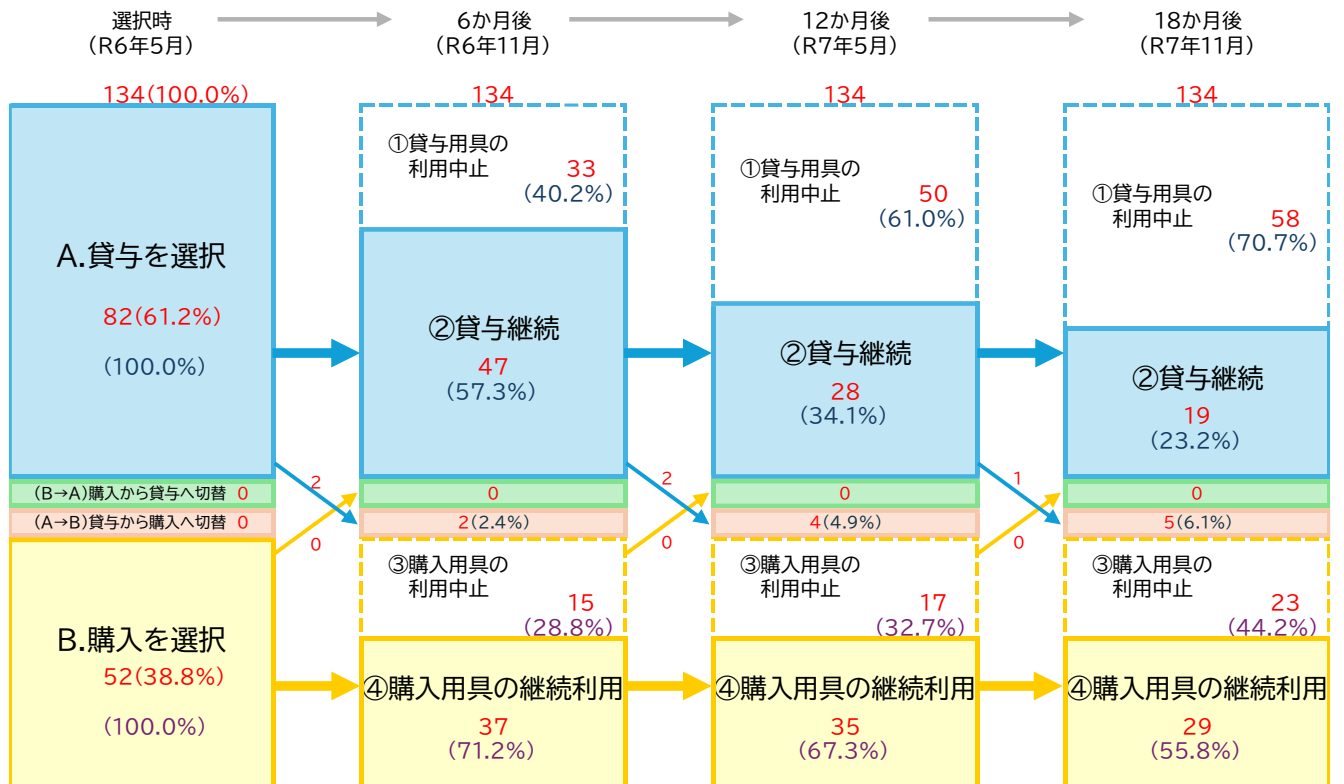
⑥ 第1回～第4回(18 か月間)の推移【単点杖】



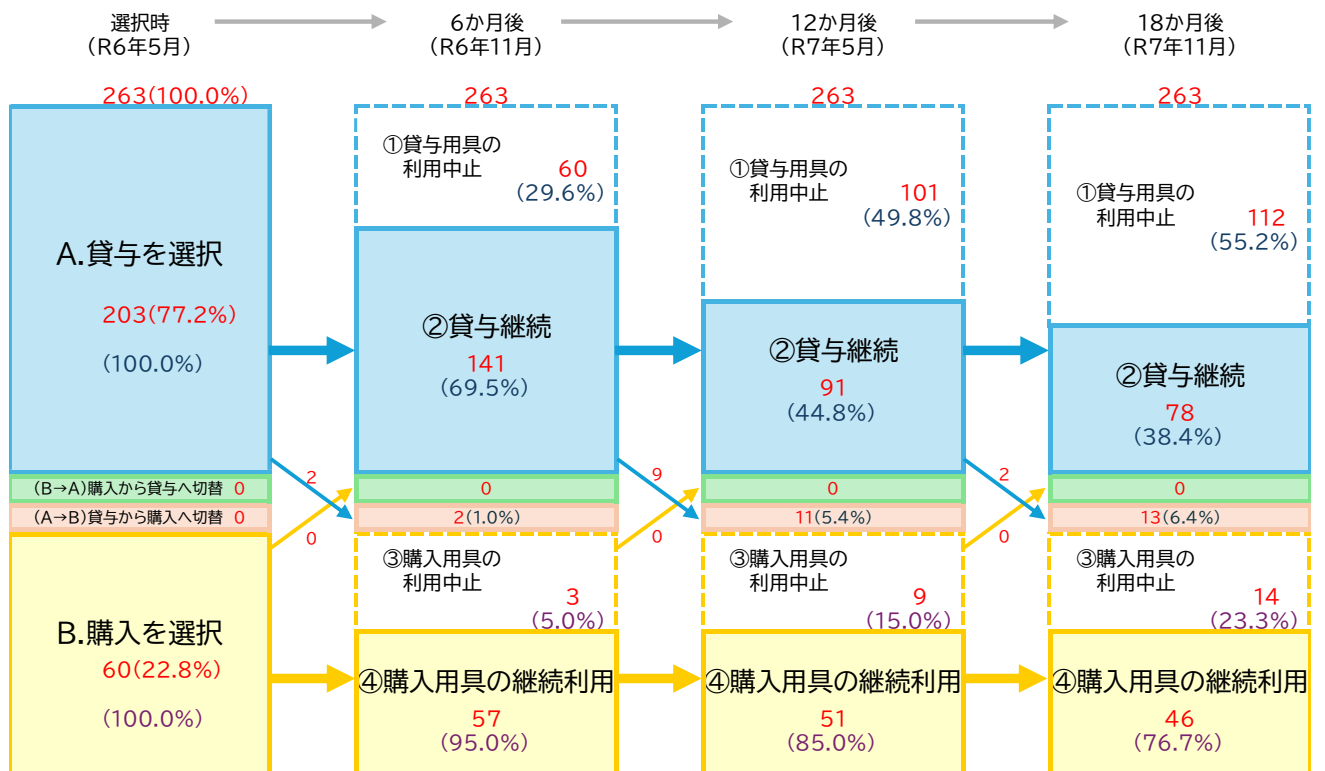
⑦ 第1回～第4回(18 か月間)の推移【歩行器】



⑧ 第1回～第4回(18 か月間)の推移【固定用スロープ】



⑨ 第1回～第4回(18 か月間)の推移【多点杖】



### 1.2.3 報告書の作成

前記1.2.1 で設置した特別委員会での討議を踏まえ、報告書としてまとめた。

## 1.3 特別委員会の開催

### 1.3.1 委員の構成

・第1回開催(令和7年4月16日)

<委員>

(順不同・敬称略)

氏名	所属団体名
岩元 文雄	一般社団法人日本福祉用具供給協会 副理事長 (委員長) 株式会社カクイックスウィング 代表取締役社長
小野木 孝二	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事長 株式会社トーカイ 代表取締役会長
米本 稔也	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 フランスベッド株式会社 執行役員
平松 雅之	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 株式会社日本ケアサプライ 代表取締役社長
中井 孝之	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 一般社団法人シルバーサービス振興会 元常務理事
黒岩 嘉弘	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 公益財団法人テクノエイド協会 常務理事
濱田 和則	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長
山本 伸一	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 一般社団法人日本作業療法士協会 会長
東畠 弘子	一般社団法人日本福祉用具供給協会 顧問 国際医療福祉大学大学院 教授

<アドバイザー>

氏名	所属団体名
渡邊 慎一	横浜市総合リハビリテーションセンター センター長補佐

<事務局>

氏名	所属団体名
後藤 憲治	一般社団法人日本福祉用具供給協会 専務理事・事務局長
伊藤 広成	一般社団法人日本福祉用具供給協会 事務局次長
淡路 陽子	一般社団法人日本福祉用具供給協会 事務局主任

・第2回開催(令和8年3月16日)

<委員>

(順不同・敬称略)

氏名	所属団体名
柴橋 和弘	一般社団法人日本福祉用具供給協会 副理事長 (委員長) 株式会社柴橋商会 代表取締役社長
岩元 文雄	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事長 株式会社カクイックスウィング 代表取締役社長
阿部 京三	一般社団法人日本福祉用具供給協会 副理事長 株式会社かんきょう 取締役会長
小野木 孝二	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 株式会社トーカイ 代表取締役会長
大信田 和義	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 株式会社ジェー・シー・アイ 代表取締役社長
池田 一実	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 フランスベッド株式会社 代表取締役副社長執行役員
平松 雅之	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 株式会社日本ケアサプライ 代表取締役社長
久留 善武	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 一般社団法人シルバーサービス振興会 常務理事
黒岩 嘉弘	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 公益財団法人テクノエイド協会 常務理事
濱田 和則	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 一般社団法人日本介護支援専門員協会 副会長
山本 伸一	一般社団法人日本福祉用具供給協会 理事 一般社団法人日本作業療法士協会 会長
東畠 弘子	一般社団法人日本福祉用具供給協会 顧問 国際医療福祉大学大学院 教授

<アドバイザー>

氏名	所属団体名
渡邊 慎一	横浜市総合リハビリテーションセンター センター長補佐

<事務局>

氏名	所属団体名
後藤 憲治	一般社団法人日本福祉用具供給協会 専務理事・事務局長
伊藤 広成	一般社団法人日本福祉用具供給協会 事務局次長
淡路 陽子	一般社団法人日本福祉用具供給協会 事務局主任

### 1.3.2 委員会の開催

前記1.3.1 で構成した委員で委員会を開催した。

## 2. 調査の結果

本報告書の図表番号は以下の通りとしています。

- ・図表 1-〇:第 3 回調査(12 か月後(令和 7 年 5 月実施))の結果
- ・図表 2-〇:第 4 回調査(18 か月後(令和 7 年 11 月実施))の結果
- ・図表 3-〇:第 1 回～第 4 回調査(18 か月間)の結果

### 2.1 第 3 回調査:12 か月後(令和 7 年 5 月実施)

令和 6 年 5 月に貸与を選択した利用者 343 名のうち、12 か月後の令和 7 年 5 月に貸与を継続した者は 141 名(41.1%)で、貸与から販売(購入)に変更した者 16 名(4.7%)、利用を中止した者は 186 名(54.2%)であった。

令和 6 年 5 月に販売(購入)を選択した 120 名のうち継続利用している者は 93 名(77.5%)、中止した者 27 名(22.5%)であった。

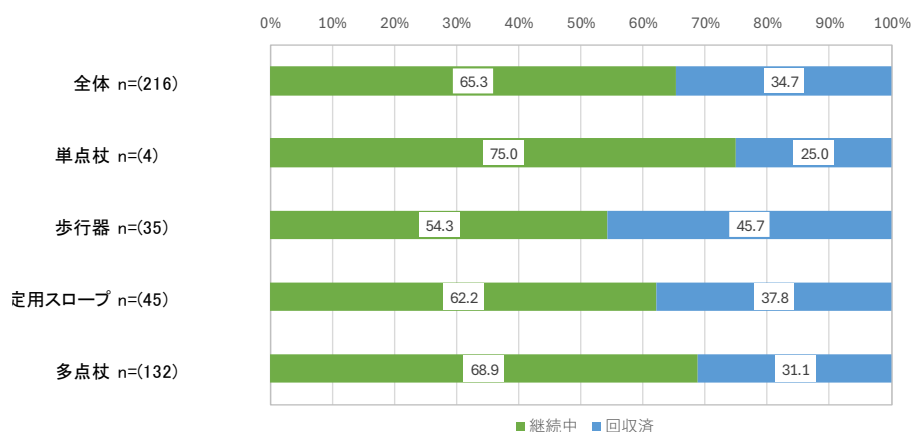
#### 2.1.1 福祉用具貸与の継続の状況

第 2 回調査(6 か月後)時点で貸与継続だった 216 名における第 3 回調査(12 か月後)時点の状況は、継続中が 141 名、回収済が 75 名であった。

図表 1-01

モニタリング実施又は全て回収時点の状況について

	調査数	継続中	回収済	
全体	216 100.0	141 65.3	75 34.7	
調査対象用具	単点杖	4 100.0	3 75.0	1 25.0
	歩行器	35 100.0	19 54.3	16 45.7
	固定用スロープ	45 100.0	28 62.2	17 37.8
	多点杖	132 100.0	91 68.9	41 31.1



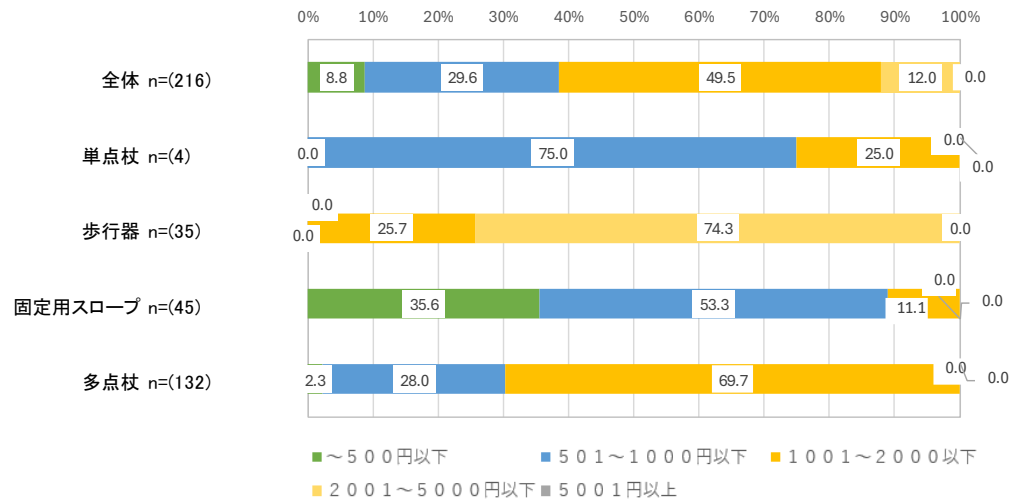
## 1. 調査対象用具1個あたりのレンタル料金

調査対象用具1個あたりのレンタル料金は、全体として「1,001～2,000円」が49.5%で最も多かった。種目別では、「単点杖」が「501～1,000円」75.0%、「歩行器」が「2,001～5,000円」74.3%、「固定用スロープ」が「501～1,000円」53.3%、「多点杖」が「1,001～2,000円」69.7%と最も多かった。全体の平均金額は1,205円で、個別で見ると「単点杖」1,005円、「歩行器」2,243円、「固定用スロープ」610円、「多点杖」1,139円であった。

図表 1-02

調査対象用具1個あたりのレンタル料金

	調査数	500円以下	501～1,000円	1,001～2,000円	2,001～5,000円	5,001円以上
		19.0	64.0	107.0	26.0	-
全体	216	8.8	29.6	49.5	12.0	-
調査対象用具	単点杖	4	3	1	-	-
		100.0	75.0	25.0	-	-
	歩行器	35	-	9	26	-
		100.0	-	25.7	74.3	-
固定用スロープ	45	16	24	5	-	-
	100.0	35.6	53.3	11.1	-	-
多点杖	132	3	37	92	-	-
	100.0	2.3	28.0	69.7	-	-



図表 1-03

		調査数	平均	最小値	最大値
全体		216	1,205	300	3,660
調査対象用具	単点杖	4	1,005	1,000	1,020
	歩行器	35	2,243	1,180	3,660
	固定用スロープ	45	610	300	1,500
	多点杖	132	1,139	500	1,340

## 2. TAIS 希望小売価格

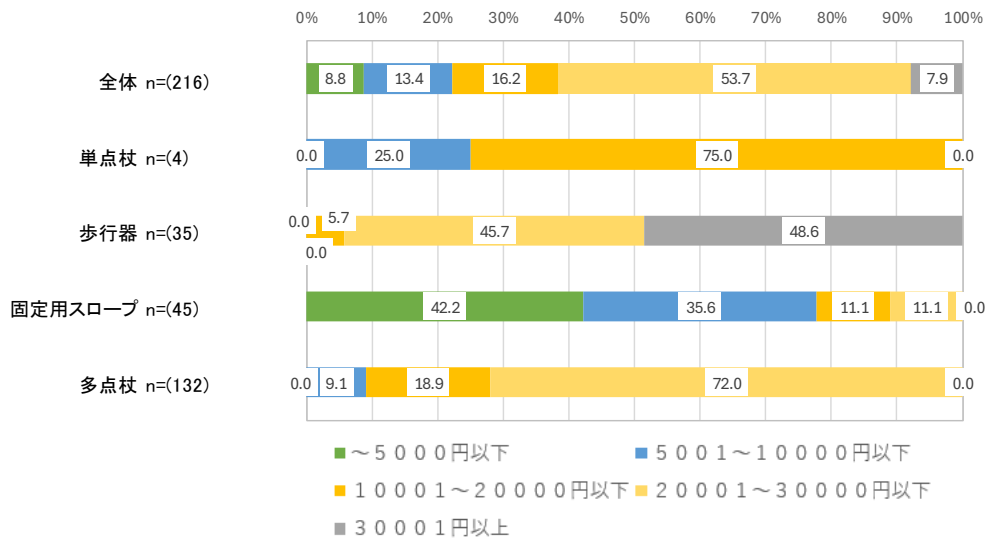
TAIS 希望小売価格は、全体として「20,001円～30,000円」が53.7%で最も多かった。種目別では、「単点杖」が「10,001円～20,000円」75.0%、「歩行器」が「30,001円」48.6%、「固定用スロープ」が「5,000円以下」42.2%、「多点杖」が「20,001円～30,000円」72.0%と最も多かった。

全体の平均価格は19,224円で、種目別で見ると「単点杖」11,975円、「歩行器」33,400円、「固定用スロープ」7,938円、「多点杖」19,533円であった。

図表 1-04

TAIS希望小売価格

		調査数	5000円以下	5001~10000円以下	10001~20000円以下	20001~30000円以下	30001円以上
全体		216	8.8	13.4	16.2	53.7	7.9
調査対象用具	単点杖	4	-	25.0	75.0	-	-
	歩行器	35	-	-	5.7	45.7	48.6
	固定用スロープ	45	42.2	35.6	11.1	11.1	-
	多点杖	132	-	9.1	18.9	72.0	-



図表 1-05

TAIS希望小売価格(円)

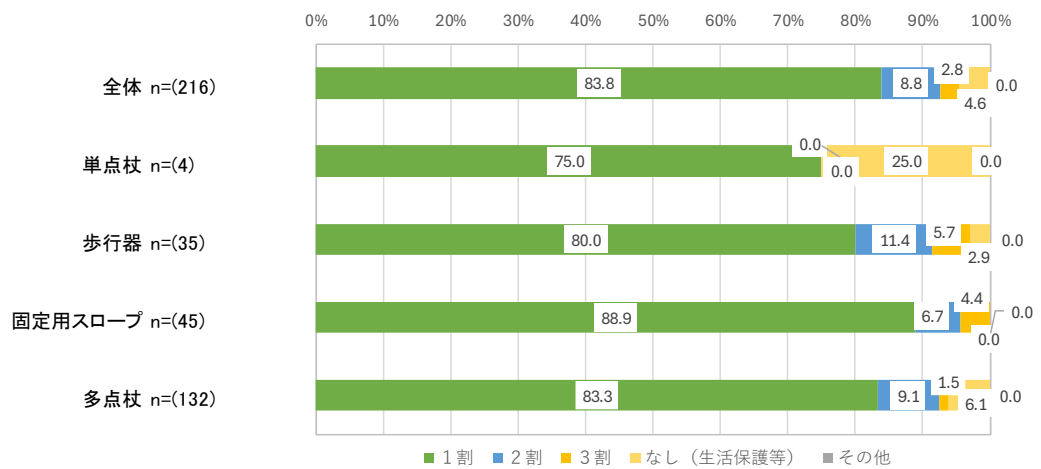
		調査数	平均	最小値	最大値
全体		216	19,224	3,500	71,000
調査対象用具	単点杖	4	11,975	7,200	16,000
	歩行器	35	33,400	18,800	71,000
	固定用スロープ	45	7,938	3,500	24,200
	多点杖	132	19,533	7,000	24,800

### 3. 自己負担割合

自己負担割合は、全体として「1割」が83.8%で最も多かった。種目別でも、「単点杖」が「1割」75.0%、「歩行器」は「1割」80.0%、「固定用スロープ」が「1割」88.9%、「多点杖」が「1割」83.3%と「1割」が最も多かった。

図表 1-06

		調査数	1割	2割	3割	等なし (生活保護)	その他
全体		216 100.0	181 83.8	19 8.8	6 2.8	10 4.6	-
調査対象用具	単点杖	4 100.0	3 75.0	-	-	1 25.0	-
	歩行器	35 100.0	28 80.0	4 11.4	2 5.7	1 2.9	-
	固定用スロープ	45 100.0	40 88.9	3 6.7	2 4.4	-	-
	多点杖	132 100.0	110 83.3	12 9.1	2 1.5	8 6.1	-



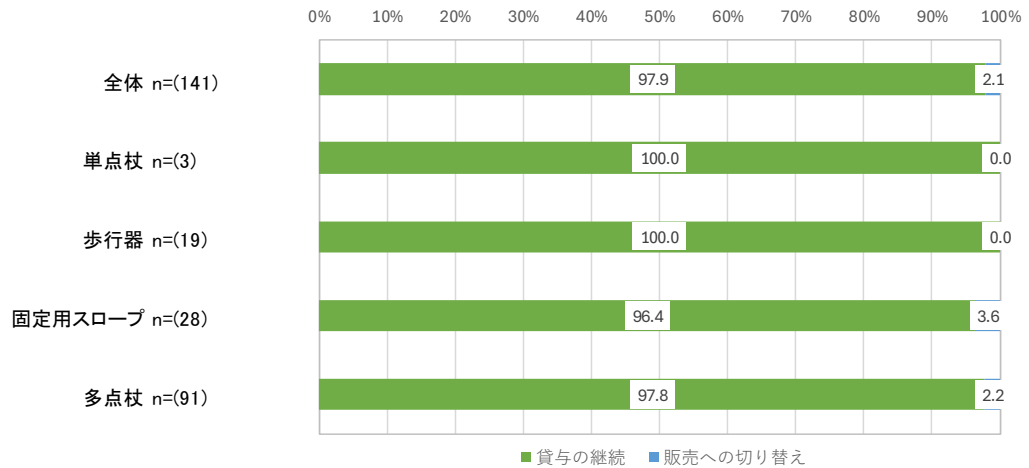
#### 4. 貸与継続の検討の結果

貸与継続の検討の結果は、全体として「貸与の継続」97.9%、「販売への切り替え」2.1%であった。種目別では、「単点杖」と「歩行器」が「貸与の継続」100.0%、「固定用スロープ」が「貸与の継続」96.4%、「多点杖」が「貸与の継続」97.8%といずれも「貸与の継続」が多かった。

図表 1-07

貸与継続の検討の結果

		調査数	貸与の継続	え 販売への切り替え
全体		141 100.0	138 97.9	3 2.1
調査対象用具	単点杖	3 100.0	3 100.0	- -
	歩行器	19 100.0	19 100.0	- -
	固定用スロープ	28 100.0	27 96.4	1 3.6
	多点杖	91 100.0	89 97.8	2 2.2



## 5. 貸与中止(福祉用具の回収)の理由

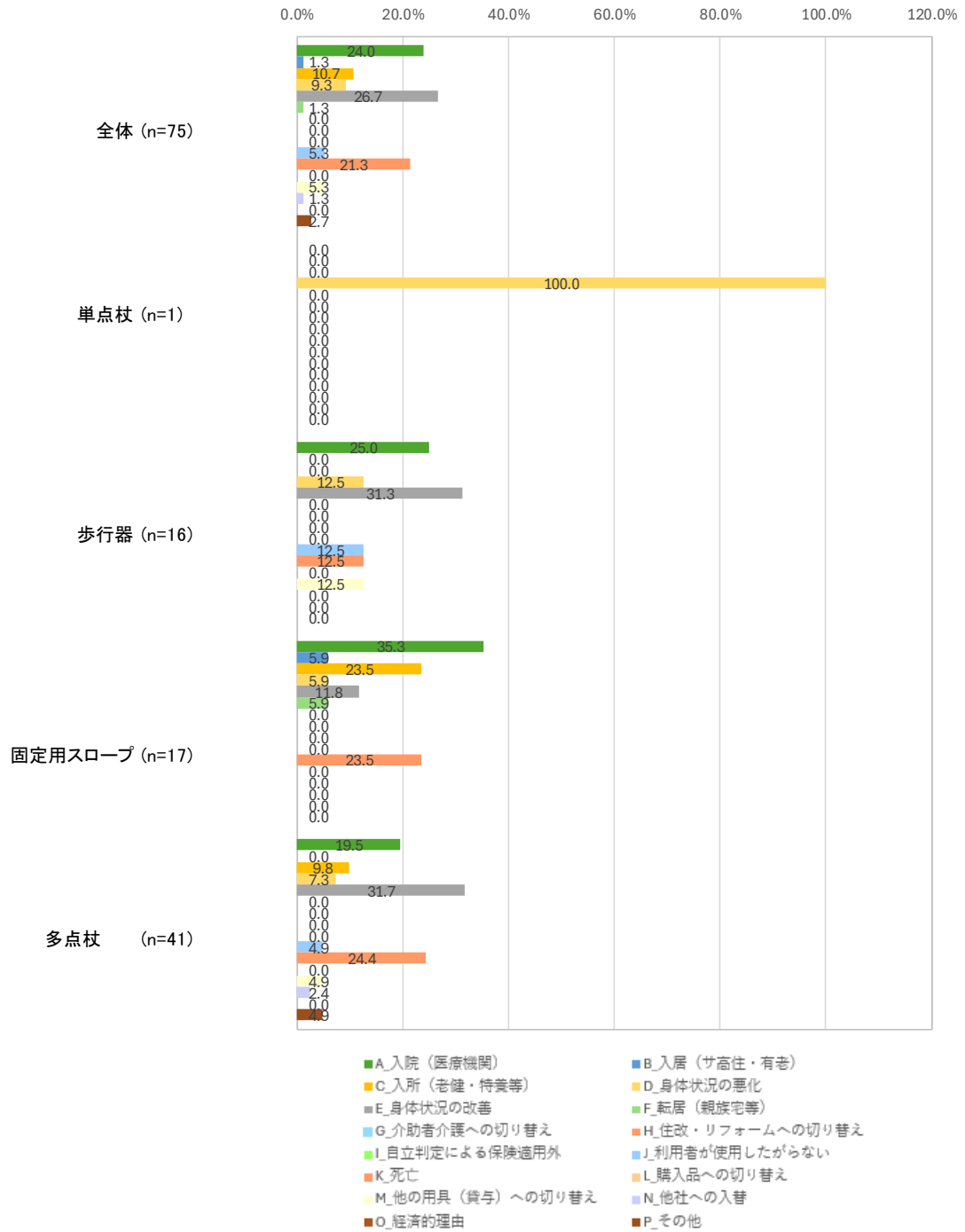
第2回調査(6か月後)の貸与継続から第3回調査(12か月後)までの間に貸与を中止(福祉用具の回収)した理由は、「身体状況の改善」20件(26.7%)、「入院」18件(24.0%)、「死亡」16件(21.3%)と多かった。

図表 1-08

回収した理由

	調査数	A 機 関 - 入 院 ( 医 療)	B 住 ・ 有 老 居 ( サ 高)	C 健 ・ 特 養 等 入 所 ( 老)	D 悪 化 - 身 体 状 況 の	E 改 善 - 身 体 状 況 の	F 宅 等 - 転 居 ( 親 族)	G へ の 切 り 替 え 介 助 者 介 護	H フ ォ ー ム へ の 切 り 替 え 住 改 ・ リ
全体	75 100.0	18 24.0	1 1.3	8 10.7	7 9.3	20 26.7	1 1.3	-	-
調査対象用具	単点杖	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-
	歩行器	16 100.0	4 25.0	-	-	2 12.5	5 31.3	-	-
	固定用スロープ	17 100.0	6 35.3	1 5.9	4 23.5	1 5.9	2 11.8	1 5.9	-
	多点杖	41 100.0	8 19.5	-	4 9.8	3 7.3	13 31.7	-	-

	I よ る 保 険 立 判 定 外 に	J 用 し た が 利 用 者 が な い	K - 死 亡	L 切 り 替 え 購 入 品 へ の	M り ( 貸 与 - 他 の 用 具 切 替 え へ の)	N 替 - 他 社 へ の 入	O - 経 済 的 理 由	P - そ の 他
全体	-	4 5.3	16 21.3	-	4 5.3	1 1.3	-	2 2.7
調査対象用具	単点杖	-	-	-	-	-	-	-
	歩行器	-	2 12.5	2 12.5	-	2 12.5	-	-
	固定用スロープ	-	-	4 23.5	-	-	-	-
	多点杖	-	2 4.9	10 24.4	-	2 4.9	1 2.4	-



## 2.1.2 福祉用具貸与の中止(福祉用具の回収)の状況

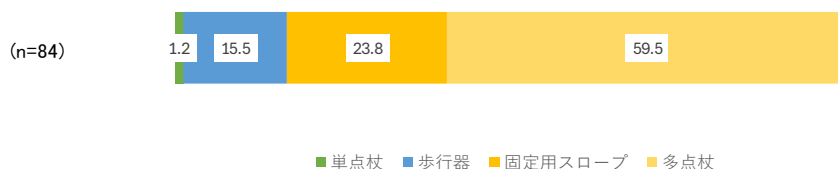
第2回調査(6か月後)時点で、死亡以外の理由で貸与中止となった者は84名であり、種目別では「多点杖」50名、「固定用スロープ」20名、「歩行器」13名、「単点杖」1名であった。

図表 1-09

令和6年11月までに利用中止した調査対象用具

	調査数	単点杖	歩行器	固定用スロープ	多点杖
	84	1	13	20	50
	100.0	1.2	15.5	23.8	59.5

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



■ 単点杖 ■ 歩行器 ■ 固定用スロープ ■ 多点杖

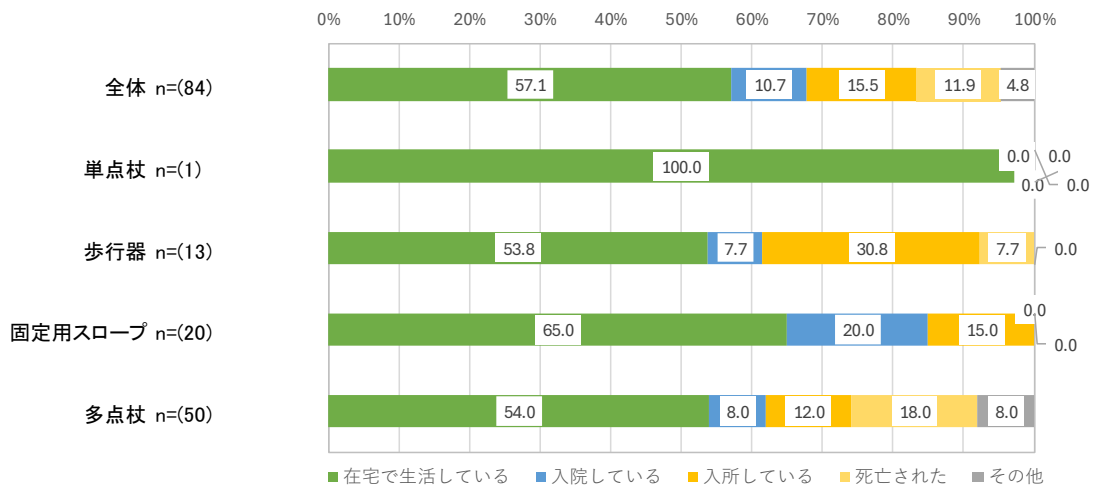
### 1. 貸与中止(福祉用具の回収)した利用者の状況

貸与を中止した利用者の現在の状況は、全体として「在宅で生活している」57.1%で最も多かった。種目別でも同様に「在宅で生活している」が最も多かった。

図表 1-10

利用者の現在の状況

	調査数	在宅で生活している	入院している	入所している	死亡された	その他
全体	84	48	9	13	10	4
	100.0	57.1	10.7	15.5	11.9	4.8
令和6年11月までに調査対象とした利用者	単点杖	1	1	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-
	歩行器	13	7	1	4	1
		100.0	53.8	7.7	30.8	7.7
固定用スロープ	20	13	4	3	-	-
	100.0	65.0	20.0	15.0	-	-
多点杖	50	27	4	6	9	4
	100.0	54.0	8.0	12.0	18.0	8.0



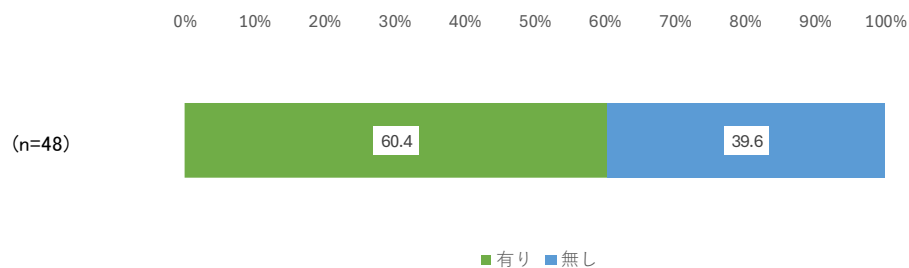
## 2. 貸与中止(福祉用具の回収)した利用者の現在における福祉用具の利用

貸与を中止した利用者の現在における福祉用具の利用有無は「有り」60.4%、「無し」39.6%で、使用している福祉用具は「手すり(貸与)」が最も多く65.5%で、次いで「歩行器(貸与)」が62.1%であった。

図表 1-11

現在における福祉用具の利用有無

	調査数	有り	無し
	48	29	19
	100.0	60.4	39.6

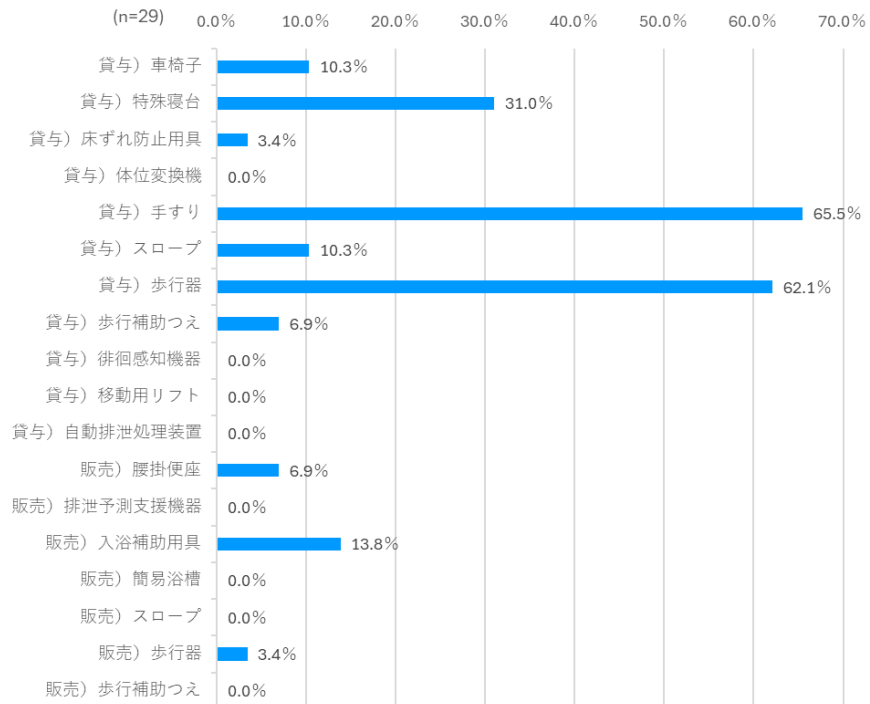


図表 1-12

現在利用している福祉用具

	調査数	貸与 (車椅子)	貸与 (特殊寝台)	貸与 (床ずれ防 止用具)	貸与 (体位変換 機)	貸与 (手すり)	貸与 (スロープ)	貸与 (歩行器)	貸与 (歩行補助 つえ)	貸与 (徘徊感知 機器)
	29 100.0	3 10.3	9 31.0	1 3.4	- -	19 65.5	3 10.3	18 62.1	2 6.9	- -

	貸与 (移動用リ フト)	貸与 (自動排 泄処理装 置)	販売 (腰掛便 座)	販売 (排泄予 測支援機 器)	販売 (入浴補 助用具)	販売 (簡易浴 槽)	販売 (スロー プ)	販売 (歩行器)	販売 (歩行補 助つえ)
	- -	- -	2 6.9	- -	4 13.8	- -	- -	1 3.4	- -



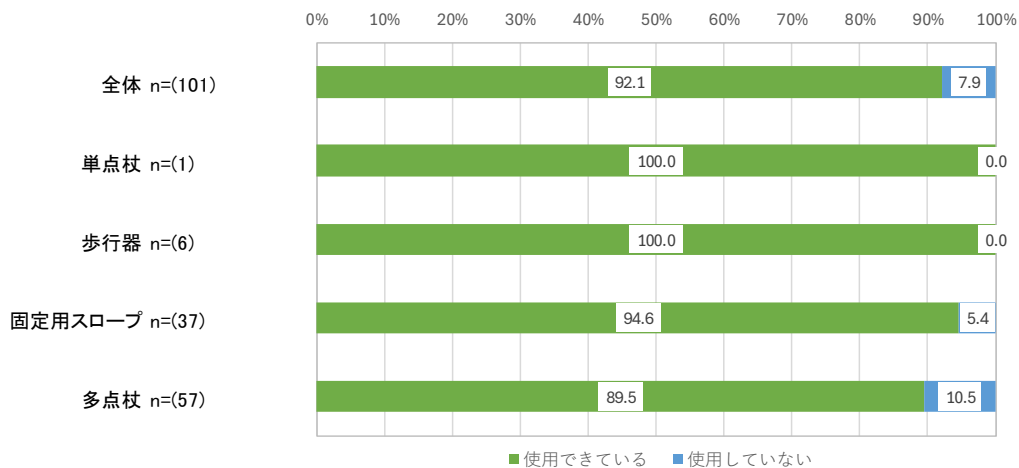
### 2.1.3 福祉用具販売の継続の状況

第2回調査(6か月後)時点で販売継続だった101名における第3回調査(12か月後)時点の状況は、「使用できている」93名、「使用していない」8名であった。

図表 1-13

調査対象福祉用具の使用状況

		調査数	使用できている	使用していない
全体		101 100.0	93 92.1	8 7.9
調査対象用具	単点杖	1 100.0	1 100.0	— —
	歩行器	6 100.0	6 100.0	— —
	固定用スロープ	37 100.0	35 94.6	2 5.4
	多点杖	57 100.0	51 89.5	6 10.5

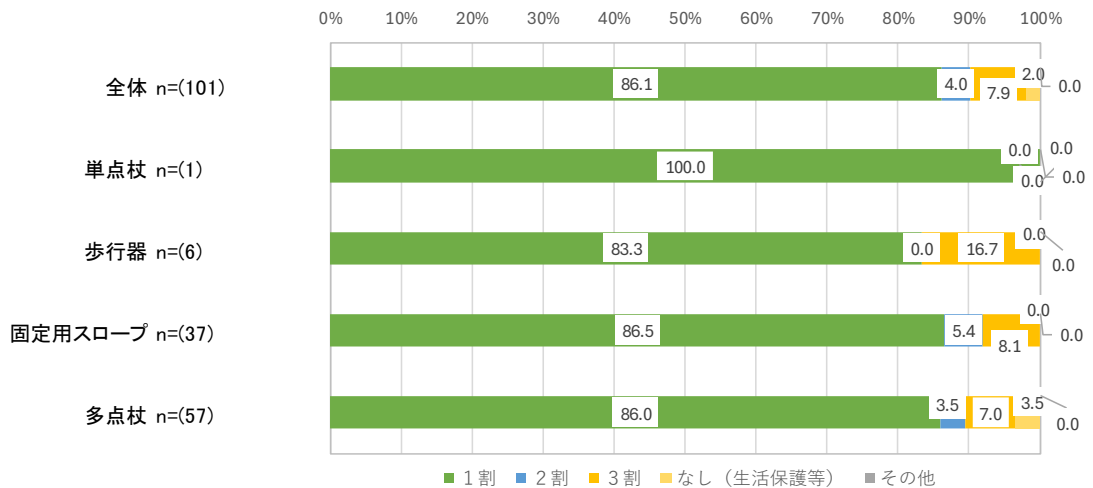


## 1. 自己負担割合

販売使用継続している利用者の自己負担割合は、全体として「1割」86.1%で最も多かった。種目別でも、「単点杖」が「1割」100.0%、「歩行器」が「1割」83.3%、「固定用スロープ」が「1割」86.5%、「多点杖」が「1割」86.0%でいずれも「1割」が最も多かった。

図表 1-14

		調査数	1割	2割	3割	等なし (生活保護)	その他
全体		101 100.0	87 86.1	4 4.0	8 7.9	2 2.0	-
調査対象用具	単点杖	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	歩行器	6 100.0	5 83.3	-	1 16.7	-	-
	固定用スロープ	37 100.0	32 86.5	2 5.4	3 8.1	-	-
	多点杖	57 100.0	49 86.0	2 3.5	4 7.0	2 3.5	-



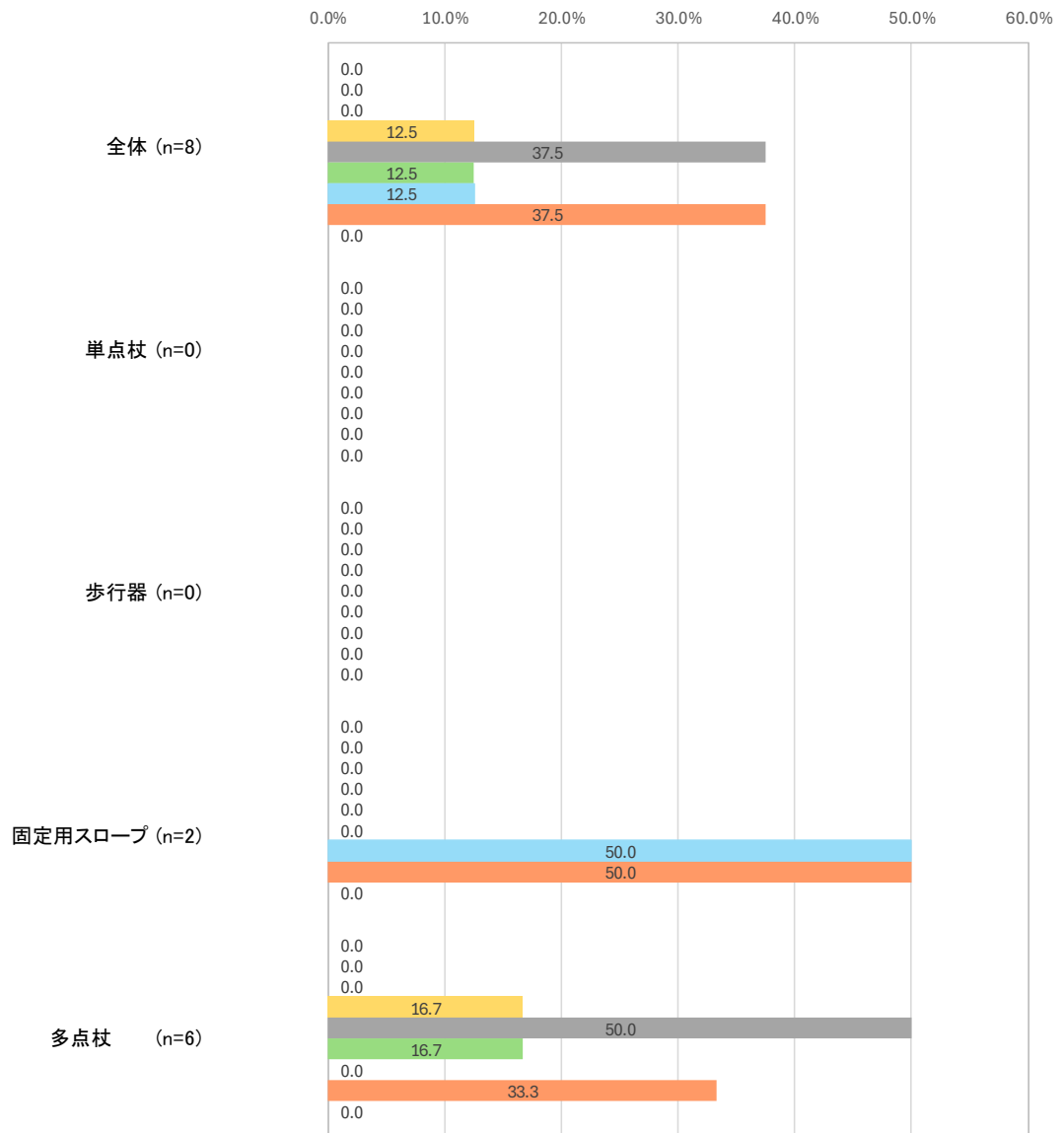
## 2. 使用できていない理由

第2回調査(6か月後)時点で販売継続であったが第3回調査(12か月後)時点では「使用していない」8名について、使用していない理由は全体では「身体の状態が悪くなったから」と「ご利用者様が死亡したから」が同率で最も多く37.5%であった。

図表 1-15

使用できていない理由

		調査数	い用具が使いづら	い用具の調子が悪	ら用具が壊れたか	く身体の状態が良	く身体の状態が悪	院ご利用者様が入	所ご利用者様が入	亡ご利用者様が死	その他
全体		8 100.0	-	-	-	1 12.5	3 37.5	1 12.5	1 12.5	3 37.5	-
調査対象用具	単点杖	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	歩行器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	2 100.0	-	-	-	-	-	-	1 50.0	1 50.0	-
	多点杖	6 100.0	-	-	-	1 16.7	3 50.0	1 16.7	-	2 33.3	-



- 用具が使いづらいから
- 用具の調子が悪いから
- 用具が壊れたから
- 身体の状態が悪くなったから
- 身体の状態が良くなったから
- ご利用様が入院したから
- ご利用様が入所したから
- ご利用様が死亡したから
- その他

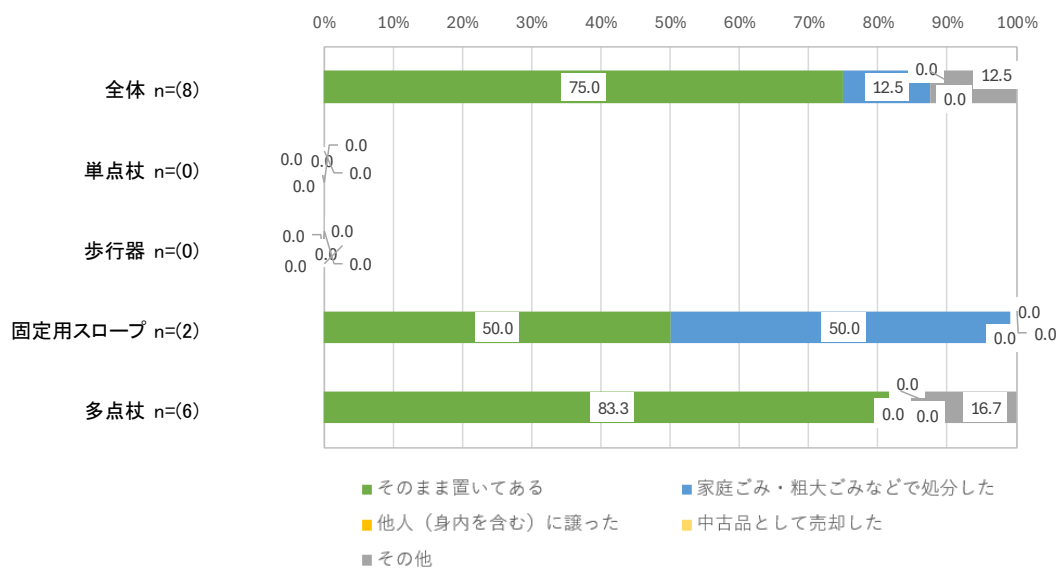
### 3. 使用していない用具

第2回調査(6か月後)時点で販売継続であったが第3回調査(12か月後)時点では「使用していない」8名の用具は、全体として「そのまま置いてある」が75.0%で最も多かった。

図表 1-16

使用していない用具はどうされましたか。

		調査数	そのまま置いてある	家庭ごみ・粗大ごみなどで処分した	他人(身内を含む)に譲った	中古品として売却した	その他
全体		8	6	1	-	-	1
		100.0	75.0	12.5	-	-	12.5
調査対象用具	単点杖	-	-	-	-	-	-
	歩行器	-	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	2	1	1	-	-	-
	多点杖	6	5	-	-	-	1
		100.0	83.3	-	-	-	16.7



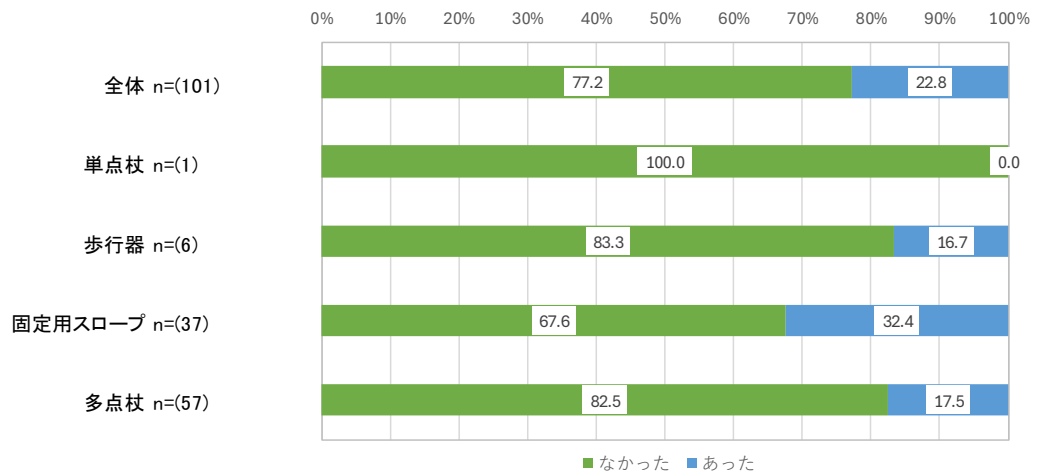
## 4. 入院や入所

販売使用継続している利用者の1年間の入院や入所の有無は、全体として「なかった」77.2%、「あった」22.8%であった。

図表 1-17

この1年の間に、入院や入所はありましたか。

		調査数	なかった	あった
全体		101	78	23
		100.0	77.2	22.8
調査対象用具	単点杖	1	1	-
		100.0	100.0	-
	歩行器	6	5	1
		100.0	83.3	16.7
固定用スロープ	37	25	12	
	100.0	67.6	32.4	
多点杖	57	47	10	
	100.0	82.5	17.5	

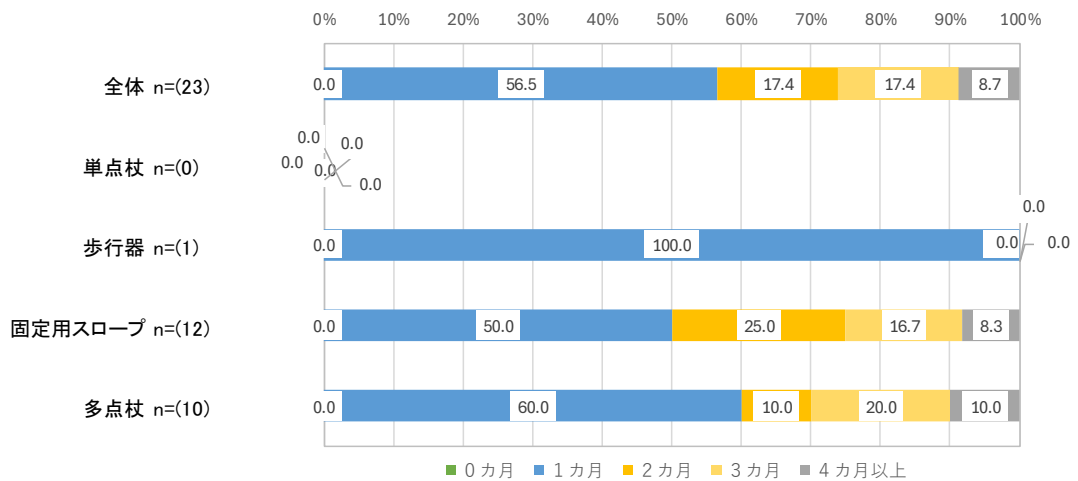


令和6年11月時点で販売使用継続している利用者の1年間の入院や入所の期間は、全体として「1か月」が最も多く56.5%であった。個別で見ても、「単点杖」は利用者がおらず、「歩行器」が「1か月」で100.0%、「固定用スロープ」が「1か月」で50.0%、「多点杖」が「1か月」で60.0%、いずれも「1か月」が最も多かった。全体の平均期間は1.78か月で、個別で見ると「歩行器」が1.00か月、「固定用スロープ」が1.83か月、「多点杖」が1.80か月であった。

図表 1-18

この1年間の入院や入所の期間(合計何カ月)

		調査数	0 カ 月	1 カ 月	2 カ 月	3 カ 月	4 カ 月 以上
全体		23 100.0	- -	13 56.5	4 17.4	4 17.4	2 8.7
調査対象用具	単点杖	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	歩行器	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -
	固定用スロープ	12 100.0	- -	6 50.0	3 25.0	2 16.7	1 8.3
	多点杖	10 100.0	- -	6 60.0	1 10.0	2 20.0	1 10.0



図表 1-19

合計何カ月

		調査数	平均	最小値	最大値
全体		23	1.78	1.00	4.00
調査対象用具	単点杖	-	-	-	-
	歩行器	1	1.00	1.00	1.00
	固定用スロープ	12	1.83	1.00	4.00
	多点杖	10	1.80	1.00	4.00

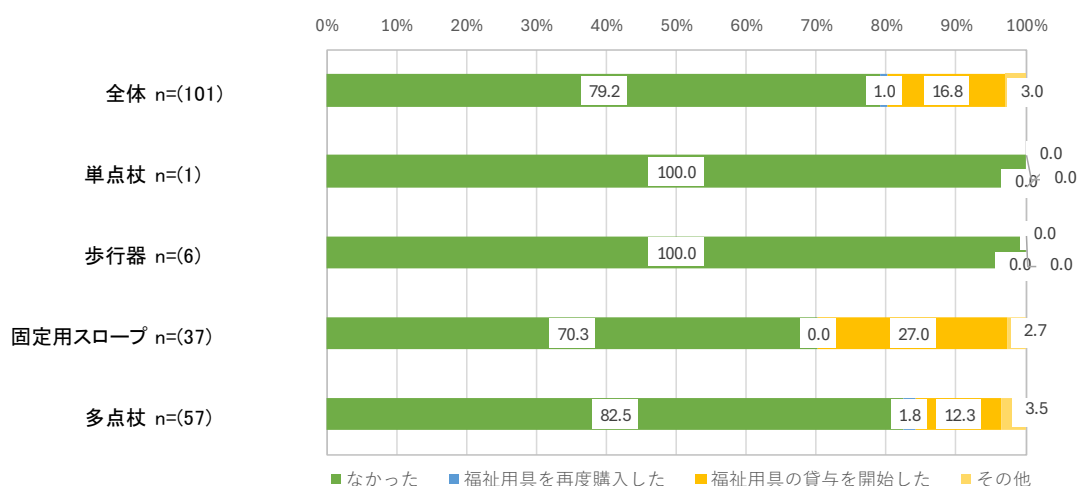
## 5. 福祉用具の再購入や新たな利用開始の有無

販売使用継続している利用者の1年間に福祉用具の再購入や新たな利用開始の有無は、全体として「なかった」が79.2%で最も多かった。種目別でも、「単点杖」が「なかった」100.0%、「歩行器」が「なかった」100.0%、「固定用スロープ」が「なかった」70.3%、「多点杖」が「なかった」82.5%でいずれも「なかった」が最も多かった。

図表 1-20

この1年の間に、福祉用具の再購入や新たな利用開始はありましたか。

		調査数	なかった	福祉用具を再度購入した	福祉用具の貸与を開始した	その他
全体		101	80	1	17	3
		100.0	79.2	1.0	16.8	3.0
調査対象用具	単点杖	1	1	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-
	歩行器	6	6	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-
固定用スロープ	37	26	-	10	1	
	100.0	70.3	-	27.0	2.7	
多点杖	57	47	1	7	2	
	100.0	82.5	1.8	12.3	3.5	



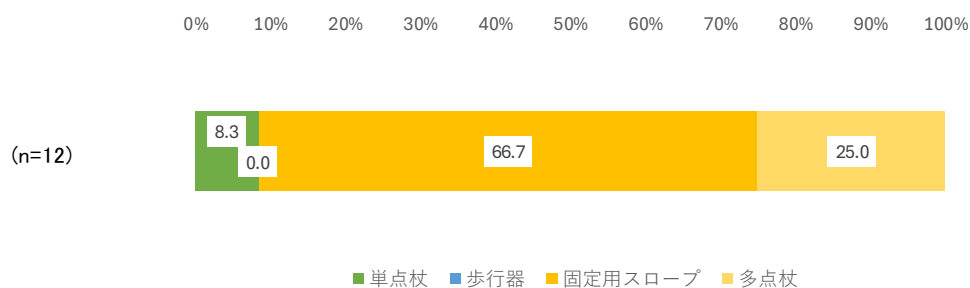
## 2.1.4 福祉用具販売の中止の状況

令和6年11月時点で販売使用中止している利用者の令和7年5月時点の調査対象用具は、「固定用スロープ」が最も多く66.7%であった。

図表 1-21

令和6年11月までに利用中止した調査対象用具

	調査数	単点杖	歩行器	固定用スロープ	多点杖
	12	1	-	8	3
	100.0	8.3	-	66.7	25.0



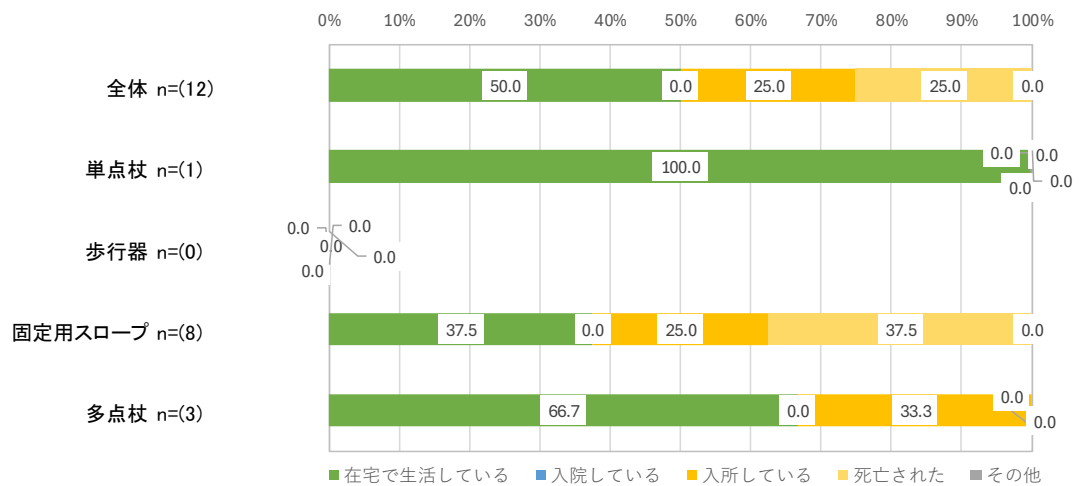
## 1. 利用者の現在の状況

販売使用中止している利用者の現在の状況は、全体として「在宅で生活している」が 50.0%で最も多かった。

図表 1-22

利用者の現在の状況

		調査数	在宅で生活している	入院している	入所している	死亡された	その他
全体		12 100.0	6 50.0	- -	3 25.0	3 25.0	- -
令和6年 1月 調査対象 利用中止 した 16名	単点杖	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -
	歩行器	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	固定用スロープ	8 100.0	3 37.5	- -	2 25.0	3 37.5	- -
	多点杖	3 100.0	2 66.7	- -	1 33.3	- -	- -



## 2. 現在の福祉用具の利用有無

販売使用中止している利用者の現在における福祉用具の利用有無は、「有り」が 83.3%、「無し」が 16.7%であった。

図表 1-23

現在における福祉用具の利用有無

	調査数	有り	無し
	6	5	1
	100.0	83.3	16.7

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

(n=6)



■有り ■無し

### 3. 現在利用している福祉用具

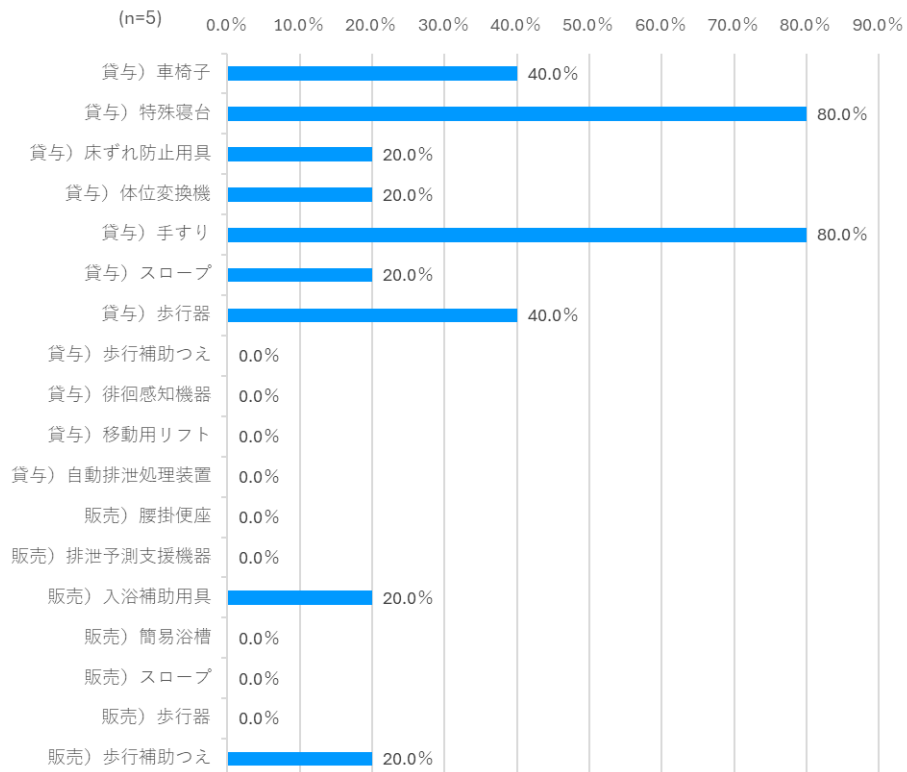
調査対象福祉用具は販売後使用中止して、令和7年5月時点で別の福祉用具を利用している利用者の福祉用具は、「特殊寝台(貸与)」と「手すり(貸与)」が最も多く同率で80.0%であった。

図表 1-24

現在利用している福祉用具

	調査数	貸与(車椅子)	貸与(特殊寝台)	貸与(床ずれ防止用具)	貸与(体位変換機)	貸与(手すり)	貸与(スロープ)	貸与(歩行器)	貸与(歩行補助つえ)	貸与(徘徊感知機器)
	5 100.0	2 40.0	4 80.0	1 20.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	2 40.0	-	-

	貸与(移動用リフト)	貸与(自動排泄処理装置)	販売(腰掛便座)	販売(排泄予測支援機器)	販売(入浴補助用具)	販売(簡易浴槽)	販売(スロープ)	販売(歩行器)	販売(歩行補助つえ)
	-	-	-	-	1 20.0	-	-	-	1 20.0



## 2.2 第4回調査:18か月後(令和7年11月実施)

令和6年5月に貸与を選択した利用者343名のうち、18か月後の令和7年11月に貸与を継続した者は116名(33.8%)で、貸与から販売(購入)に変更した者19名(5.5%)、利用を中止した者は208名(60.6%)であった。

令和6年5月に販売(購入)を選択した120名のうち継続利用している者は81名(67.5%)、中止した者39名(32.5%)であった。

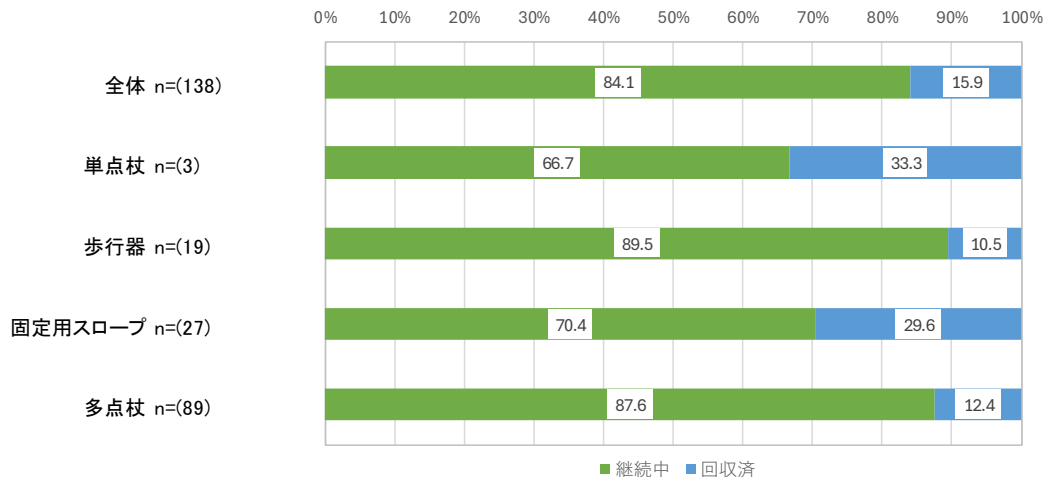
### 2.2.1 福祉用具貸与の継続の状況

第3回調査(12か月後)時点で貸与継続だった138名における第4回調査(18か月後)時点の状況は、継続中が116名、回収済が22名であった。

図表 2-01

モニタリング実施又は全て回収時点の状況について

		調査数	継続中	回収済
全体		138	116	22
		100.0	84.1	15.9
調査対象用具	単点杖	3	2	1
		100.0	66.7	33.3
	歩行器	19	17	2
		100.0	89.5	10.5
	固定用スロープ	27	19	8
		100.0	70.4	29.6
	多点杖	89	78	11
		100.0	87.6	12.4



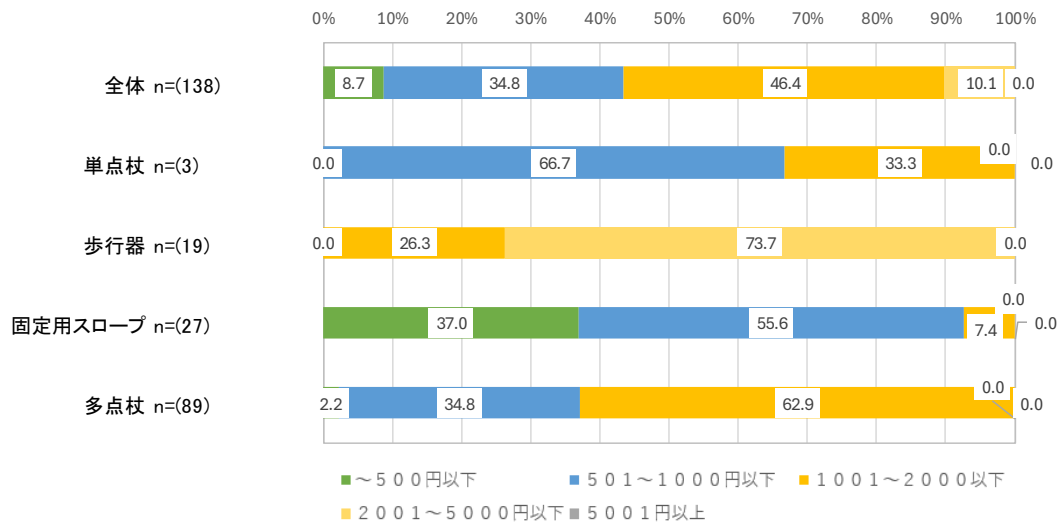
## 1. 調査対象用具1個あたりのレンタル料金

調査対象用具1個あたりのレンタル料金は、全体として「1,001～2,000円」が46.4%で最も多かった。種目別では、「単点杖」が「501～1,000円」66.7%、「歩行器」は「2,001～5,000円」73.7%、「固定用スロープ」が「501～1,000円」55.6%、「多点杖」が「1,001～2,000円」62.9%と最も多かった。全体の平均金額は1,154円で、個別で見ると「単点杖」1,007円、「歩行器」2,146円、「固定用スロープ」590円、「多点杖」1,119円であった。

図表 2-02

調査対象用具1個あたりのレンタル料金

		調査数	500円以下	501～1000円以下	1001～2000円以下	2001～5000円以下	5001円以上
全体		138 100.0	12 8.7	48 34.8	64 46.4	14 10.1	-
調査対象用具	単点杖	3 100.0	-	2 66.7	1 33.3	-	-
	歩行器	19 100.0	-	-	5 26.3	14 73.7	-
	固定用スロープ	27 100.0	10 37.0	15 55.6	2 7.4	-	-
	多点杖	89 100.0	2 2.2	31 34.8	56 62.9	-	-



図表 2-03

調査対象用具1個あたりのレンタル料金

		調査数	平均	最小値	最大値
全体		138	1,154	300	2,700
調査対象用具	単点杖	3	1,007	1,000	1,020
	歩行器	19	2,146	1,180	2,700
	固定用スロープ	27	590	300	1,200
	多点杖	89	1,119	500	1,280

## 2. TAIS 希望小売価格

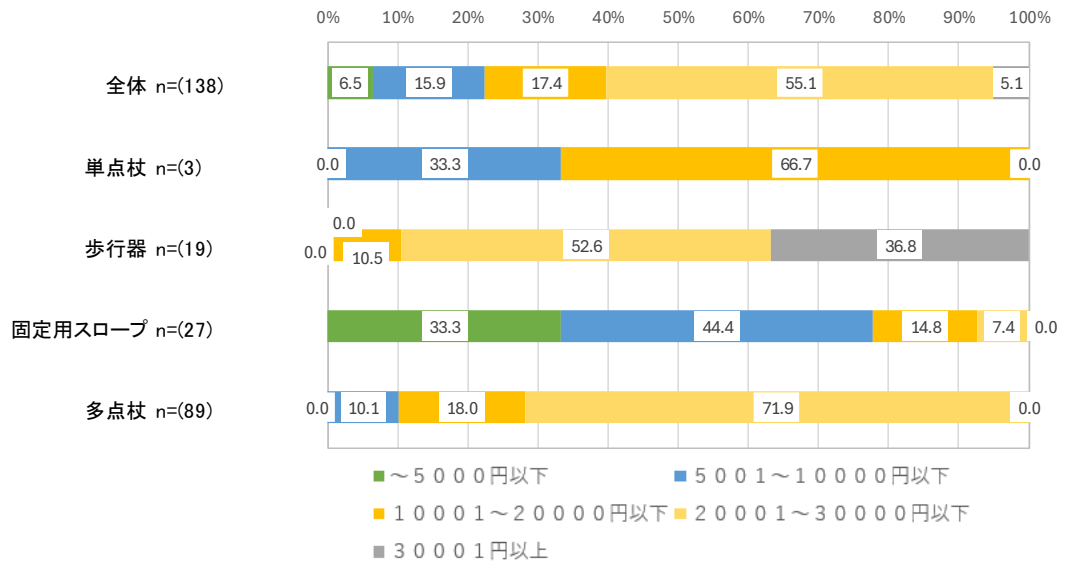
TAIS 希望小売価格は、全体として「20,001 円～30,000 円」が 55.1%で最も多かった。種目別では、「単点杖」が「10,001 円～20,000 円」66.7%、「歩行器」が「20,001 円～30,000 円」52.6%、「固定用スロープ」が「5,001 円～10,000 円」44.4%、「多点杖」が「20,001 円～30,000 円」71.9%と最も多かった。

全体の平均価格は 18,415 円で、種目別で見ると「単点杖」11,700 円、「歩行器」29,837 円、「固定用スロープ」7,837 円、「多点杖」19,412 円であった。

図表 2-04

TAIS希望小売価格

		調査数	下 5 0 0 0 円 以	下 5 0 0 0 円 以	5 0 0 0 0 0 0 0 円 1 以	0 1 0 0 0 0 0 0 円 1 以	0 2 0 0 0 0 0 0 円 1 以	上 3 0 0 0 0 1 円 以
全体		138	9	22	24	76	7	
		100.0	6.5	15.9	17.4	55.1	5.1	
調査対象用具	単点杖	3	-	1	2	-	-	
		100.0	-	33.3	66.7	-	-	
	歩行器	19	-	-	2	10	7	
		100.0	-	-	10.5	52.6	36.8	
固定用スロープ	27	9	12	4	2	-		
	100.0	33.3	44.4	14.8	7.4	-		
多点杖	89	-	9	16	64	-		
	100.0	-	10.1	18.0	71.9	-		



図表 2-05

TAIS希望小売価格

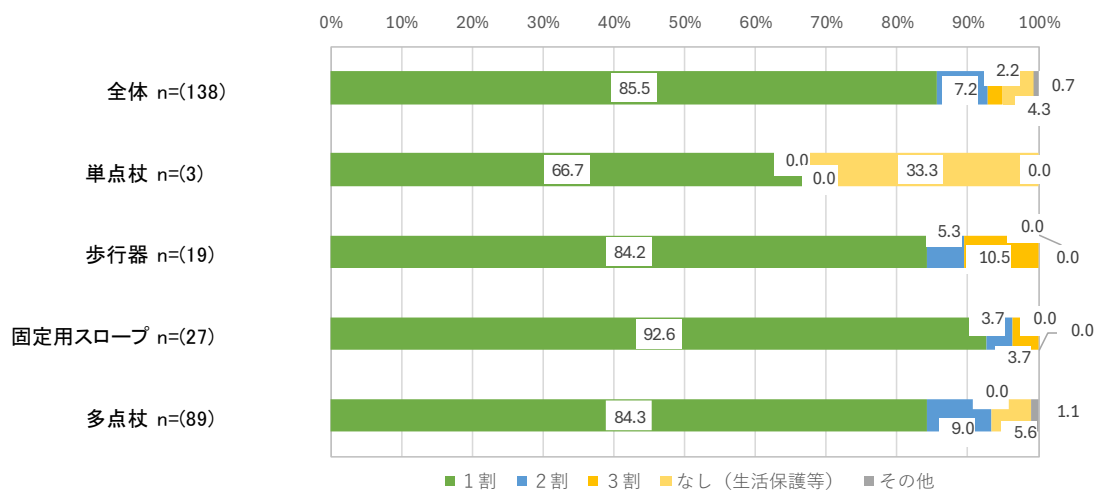
		調査数	平均	最小値	最大値
全体		138	18,415	3,500	44,800
調査対象用具	単点杖	3	11,700	7,200	16,000
	歩行器	19	29,837	18,800	44,800
	固定用スロープ	27	7,837	3,500	22,500
	多点杖	89	19,412	7,000	24,800

### 3. 自己負担割合

自己負担割合は、全体として「1割」が85.5%で最も多かった。種目別でも、「単点杖」が「1割」66.7%、「歩行器」は「1割」84.2%、「固定用スロープ」が「1割」92.6%、「多点杖」が「1割」84.3%と「1割」が最も多かった。

図表 2-06

		調査数	1割	2割	3割	等なし (生活保護)	その他
全体		138	118	10	3	6	1
		100.0	85.5	7.2	2.2	4.3	0.7
調査対象用具	単点杖	3	2	-	-	1	-
		100.0	66.7	-	-	33.3	-
	歩行器	19	16	1	2	-	-
		100.0	84.2	5.3	10.5	-	-
固定用スロープ	27	25	1	1	-	-	
	100.0	92.6	3.7	3.7	-	-	
多点杖	89	75	8	-	5	1	
	100.0	84.3	9.0	-	5.6	1.1	



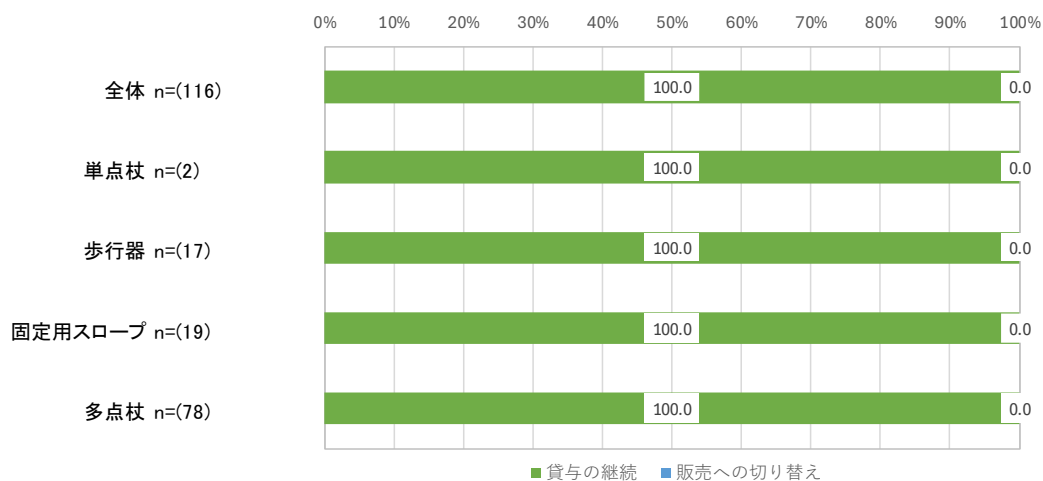
#### 4. 貸与継続の検討の結果

貸与継続の検討の結果は、全体として「貸与の継続」100.0%であった。

図表 2-07

貸与継続の検討の結果

		調査数	貸与の継続	え 販売への切り替
全体		116 100.0	116 100.0	- -
調査対象用具	単点杖	2 100.0	2 100.0	- -
	歩行器	17 100.0	17 100.0	- -
	固定用スロープ	19 100.0	19 100.0	- -
	多点杖	78 100.0	78 100.0	- -



## 5. 貸与中止(福祉用具の回収)の理由

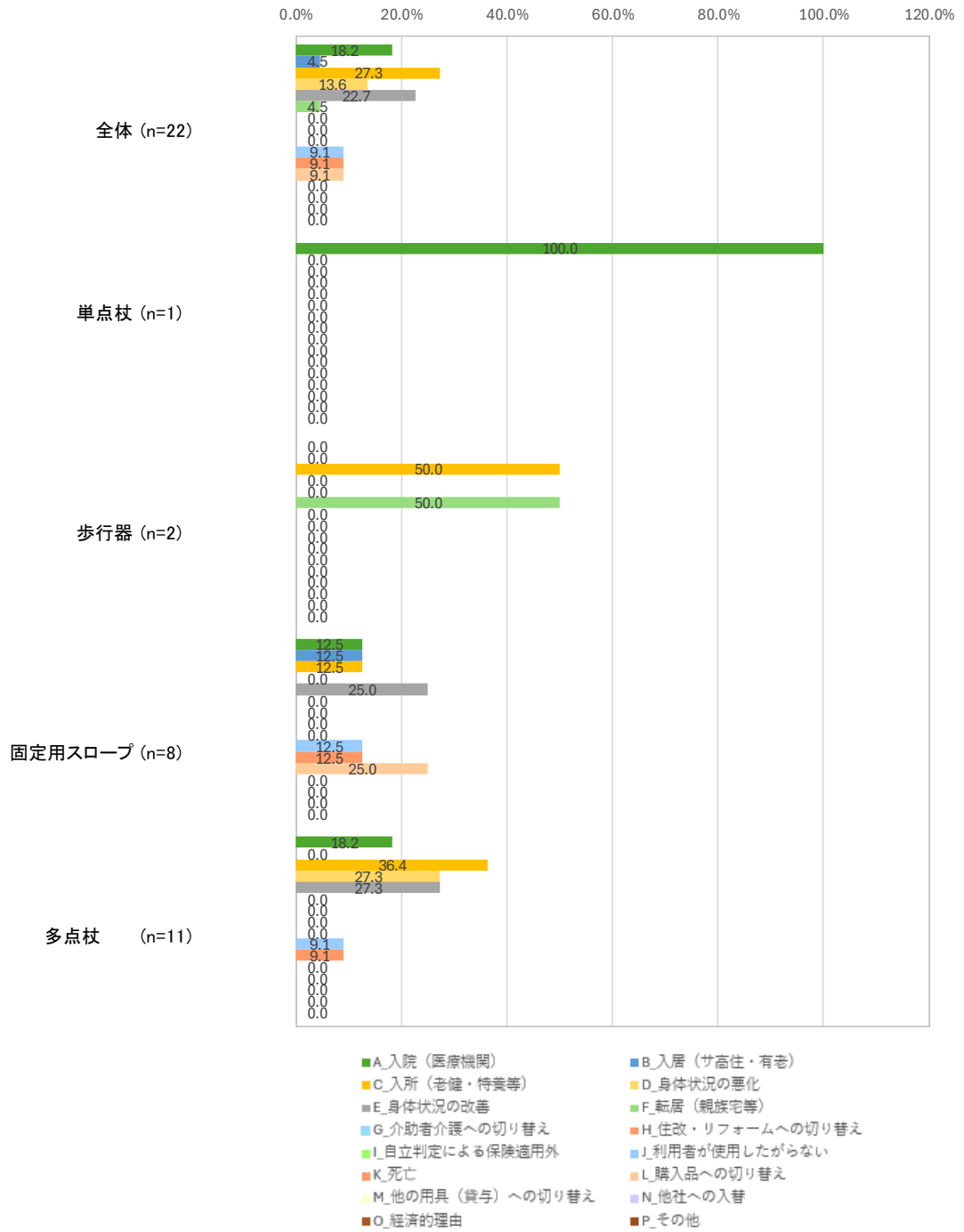
第3回調査(12か月後)の貸与継続から第4回調査(18か月後)までの間に貸与を中止(福祉用具の回収)した理由は、「入所」6件(27.3%)、「身体状況の改善」5件(22.7%)、「入院」4件(18.2%)と多かった。

図表 2-08

回収した理由

	調査数	A 機 関 入 院 ( 医 療 )	B 住 ・ 有 老 入 居 ( サ 高 )	C 健 ・ 特 養 等 入 所 ( 老 )	D 悪 化 身 体 状 況 の	E 改 善 身 体 状 況 の	F 宅 等 転 居 ( 親 族 )	G へ の 切 り 替 え 介 助 者 介 護	H フ ォ ー ム 改 ・ 住 改 ・ 住 切 り 替 え
全体	22 100.0	4 18.2	1 4.5	6 27.3	3 13.6	5 22.7	1 4.5	-	-
調査対象用具	単点杖	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	歩行器	2 100.0	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-
	固定用スロープ	8 100.0	1 12.5	1 12.5	1 12.5	-	2 25.0	-	-
	多点杖	11 100.0	2 18.2	-	4 36.4	3 27.3	3 27.3	-	-

	I よ る 保 険 立 判 適 用 定 外 に	J 用 し た が ら な い 使 者 が 使	K 死 亡	L 切 り 替 え 購 入 品 へ の	M り 替 え ( 貸 与 へ の 切 り 替 え )	N 替 他 社 へ の 入	O 経 済 的 理 由	P そ の 他
全体	-	2 9.1	2 9.1	2 9.1	-	-	-	-
調査対象用具	単点杖	-	-	-	-	-	-	-
	歩行器	-	-	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	-	1 12.5	1 12.5	2 25.0	-	-	-
	多点杖	-	1 9.1	1 9.1	-	-	-	-



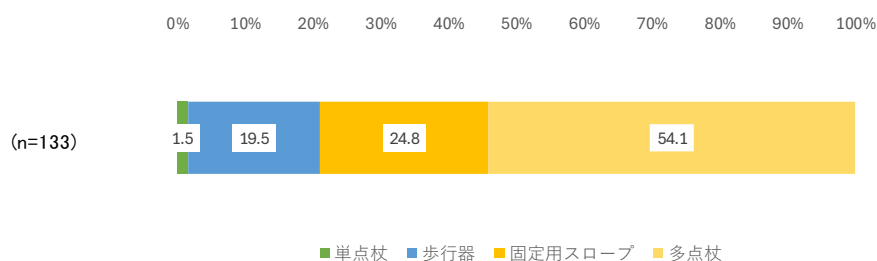
## 2.2.2 福祉用具貸与の中止(福祉用具の回収)の状況

第3回調査(12か月後)時点で、死亡以外の理由で貸与中止となった者は133名であり、種目別では「多点杖」72名、「固定用スロープ」33名、「歩行器」26名、「単点杖」2名であった。

図表 2-09

令和7年5月までに利用中止した調査対象用具

	調査数	単点杖	歩行器	固定用スロープ	多点杖
	133	2	26	33	72
	100.0	1.5	19.5	24.8	54.1



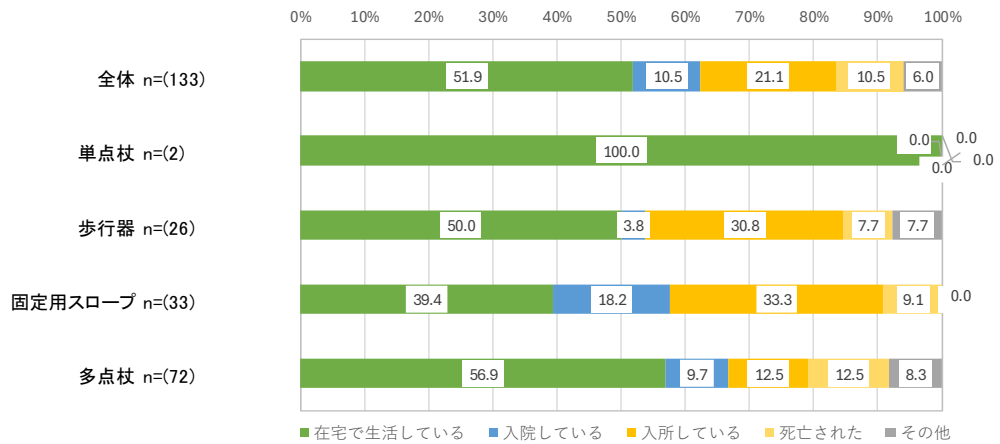
### 1. 貸与中止(福祉用具の回収)した利用者の状況

貸与を中止した利用者の現在の状況は、全体として「在宅で生活している」51.9%で最も多かった。種目別でも同様に「在宅で生活している」が最も多かった。

図表 2-10

利用者の現在の状況

		調査数	在宅で生活している	入院している	入所している	死亡された	その他
全体		133	69	14	28	14	8
		100.0	51.9	10.5	21.1	10.5	6.0
令和7年5月までに調査対象用具	単点杖	2	2	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-
	歩行器	26	13	1	8	2	2
		100.0	50.0	3.8	30.8	7.7	7.7
固定用スロープ	33	13	6	11	3	-	
	100.0	39.4	18.2	33.3	9.1	-	
多点杖	72	41	7	9	9	6	
	100.0	56.9	9.7	12.5	12.5	8.3	



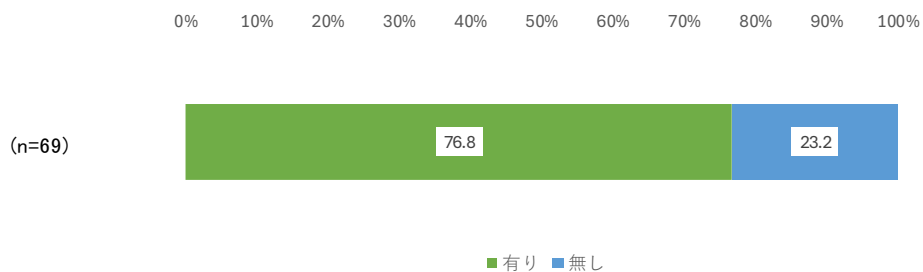
## 2. 貸与中止(福祉用具の回収)した利用者の現在における福祉用具の利用

貸与を中止した利用者の現在における福祉用具の利用有無は「有り」76.8%、「無し」23.2%で、使用している福祉用具は「手すり(貸与)」が最も多く 62.3%で、次いで「歩行器(貸与)」が 43.4%であった。

図表 2-11

現在における福祉用具の利用有無

	調査数	有り	無し
	69	53	16
	100.0	76.8	23.2

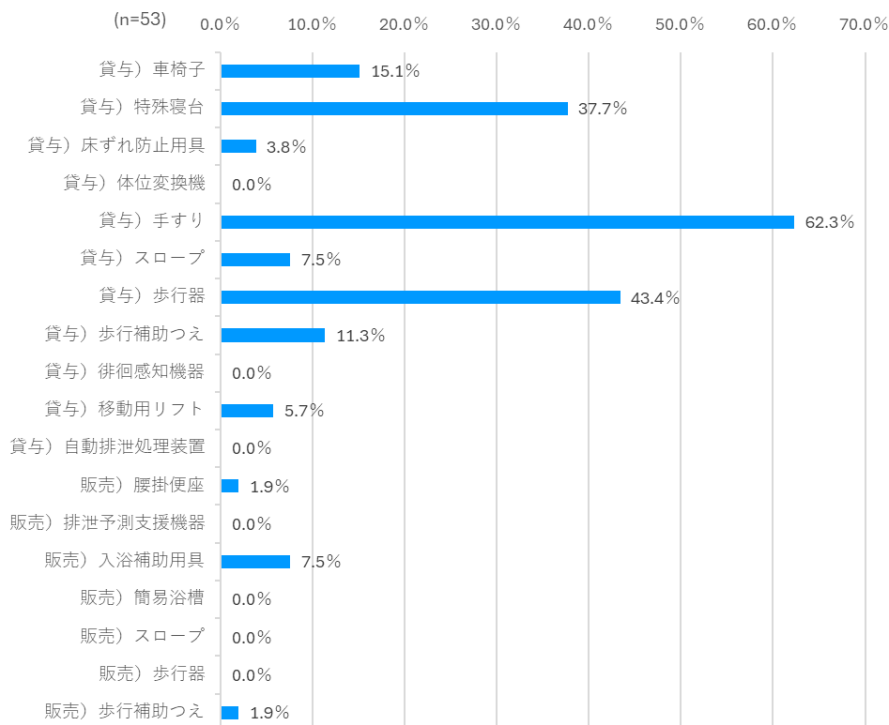


図表 2-12

現在利用している福祉用具

	調査数	貸与 (車椅子)	貸与 (特殊寝台)	貸与 (床ずれ防 止用具)	機 貸与 (体位変換 機)	貸与 (手すり)	貸与 (スロープ)	貸与 (歩行器)	貸与 (歩行補助 つえ)	機 貸与 (徘徊感知 機器)
	53	8	20	2	-	33	4	23	6	-
	100.0	15.1	37.7	3.8	-	62.3	7.5	43.4	11.3	-

	フ 貸与 (移動用 リフト)	処 貸与 (自動排 泄処理装 置)	販 売 (腰掛便 座)	支 販 売 (排泄予 測機器)	販 売 (入浴補 助用具)	販 売 (簡易浴 槽)	販 売 (スロー プ)	販 売 (歩行器)	販 売 (歩行補 助つえ)
	3	-	1	-	4	-	-	-	1
	5.7	-	1.9	-	7.5	-	-	-	1.9



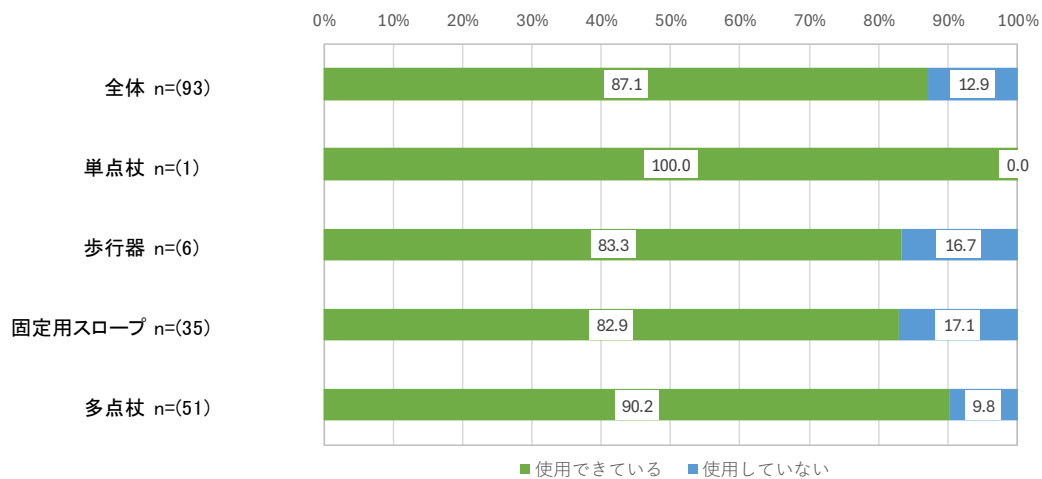
## 2.2.3 福祉用具販売の継続の状況

第3回調査(12か月後)時点で販売継続だった93名における第4回調査(18か月後)時点の状況は、「使用できている」81名、「使用していない」12名であった。

図表 2-13

調査対象福祉用具の使用状況

		調査数	使用できている	使用していない
全体		93 100.0	81 87.1	12 12.9
調査対象用具	単点杖	1 100.0	1 100.0	- -
	歩行器	6 100.0	5 83.3	1 16.7
	固定用スロープ	35 100.0	29 82.9	6 17.1
	多点杖	51 100.0	46 90.2	5 9.8



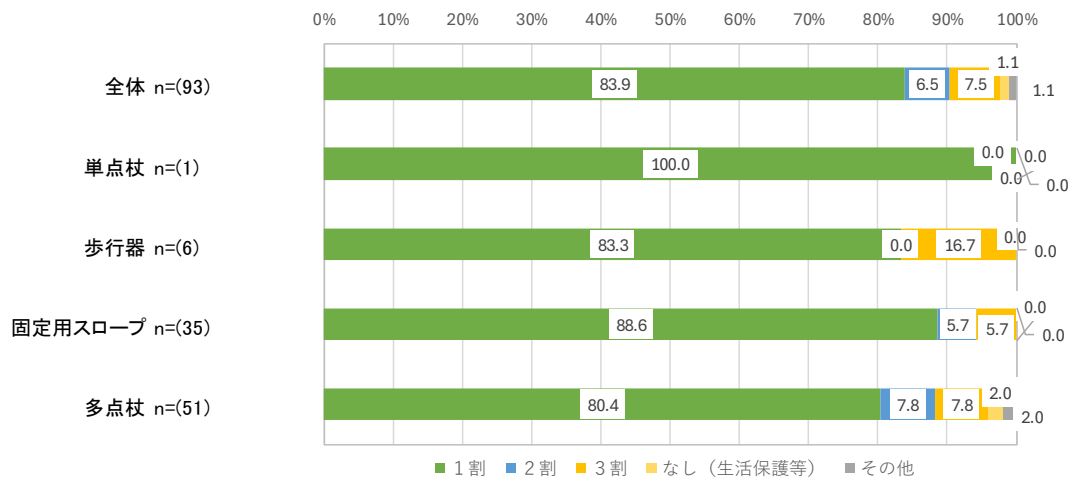
## 1. 自己負担割合

販売使用継続している利用者の自己負担割合は、全体として「1割」83.9%で最も多かった。種目別でも、「単点杖」が「1割」100.0%、「歩行器」が「1割」83.3%、「固定用スロープ」が「1割」88.6%、「多点杖」が「1割」80.4%でいずれも「1割」が最も多かった。

図表 2-14

自己負担割合

		調査数	1割	2割	3割	等なし (生活保護)	その他
全体		93 100.0	78 83.9	6 6.5	7 7.5	1 1.1	1 1.1
調査対象用具	単点杖	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	歩行器	6 100.0	5 83.3	-	1 16.7	-	-
	固定用スロープ	35 100.0	31 88.6	2 5.7	2 5.7	-	-
	多点杖	51 100.0	41 80.4	4 7.8	4 7.8	1 2.0	1 2.0



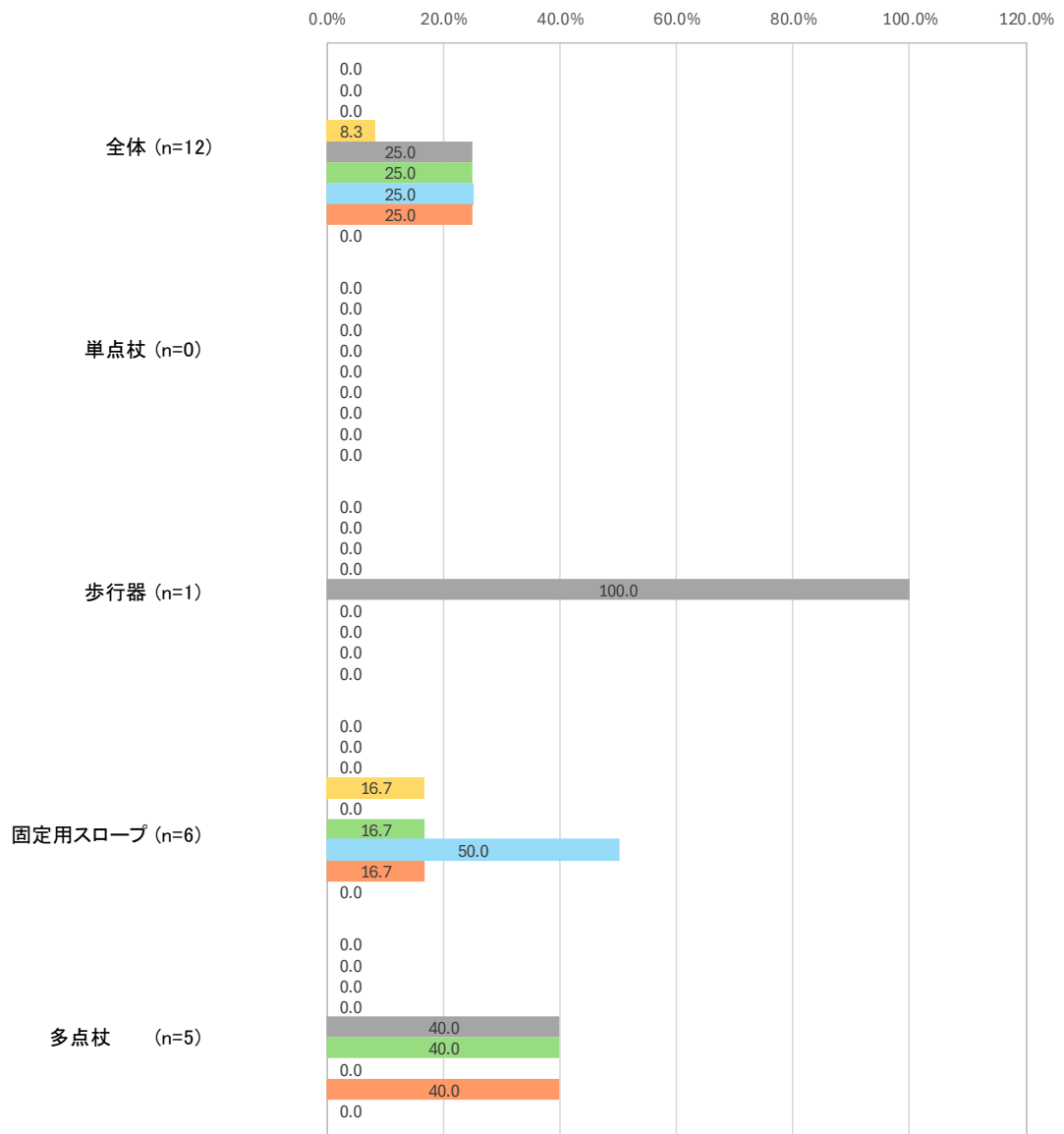
## 2. 使用できていない理由

第3回調査(12か月後)時点で販売継続であったが第4回調査(18か月後)時点では「使用していない」12名について、使用していない理由は全体では「身体の状態が悪くなったから」、「ご利用者様が入院したから」、「ご利用者様が入所したから」、「ご利用者様が死亡したから」が同率で最も多く25.0%であった。

図表 2-15

使用できていない理由

	調査数	い用具が使いづら	い用具の調子が悪	ら用具が壊れたか	く身体の状態が良	く身体の状態が悪	院ご利用者様が入	所ご利用者様が入	亡ご利用者様が死	その他
全体	12 100.0	- -	- -	- -	1 8.3	3 25.0	3 25.0	3 25.0	3 25.0	- -
調査対象用具	単点杖	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	歩行器	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
	固定用スロープ	6 100.0	- -	- -	- -	1 16.7	- -	1 16.7	3 50.0	1 16.7
	多点杖	5 100.0	- -	- -	- -	- -	2 40.0	2 40.0	- -	2 40.0



- 用具が使いやすいから
- 用具の調子が悪いから
- 用具が壊れたから
- 身体の状態が良くなったから
- 身体の状態が悪くなったから
- ご利用者様が入院したから
- ご利用者様が入所したから
- ご利用者様が死亡したから
- その他

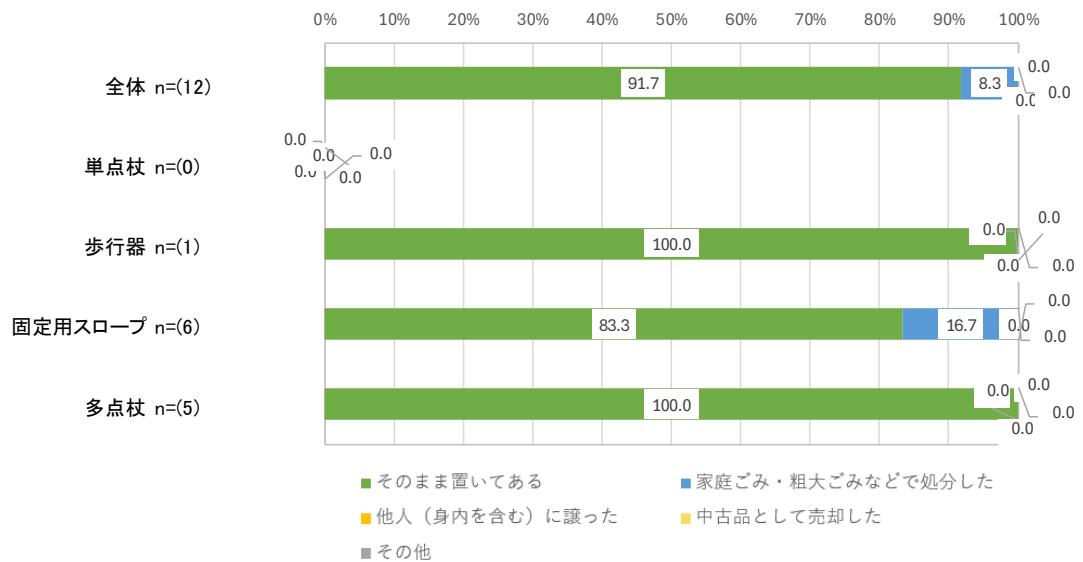
### 3. 使用していない用具

第3回調査(12か月後)時点で販売継続であったが第4回調査(18か月後)時点では「使用していない」12名の用具は、全体として「そのまま置いてある」が91.7%で最も多かった。

図表 2-16

使用していない用具はどうされましたか。

		調査数	そのまま置いて	家庭ごみ・粗大ごみなどで処分した	他人(身内を含む)に譲った	中古品として売却した	その他
全体		12 100.0	11 91.7	1 8.3	-	-	-
調査対象用具	単点杖	-	-	-	-	-	-
	歩行器	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	固定用スロープ	6 100.0	5 83.3	1 16.7	-	-	-
	多点杖	5 100.0	5 100.0	-	-	-	-



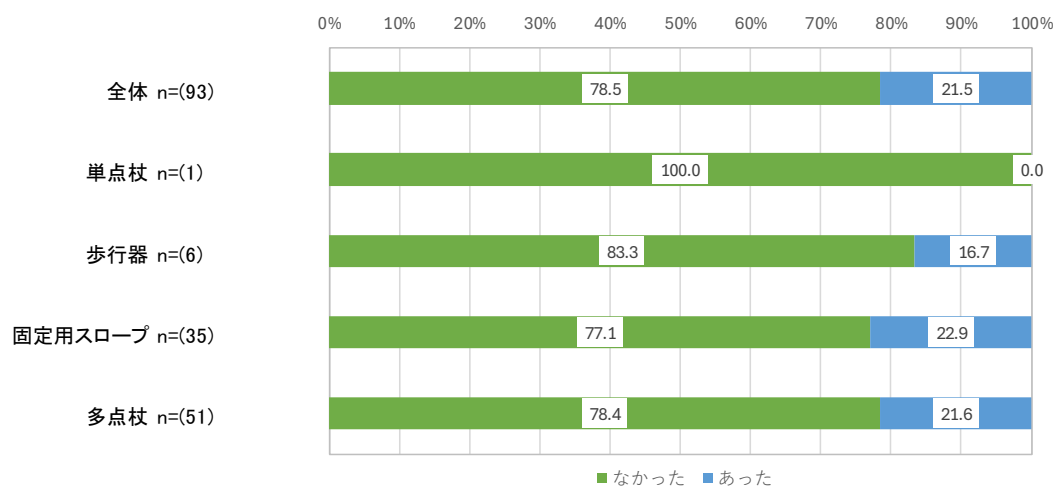
## 4. 入院や入所

販売使用継続している利用者の6か月間の入院や入所の有無は、全体として「なかった」78.5%、「あった」21.5%であった。

図表 2-17

この6か月の間に、入院や入所はありましたか。

		調査数	なかった	あった
全体		93 100.0	73 78.5	20 21.5
調査対象用具	単点杖	1 100.0	1 100.0	- -
	歩行器	6 100.0	5 83.3	1 16.7
	固定用スロープ	35 100.0	27 77.1	8 22.9
	多点杖	51 100.0	40 78.4	11 21.6

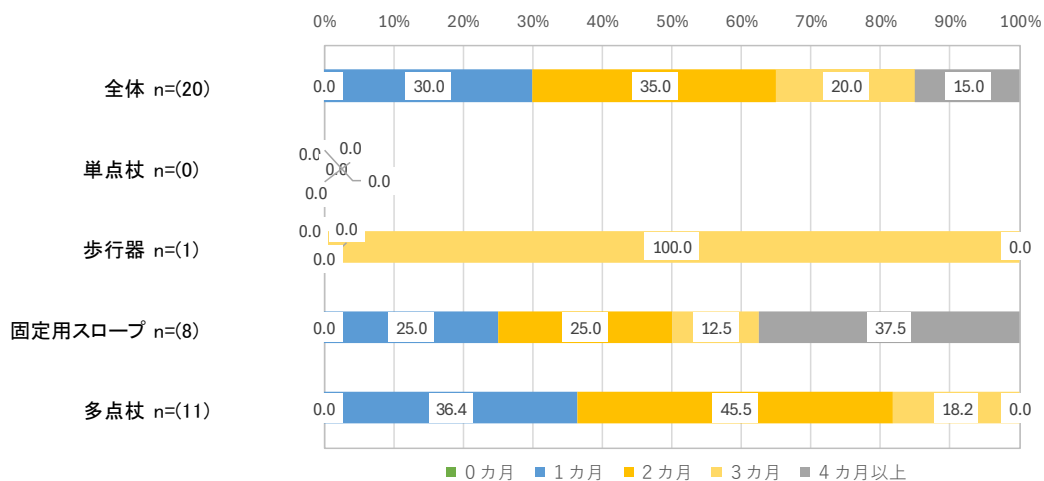


令和7年5月時点で販売使用継続している利用者の6か月の入院や入所の期間は、全体として「2か月」が最も多く35.0%であった。個別で見ると、「単点杖」は利用者がおらず、「歩行器」は「3か月」が100.0%、「固定用スロープ」は「4か月以上」が37.5%、「多点杖」は「2か月」が45.5%で最も多かった。全体の平均期間は2.70か月で、個別で見ると「歩行器」が3.00か月、「固定用スロープ」が3.88か月、「多点杖」が1.82か月であった。

図表 2-18

この6か月の間の入院や入所の期間(合計何カ月)

		調査数	0 カ 月	1 カ 月	2 カ 月	3 カ 月	4 カ 月 以上
全体		20 100.0	- -	6 30.0	7 35.0	4 20.0	3 15.0
調査 対象 用具	単点杖	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	歩行器	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -
	固定用スロープ	8 100.0	- -	2 25.0	2 25.0	1 12.5	3 37.5
	多点杖	11 100.0	- -	4 36.4	5 45.5	2 18.2	- -



図表 2-19

合計何カ月

		調査数	平均	最小値	最大値
全体		20	2.70	1.00	12.00
調査対象用具	単点杖	-	-	-	-
	歩行器	1	3.00	3.00	3.00
	固定用スロープ	8	3.88	1.00	12.00
	多点杖	11	1.82	1.00	3.00

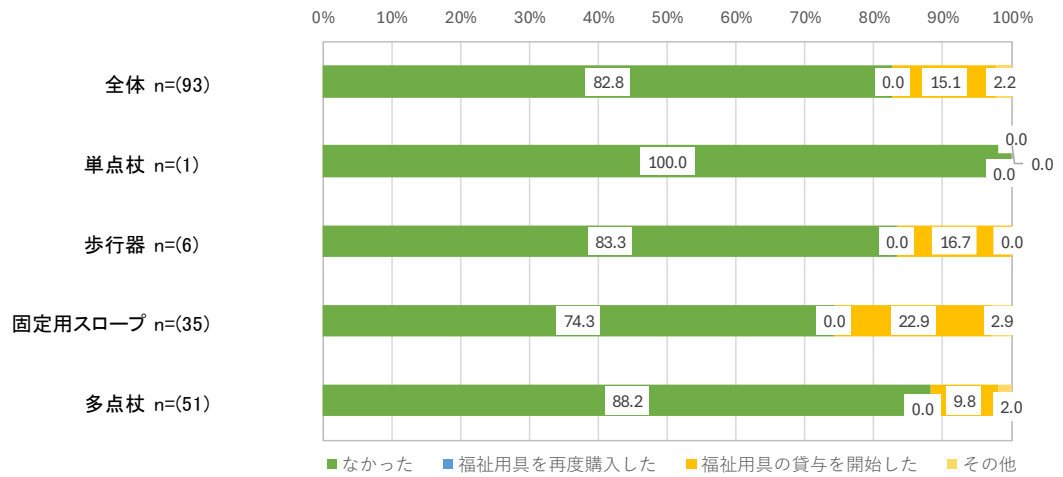
## 5. 福祉用具の再購入や新たな利用開始の有無

販売使用継続している利用者の6か月間に福祉用具の再購入や新たな利用開始の有無は、全体として「なかった」が82.8%で最も多かった。種目別でも、「単点杖」が「なかった」100.0%、「歩行器」が「なかった」83.3%、「固定用スロープ」が「なかった」74.3%、「多点杖」が「なかった」88.2%でいずれも「なかった」が最も多かった。

図表 2-20

この6か月の間に、福祉用具の再購入や新たな利用開始はありましたか。

		調査数	なかった	購入福祉用具を再度	を福祉用具の貸与	その他
全体		93 100.0	77 82.8	-	14 15.1	2 2.2
調査対象用具	単点杖	1 100.0	1 100.0	-	-	-
	歩行器	6 100.0	5 83.3	-	1 16.7	-
	固定用スロープ	35 100.0	26 74.3	-	8 22.9	1 2.9
	多点杖	51 100.0	45 88.2	-	5 9.8	1 2.0



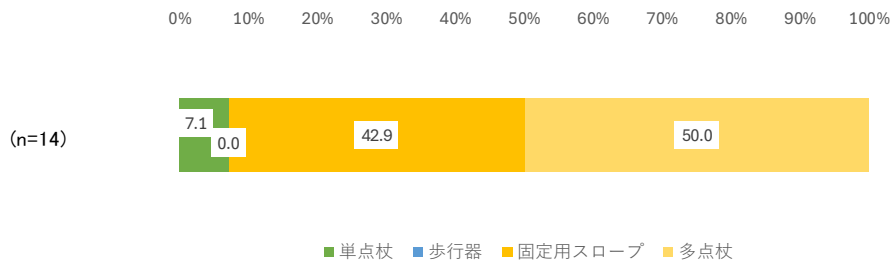
## 2.2.4 福祉用具販売の中止の状況

令和7年5月時点で販売使用中止している利用者の令和7年11月時点の調査対象用具は、「多点杖」が最も多く50.0%であった。

図表 2-21

令和7年5月までに利用中止した調査対象用具

	調査数	単点杖	歩行器	固定用スロープ	多点杖
	14	1	-	6	7
	100.0	7.1	-	42.9	50.0



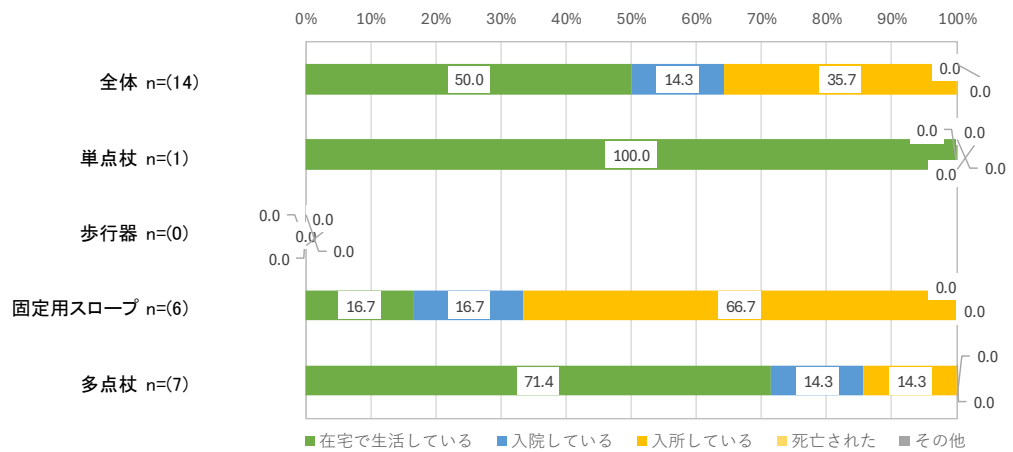
## 1. 利用者の現在の状況

販売使用中止している利用者の現在の状況は、全体として「在宅で生活している」が 50.0%で最も多かった。

図表 2-22

利用者の現在の状況

		調査数	在宅で生活している	入院している	入所している	死亡された	その他
全体		14 100.0	7 50.0	2 14.3	5 35.7	-	-
令和7年5月までに 利用中止した 対象用具	単点杖	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-
	歩行器	-	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	6 100.0	1 16.7	1 16.7	4 66.7	-	-
	多点杖	7 100.0	5 71.4	1 14.3	1 14.3	-	-



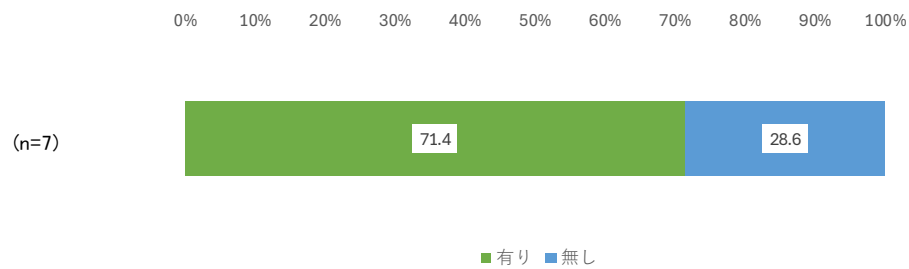
## 2. 現在の福祉用具の利用有無

販売使用中止している利用者の現在における福祉用具の利用有無は、「有り」が 71.4%、「無し」が 28.6%であった。

図表 2-23

現在における福祉用具の利用有無

	調査数	有り	無し
	7	5	2
	100.0	71.4	28.6



### 3. 現在利用している福祉用具

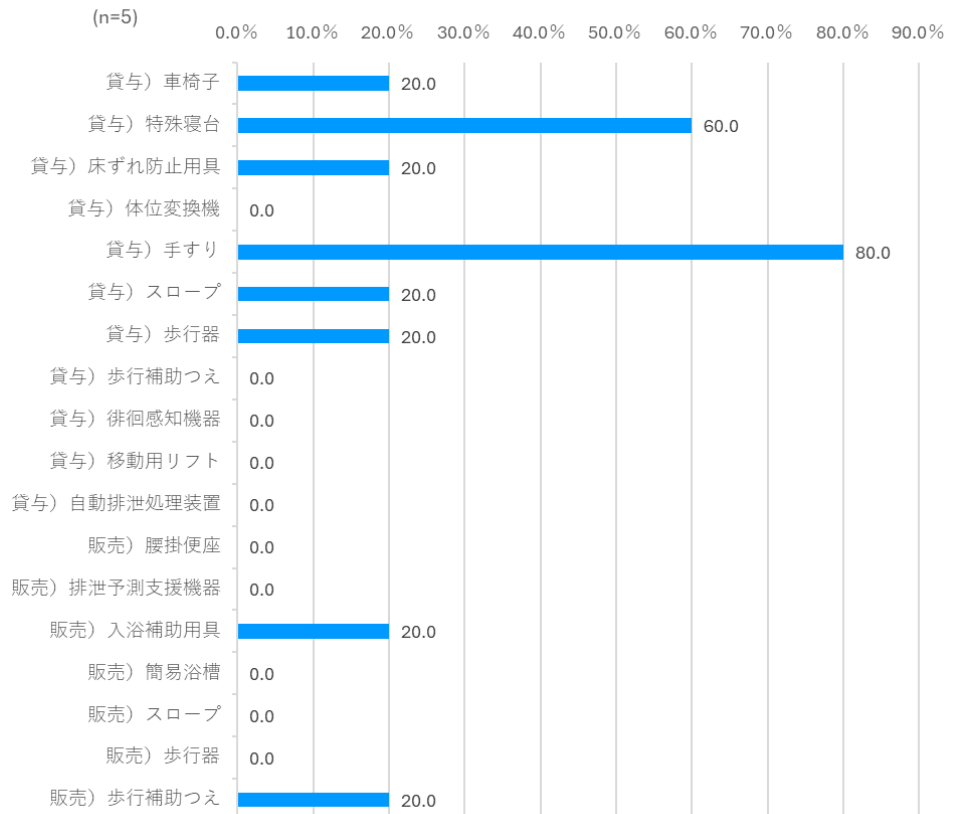
調査対象福祉用具は販売後使用中止して、令和7年11月時点で別の福祉用具を利用している利用者の福祉用具は、「手すり(貸与)」が最も多く80.0%であった。

図表 2-24

現在利用している福祉用具

	調査数	貸与(車椅子)	貸与(特殊寝台)	貸与(床ずれ防止用具)	貸与(体位変換機)	貸与(手すり)	貸与(スロープ)	貸与(歩行器)	貸与(歩行補助つえ)	貸与(徘徊感知機器)
	5 100.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	- -	4 80.0	1 20.0	1 20.0	- -	- -

	貸与(移動用リフト)	貸与(自動排泄処理装置)	販売(腰掛便座)	販売(排泄予測支援機器)	販売(入浴補助用具)	販売(簡易浴槽)	販売(スロープ)	販売(歩行器)	販売(歩行補助つえ)
	- -	- -	- -	- -	1 20.0	- -	- -	- -	1 20.0



## 2.3 第1回～第4回(18 か月間)の結果

### 2.3.1 第1回～第4回(18 か月間)の推移

#### 1. 貸与月数[調査対象用具別]

貸与を開始してから18 か月間の貸与月数は、「18 か月以上」が最も多く30.3%であった。種目別では、「単点杖」が「18 か月以上」40.0%、「歩行器」が「18 か月以上」29.3%、「固定用スロープ」が「3 か月未満」及び「18 か月以上」19.8%、「多点杖」が「18 か月以上」34.6%で最も多かった。

図表 3-01

貸与月数

		調査数	3 か月未満	3 か月未満 6 か月未満	6 か月未満 9 か月未満	9 か月未満 12 か月未満	12 か月未満 15 か月未満	15 か月未満 18 か月未満	18 か月以上	無回答
全体		390	60	56	41	38	19	11	118	47
		100.0	15.4	14.4	10.5	9.7	4.9	2.8	30.3	12.1
調査対象用具	単点杖	5	1	-	-	-	1	1	2	-
		100.0	20.0	-	-	-	20.0	20.0	40.0	-
	歩行器	58	7	11	6	7	2	3	17	5
		100.0	12.1	19.0	10.3	12.1	3.4	5.2	29.3	8.6
固定用スロープ	96	19	15	9	10	6	4	19	14	
	100.0	19.8	15.6	9.4	10.4	6.3	4.2	19.8	14.6	
多点杖	231	33	30	26	21	10	3	80	28	
	100.0	14.3	13.0	11.3	9.1	4.3	1.3	34.6	12.1	

貸与を終了した福祉用具の平均貸与期間は、全体で10.75 か月であった。種目別では、「単点杖」が13.60 か月、「歩行器」が10.63 か月、「固定用スロープ」が9.36 か月、「多点杖」が11.27 か月であった。

図表 3-02

貸与を終了した福祉用具の平均貸与期間

		調査数	貸与期間を終了した平均
全体		343	10.75
調査対象用具	単点杖	5	13.60
	歩行器	53	10.63
	固定用スロープ	82	9.36
	多点杖	203	11.27

## 2. モニタリング実施回数[調査対象用具別]

貸与を開始してから18か月間のモニタリング実施回数は、全体として「5回」が52.2%で最も多かった。種目別では、「単点杖」が「5回」と「6回」、「7回以上」が同率で33.3%、「歩行器」が「5回」47.4%、「固定用スロープ」が「5回」40.7%、「多点杖」が「5回」57.3%で最も多かった。

図表 3-03

累計モニタリング実施回数

		調査数	3回	4回	5回	6回	7回以上	調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
全体		138 100.0	3 2.2	37 26.8	72 52.2	17 12.3	9 6.5	138	5.10	1.51	3.00	16.00
調査対象用具	単点杖	3 100.0	-	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	3	6.00	0.82	5.00	7.00
	歩行器	19 100.0	-	7 36.8	9 47.4	2 10.5	1 5.3	19	5.00	1.34	4.00	10.00
	固定用スロープ	27 100.0	1 3.7	8 29.6	11 40.7	6 22.2	1 3.7	27	4.93	0.90	3.00	7.00
	多点杖	89 100.0	2 2.2	22 24.7	51 57.3	8 9.0	6 6.7	89	5.15	1.69	3.00	16.00

### 3. 貸与価格・販売価格中央値[調査対象用具別]

第1回～第4回を通算した調査対象用具別の貸与価格の中央値は、「単点杖」が1,020円、「歩行器」が2,201円、「固定用スロープ」が600円、「多点杖」が1,157円であった。

第1回～第4回を通算した調査対象用具別の販売価格の中央値は、「単点杖」が11,067円、「歩行器」が31,535円、「固定用スロープ」が8,487円、「多点杖」が18,517円であった。

図表 3-04

貸与価格・販売価格中央値

		調査数	貸与価格中央値	販売価格中央値
調査対象用具	単点杖	7	1,020	11,067
	歩行器	59	2,201	31,535
	固定用スロープ	134	600	8,487
	多点杖	263	1,157	18,517

### 4. 利用者負担額における分岐月数[調査対象用具別]

第1回～第4回を通算した利用者負担額における分岐月数は、「単点杖」が10.85か月、「歩行器」が14.33か月、「固定用スロープ」が14.14か月、「多点杖」が16.00か月であった。

図表 3-05

利用者負担額における分岐月数

		調査数	貸与価格中央値 販売価格中央値 ／
調査対象用具	単点杖	7	10.85
	歩行器	59	14.33
	固定用スロープ	134	14.14
	多点杖	263	16.00

## 5. 利用者負担額の増減[調査対象用具別]

第1回～第4回を通算した調査対象用具別の利用者負担額の増減は、全体として「増加」が34.0%、「減少」が66.0%であった。種目別では、「単点杖」は「増加」及び「減少」50.0%、「歩行器」が「減少」60.7%、「固定用スロープ」が「減少」66.4%、「多点杖」が「減少」67.5%が多かった。

第1回～第4回を通算した利用者負担額の増減の平均額は、全体として619円の減少であった。個別で見ると、「単点杖」が120円の減少、「歩行器」が1,079円の減少、「固定用スロープ」が334円の減少、「多点杖」が664円の減少であった。

※「利用者負担額の増減」は以下の計算結果による

貸与利用者の場合：(購入した場合の自己負担額)－(福祉用具貸与期間×貸与価格(自己負担))

購入利用者の場合：(福祉用具利用期間×貸与価格(自己負担))－(購入した自己負担額)

図表 3-06

利用者負担額の増減

		調査数	増加	増減なし	減少	調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
全体		406	138	-	268	406	-619	1,394	-15,528	4,536
		100.0	34.0	-	66.0					
調査対象用具	単点杖	6	3	-	3	6	-120	932	-1,508	1,218
		100.0	50.0	-	50.0					
	歩行器	56	22	-	34	56	-1,079	2,218	-7,149	4,536
		100.0	39.3	-	60.7					
	固定用スロープ	116	39	-	77	116	-334	703	-3,132	1,229
		100.0	33.6	-	66.4					
	多点杖	228	74	-	154	228	-664	1,369	-15,528	1,431
		100.0	32.5	-	67.5					

## 6. 利用者負担額の増減[貸与/販売別]

第1回～第4回を通算した貸与・販売別の利用者負担額の増減は、全体として「増加」が34.0%、「減少」が66.0%であった。「貸与」では「増加」37.2%、「減少」62.8%で、「販売」では「増加」24.8%、「減少」75.2%であった。

利用者負担額の増減の平均額は、全体として619円の減少であった。個別で見ると、「貸与」が603円の減少、「販売」が664円の減少であった。

図表 3-07

		調査数	増加	増減なし	減少	調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
全体		406	138	—	268	406	-619	1,394	-15,528	4,536
		100.0	34.0	—	66.0					
利用者負担額 の増減 (貸与/ 販売)	貸与	301	112	—	189	301	-603	1,273	-7,149	4,536
		100.0	37.2	—	62.8					
	販売	105	26	—	79	105	-664	1,692	-15,528	1,326
		100.0	24.8	—	75.2					

## 7. 給付額の増減 [調査対象用具別]

第1回～第4回を通算した調査対象用具別の給付額の増減は、全体として「増加」が34.0%、「減少」が66.0%であった。種目別では、「単点杖」が「増加」57.1%、「歩行器」が「減少」61.4%、「固定用スロープ」が「減少」66.4%、「多点杖」が「減少」67.6%であった。

また、給付額の平均増減額は、全体として4,564円の減少であった。種目別では、「単点杖」が785円の減少、「歩行器」が8,300円の減少、「固定用スロープ」が2,688円の減少、「多点杖」が4,694円の減少であった。

※「給付額の増減」は以下の計算結果による

貸与利用者の場合：(販売(購入)した場合の給付額) - (福祉用具貸与期間×貸与価格(給付額))

販売(購入)利用者の場合：(福祉用具利用期間×貸与価格(給付額)) - (販売(購入)した給付額)

図表 3-08

給付額の増減

		調査数	増加	増減なし	減少	調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
全体		418 100.0	142 34.0	-	276 66.0	418	-4,564	8,500	-37,404	19,062
調査対象用具	単点杖	7 100.0	4 57.1	-	3 42.9	7	-785	7,800	-13,572	10,962
	歩行器	57 100.0	22 38.6	-	35 61.4	57	-8,300	15,147	-37,404	19,062
	固定用スロープ	116 100.0	39 33.6	-	77 66.4	116	-2,688	5,683	-24,327	11,061
	多点杖	238 100.0	77 32.4	-	161 67.6	238	-4,694	6,994	-36,232	11,934

## 8. 給付額の増減[貸与/販売別]

第1回～第4回を通算した貸与・販売別の給付額の増減は、全体として「増加」が 34.0%、「減少」が 66.0%であった。個別で見ると、「貸与」が「減少」で 62.8%、「販売」が「減少」で 75.5%であった。

また、給付額の平均増減額は、全体として 4,564 円の減少であった。個別で見ると、「貸与」が 4,716 円の減少、「販売」が 4,116 円の減少であった。

図表 3-09

給付額の増減

		調査数	増加	増減なし	減少	調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
全体		418 100.0	142 34.0	-	276 66.0	418	-4,564	8,500	-37,404	19,062
利用者負／販売の増減	貸与	312 100.0	116 37.2	-	196 62.8	312	-4,716	8,891	-37,404	19,062
	販売	106 100.0	26 24.5	-	80 75.5	106	-4,116	7,206	-36,232	11,934

## 9. 利用者負担額/給付額の増減(金額)【減少】[貸与]

第1回～第4回を通算した貸与の利用者負担額及び給付額の増減金額のうち減少部分について、全体としては、2,151,008 円の減少であった。個別で見ると、利用者負担額は 237,844 円の減少、給付額は 1,913,164 円の減少であった。

図表 3-10

減少		調査数	減少の合計
貸与			
全体		196	-2,151,008
利用者負担額の増減(金額) (金額)	利用者負担額の増減(金額)【減少】	189	-237,844
	給付額の増減(金額)【減少】	196	-1,913,164

## 10. 利用者負担額/給付額の増減(金額)【増加】[貸与]

第1回～第4回を通算した貸与の利用者負担額及び給付額の増減金額のうち増加部分について、全体としては、498,080 円の増加であった。個別で見ると、利用者負担額は 56,265 円の増加、給付額は 441,815 円の増加であった。

図表 3-11

貸与		調査数	増加の合計
全体		116	498,080
利用者負担額の増減(金額)【増加】 給付額の増減(金額)【増加】	利用者負担額の増減(金額)【増加】	112	56,265
	給付額の増減(金額)【増加】	116	441,815

## 11. 利用者負担額/給付額の増減(金額)【総合計】[貸与]

第1回～第4回を通算した貸与の利用者負担額及び給付額の増減について、全体としては、1,652,928 円の減少であった。個別で見ると、利用者負担額は 181,579 円の減少、給付額は 1,471,349 円の減少であった。

図表 3-12

貸与		調査数	総合計
全体		312	-1,652,928
利用者負担額 の増減 (金額)	利用者負担額の増減(金額)	301	-181,579
	給付額の増減(金額)	312	-1,471,349

## 12. 利用者負担額/給付額の増減(金額)【減少】[販売]

第1回～第4回を通算した販売の利用者負担額及び給付額の増減金額のうち減少部分について、全体としては、620,482 円の減少であった。個別で見ると、利用者負担額は 81,238 円の減少、給付額は 539,244 円の減少であった。

図表 3-13

販売		調査数	減少の合計
全体		80	-620,482
利用者負担額 / 給付額の増減 (金額)	利用者負担額の増減(金額)【減少】	79	-81,238
	給付額の増減(金額)【減少】	80	-539,244

### 13. 利用者負担額/給付額の増減(金額)【増加】[販売]

第1回～第4回を通算した販売の利用者負担額及び給付額の増減金額のうち増加部分について、全体としては、114,520 円の増加であった。個別で見ると、利用者負担額は 11,524 円の増加、給付額は 102,996 円の増加であった。

図表 3-14

販売		調査数	増加の合計
全体		26	114,520
利用者負担額/給付額の増減(金額)	利用者負担額の増減(金額)【増加】	26	11,524
	給付額の増減(金額)【増加】	26	102,996

#### 14. 利用者負担額/給付額の増減(金額)【総合計】[販売]

第1回～第4回を通算した販売の利用者負担額及び給付額の増減について、全体としては、505,962円の減少であった。個別で見ると、利用者負担額は69,714円の減少、給付額は436,248円の減少であった。

図表 3-15

販売		調査数	総合計
全体		106	-505,962
利用者負担額の増減(金額) 給付額の増減(金額)	利用者負担額の増減(金額)	105	-69,714
	給付額の増減(金額)	106	-436,248

■図表 3-10～3-15 のうち、「利用者負担額の増減」の注釈

※自己負担割合は、各利用者における最新の割合を適用している。

※自己負担が発生しない利用者(生活保護等)は、利用者負担額の増減に影響しないことから対象外としている。

※貸与金額は、各利用者における貸与開始日及び貸与終了日に基づき半月単位で計算している。

※調査の途中で貸与から販売(販売から貸与)へ移行した利用者は対象外としている。

※販売利用した福祉用具は実際の販売価格を適用し、貸与 TAIS コードに紐づく希望小売価格を適用している。

※第 2 回調査(令和 7 年 11 月実施)において貸与回収となった利用者の貸与価格及び販売価格の情報は欠測したため、それ以外の調査における種目別の平均貸与価格及び平均販売価格を適用している。

■図表 3-10～3-15 のうち、「給付費の増減」の注釈

※給付割合は、各利用者における最新の自己負担割合に基づいて設定している。

※貸与金額は、各利用者における貸与開始日及び貸与終了日に基づき半月単位で計算している。

※調査の途中で貸与から販売(販売から貸与)へ移行した利用者は対象外としている。

※販売利用した福祉用具は実際の販売価格を適用し、貸与 TAIS コードに紐づく希望小売価格を適用している。

※第 2 回調査(令和 7 年 11 月実施)において貸与回収となった利用者の貸与価格及び販売価格の情報は欠測したため、それ以外の調査における種目別の平均貸与価格及び平均販売価格を適用している。

## 15. 貸与や販売の選択によって実際に発生した費用(金額)[貸与/販売別]

貸与や販売の選択によって実際に発生した費用は、全体として「利用者負担額」が 639,277 円、「給付額」が 5,044,536 円で合計 5,683,811 円であった。

貸与/販売別でみると、「貸与」は「利用者負担額」が 460,675 円、「給付額」が 3,728,874 円で合計 4,189,548 円、「販売」は「利用者負担額」が 178,601 円、「給付額」が 1,315,662 円で合計 1,494,263 円であった。

図表 3-16

実際に発生した費用

		調査数	利用者負担額	給付額	費 実 用 際 計 に 発 生 し た
全体		418	639,277	5,044,536	5,683,811
貸 与 ・ 販 売	貸与	312	460,675	3,728,874	4,189,548
	販売	106	178,601	1,315,662	1,494,263

## 16. 全て貸与だった場合の費用(金額)[貸与/販売別]

全て貸与だった場合の費用は、「利用者負担額」が 708,991 円、「給付額」が 5,480,784 円で合計 6,189,773 円であった。

図表 3-17

全て貸与だった場合の費用

		調査数	利用者負担額	給付額	場 全 合 て 貸 与 費 用 だ っ た 計 算
全体		418	708,991	5,480,784	6,189,773
貸 与 ・ 販 売	貸与	418	708,991	5,480,784	6,189,773
	販売	-	-	-	-

## 17. 全て販売だった場合の費用(金額)[貸与/販売別]

全て販売だった場合の費用は、「利用者負担額」が 820,854 円、「給付額」が 6,515,886 円で合計 7,336,738 円であった。

図表 3-18

		調査数	利用者負担額	給付額	販売だった場合費用計
全体		418	820,854	6,515,886	7,336,738
貸与・販売	貸与	-	-	-	-
	販売	418	820,854	6,515,886	7,336,738

## 18. 選択制における福祉用具専門相談員の業務に係る費用

令和 7 年度介護事業実態調査(介護事業経営概況調査)によると、福祉用具専門相談員(常勤換算)1 人当たり給与費(賞与込み)は 403,607 円、当協会会員企業におけるヒアリング調査から 1 か月の労働時間を 181.84 時間(所定労働時間 164 時間+平均残業時間 17.84 時間)とし、福祉用具専門相談員の時給を 2,220 円/時間(37 円/分)とした。

選択制では、福祉用具専門相談員が利用者に対して、貸与又は販売(購入)を選択できることについて十分な説明を行い、利用者の自立的な選択に資する必要がある。具体的には、選択候補となる福祉用具について、貸与・販売(購入)の価格、平均貸与年数、修理・故障時の対応、メリット/デメリット等を説明する必要があり、これらに要する時間を 10 分とした。

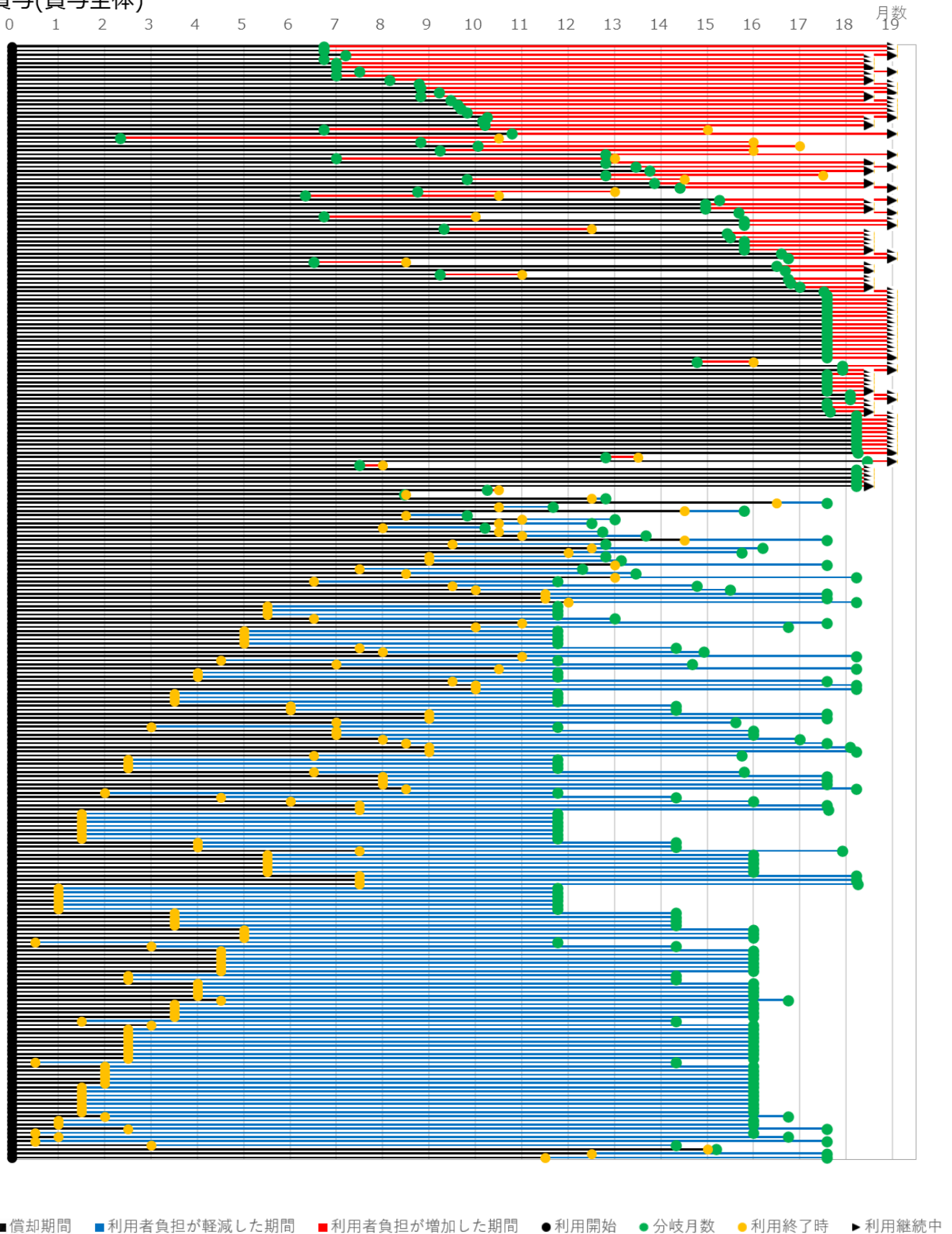
これらを基にした事務負担等のコストとしては、418 名(図表 3-16 の対象者数)×10 分(選択制によって増加する説明等の時間)×37 円(福祉用具専門相談員の時(分)給)=154,660 円となり、これは図表 3-16 の販売(購入)の選択によって発生した費用(1,494,263 円)の約 1 割であった。

## 2.3.2 利用者ごとの「利用者負担額における分岐月数」と「実際の利用期間」の比較

### 1. 貸与全体

図表 3-19

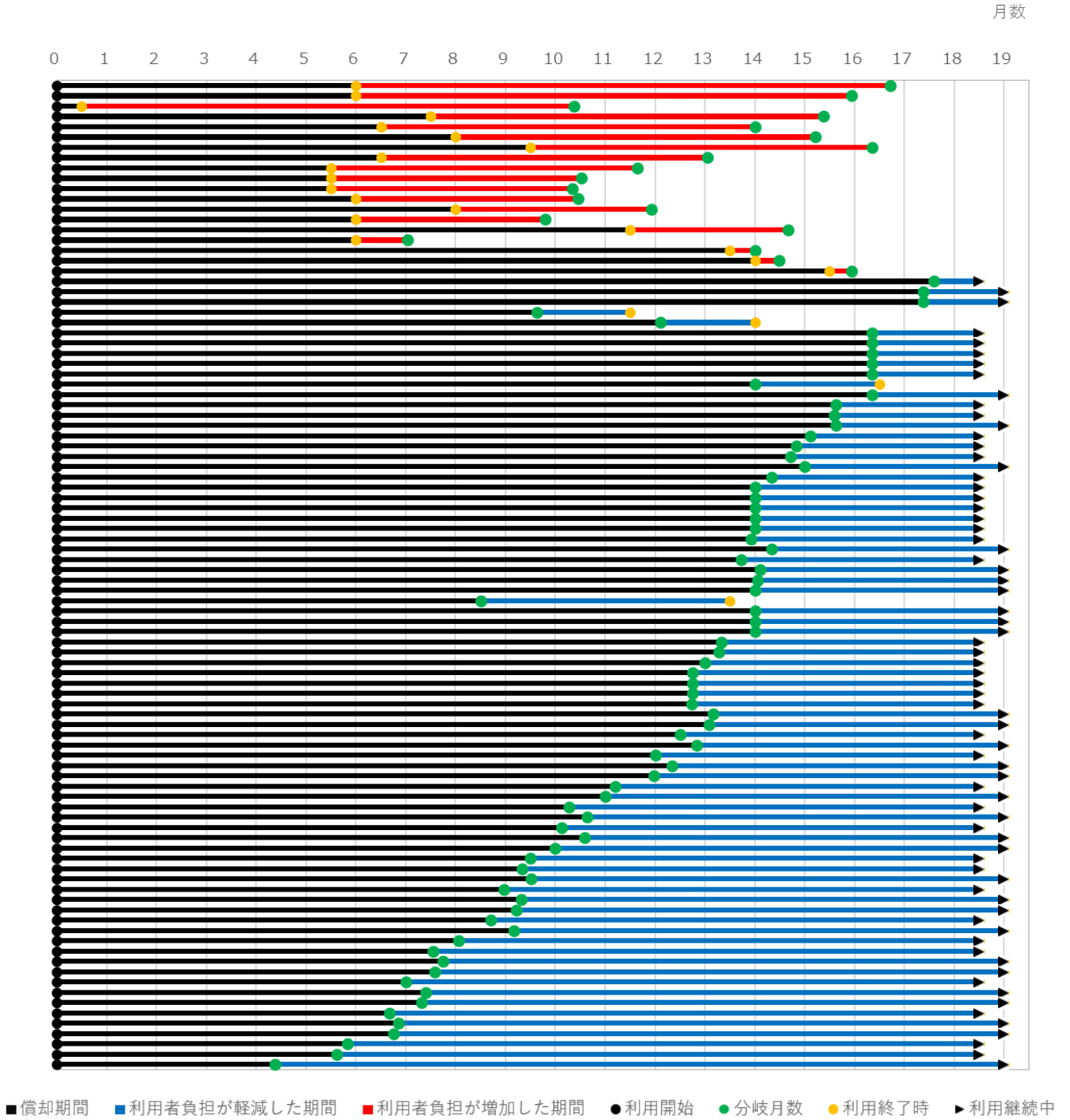
①貸与(貸与全体)



## 2. 販売全体

図表 3-20

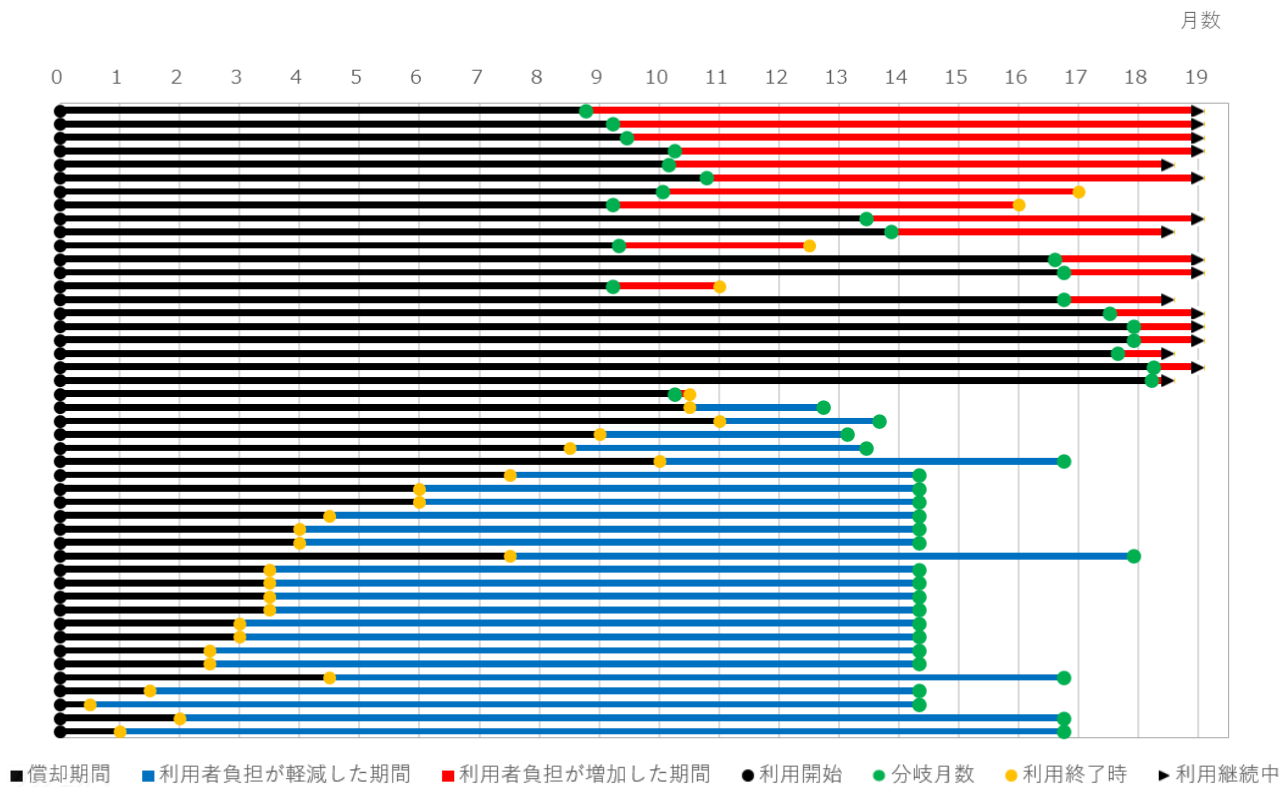
②販売(販売全体)



### 3. 貸与(歩行器)

図表 3-21

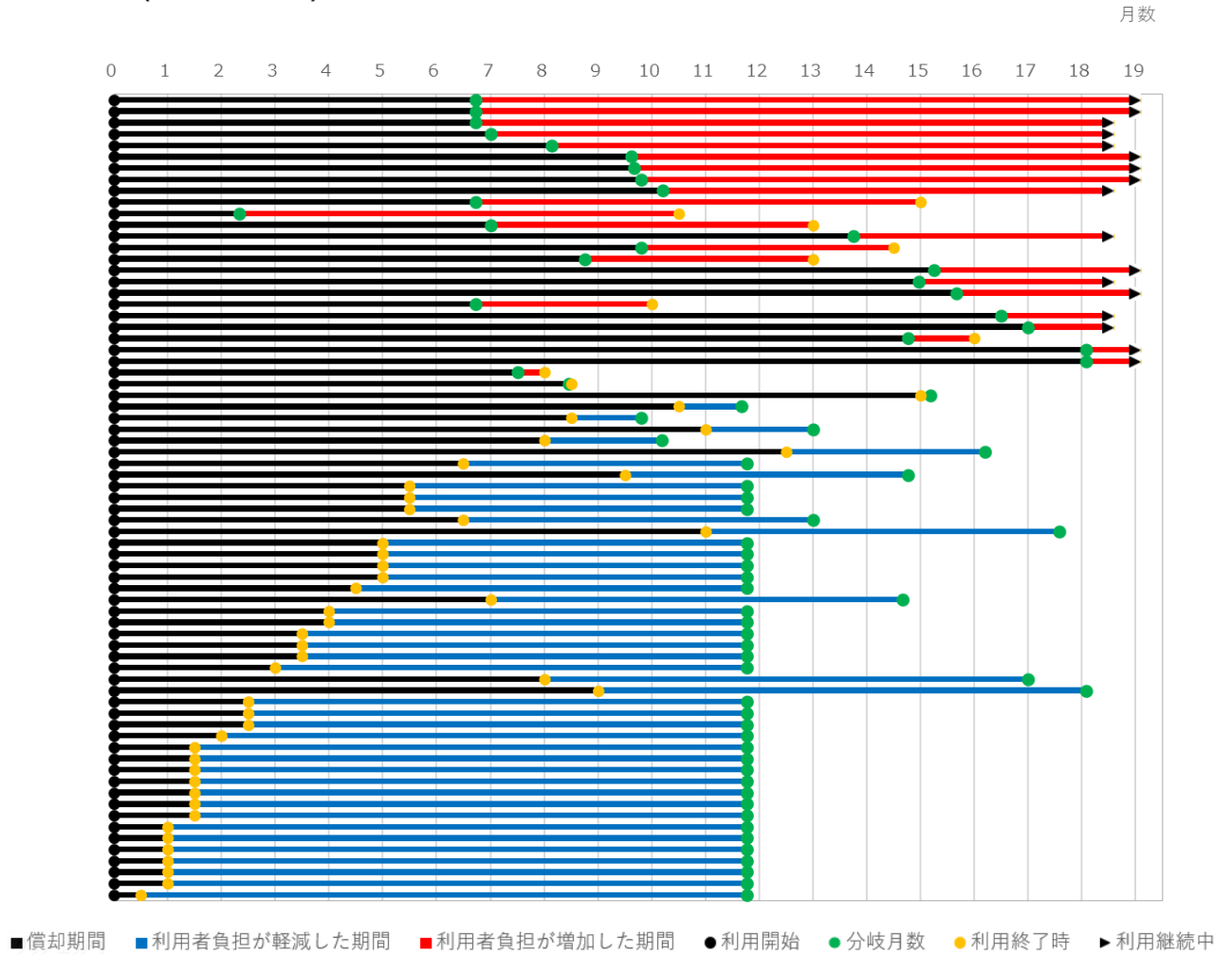
#### ③貸与(歩行器)



## 4. 貸与(固定用スロープ)

図表 3-22

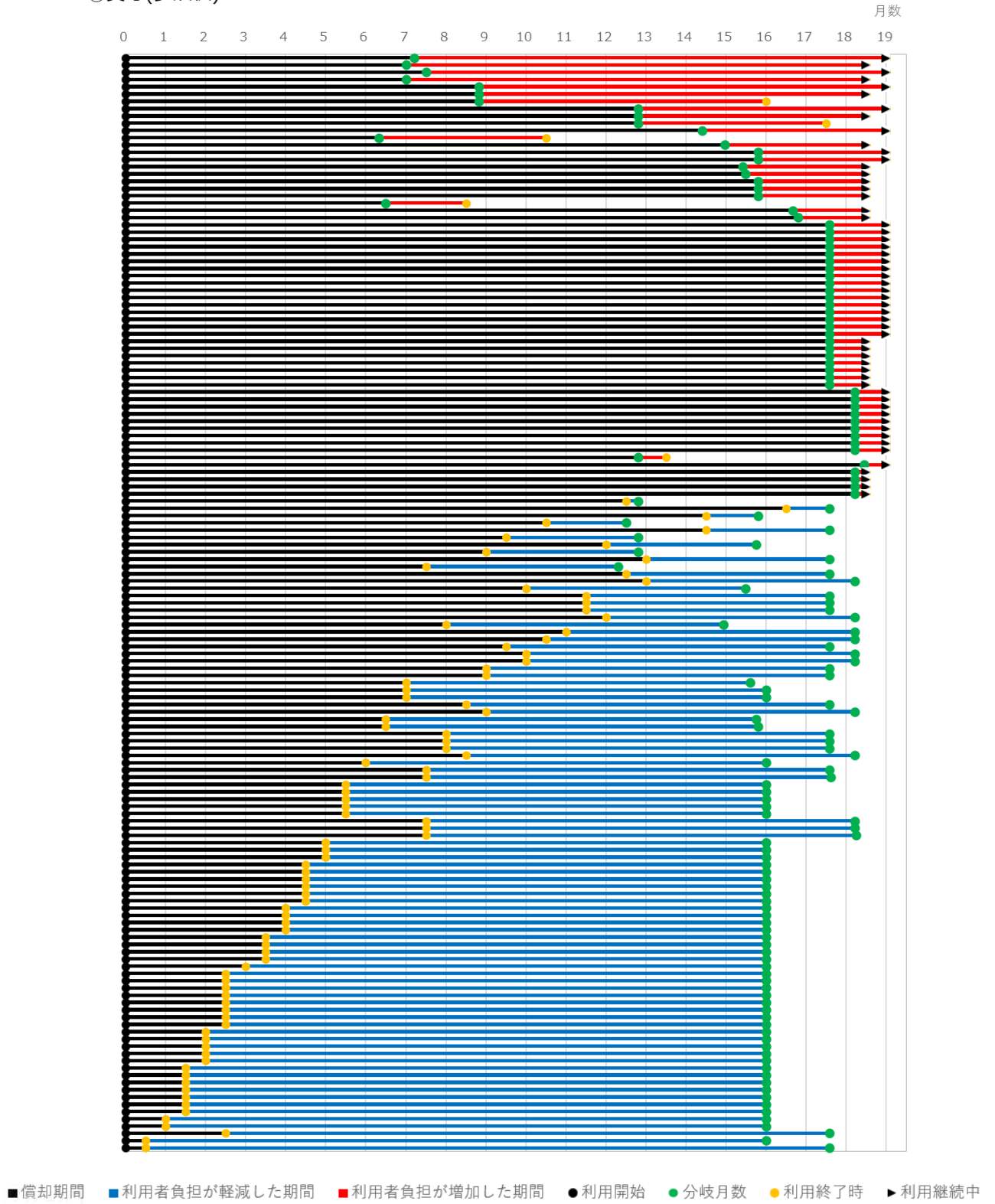
### ④貸与(固定用スロープ)



## 5. 貸与(多点杖)

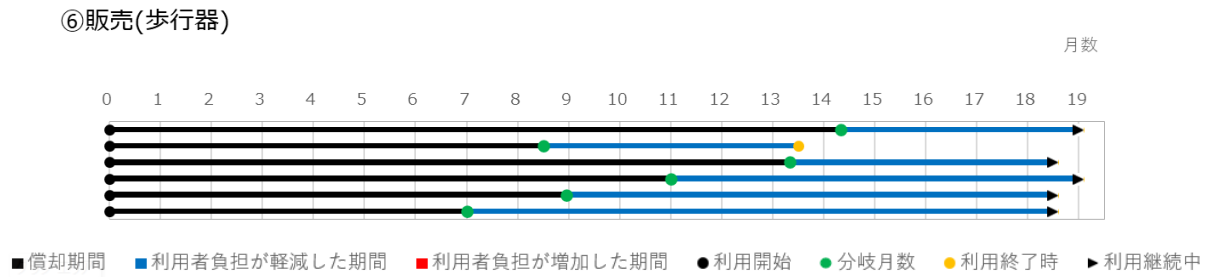
図表 3-23

⑤貸与(多点杖)



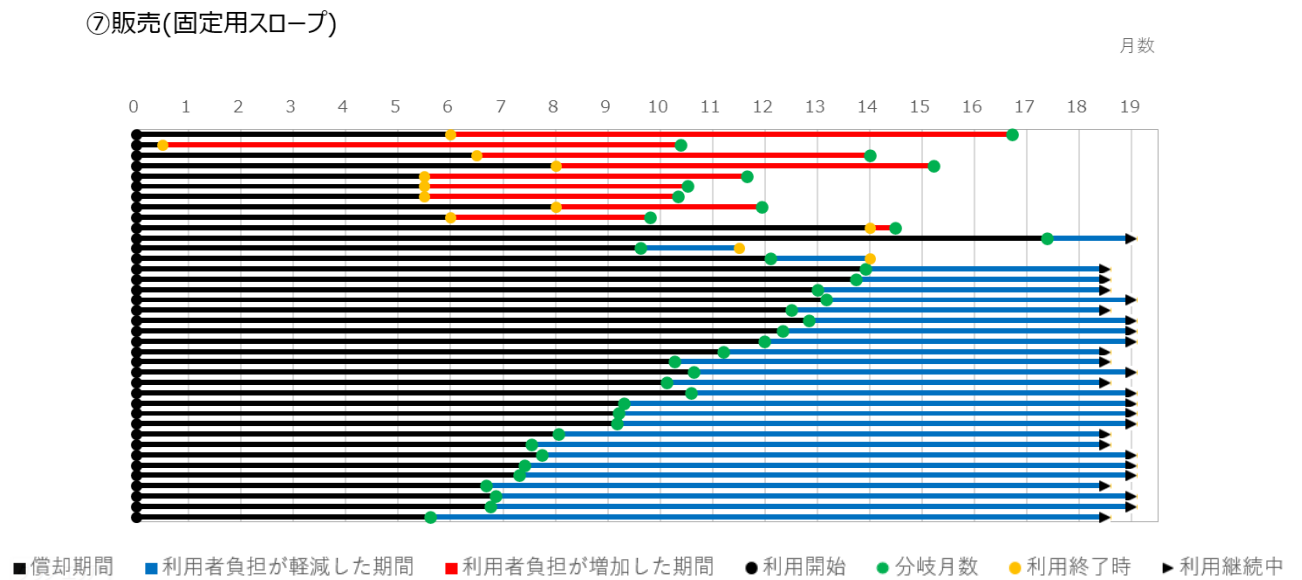
## 6. 販売(歩行器)

図表 3-24



## 7. 販売(固定用スロープ)

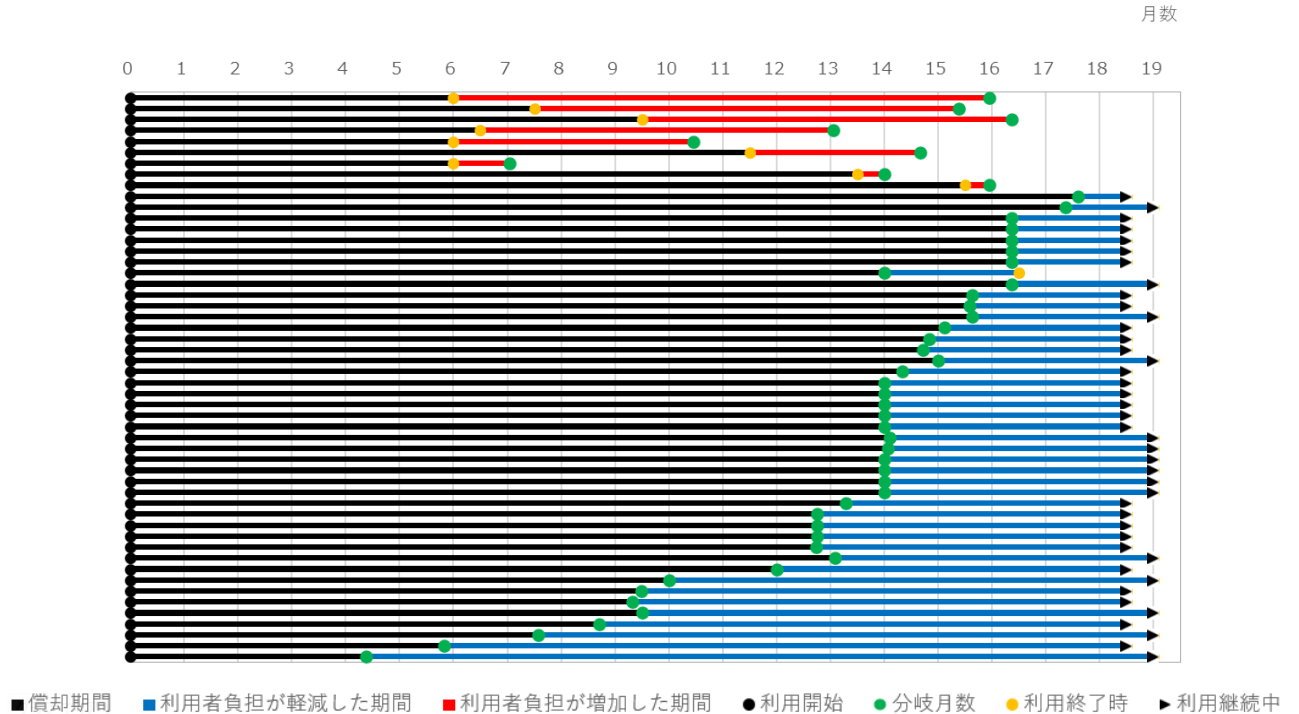
図表 3-25



## 8. 販売(多点杖)

図表 3-26

⑧販売(多点杖)



■利用者ごとの「利用者負担額における分岐月数」と「実際の利用期間」の比較グラフ

(図表 3-19～3-26)の注釈

※自己負担割合は、各利用者における最新の割合を適用している。

※自己負担が発生しない利用者(生活保護等)は、利用者負担額の増減に影響しないことから対象外としている。

※貸与金額は、各利用者における貸与開始日及び貸与終了日に基づき半月単位で計算している。

※調査の途中で貸与から販売(販売から貸与)へ移行した利用者は対象外としている。

※単点杖は件数が少ないため対象外としている。

※損益分岐月数が本調査の全期間を超えている利用者は対象外としている。

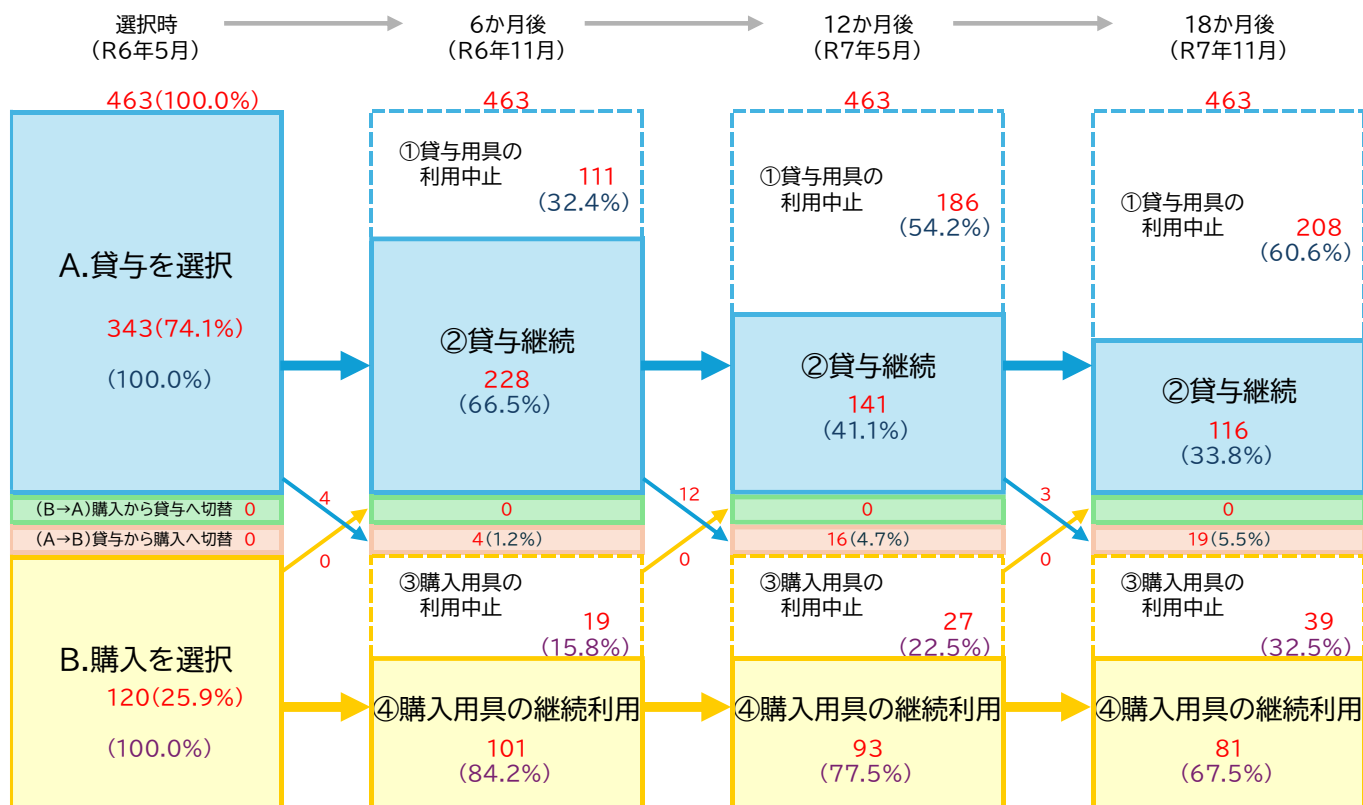
※販売利用者した福祉用具は実際の販売価格を適用し、貸与 TAIS コードに紐づく希望小売価格を適用している。

※第 2 回調査(令和 7 年 11 月実施)において貸与回収となった利用者の貸与価格及び販売価格の情報は欠測したため、それ以外の調査における種目別の平均貸与価格及び平均販売価格を適用している。

### 3. 調査のまとめ

#### 3.1 選択制の実施状況について

##### 第1回～第4回(18か月間)の推移【全体】



#### 3.1.1 貸与・販売(購入)の選択状況

令和6年5月に介護保険の福祉用具サービスとして選択制の対象福祉用具を給付した463名のうち、貸与を選択した者343名(74.1%)、販売(購入)を選択した者120名(25.9%)であった。

#### 3.1.2 貸与された福祉用具の状況

##### (1) 貸与継続利用の状況

- 貸与継続の割合は、6か月後66.5%、12か月後41.1%、18か月後33.8%であった。
- 貸与継続利用されている福祉用具のTAIS希望小売価格の種目別平均価格は、価格の高い順に歩行器、多点杖、固定用スロープ(単点杖はn=4のため参考値)となっており、令和6年度調査において貸与が選択される割合の高い順序と同じであった。(図表1-05、図表2-05)

- ・ 貸与の価格帯では、1,001円～2,000円が最も多く、平均貸与価格は令和7年5月が1,205円、令和7年11月は1,154円であった。(図表1-02、図表1-03、図表2-02、図表2-03)

#### (2) 貸与中止の状況

- ・ 貸与中止となった割合は、6か月後32.4%、12か月後54.2%、18か月後60.6%であった。
- ・ 貸与中止となった理由(複数回答)は、「身体状況の改善」が最も多く、次いで入院・入所など続いた。(図表1-08、図表2-08)
- ・ 18か月を通しての貸与から購入への切り替えは5.5%であった。
- ・ 貸与継続の検討における販売(購入)への切り替えは令和7年5月で2.1%、令和7年11月はゼロであり、貸与継続が選択されているケースが大半であった。(図表1-07、図表2-07)

#### (3) 貸与中止後の状況

- ・ 貸与中止となった利用者の現在の生活状況を見ると、在宅で生活しているが半数以上であった一方、入院、入所、死亡などの理由による中止も確認された。(図表1-10、図表2-10)
- ・ 調査対象福祉用具の貸与中止後の別の福祉用具利用状況を見ると、令和7年5月時点では60.4%、令和7年11月時点では76.8%が別の福祉用具を利用していた。(図表1-11、図表2-11)
- ・ 現在利用している福祉用具としては、貸与手すり、貸与歩行器などが多かった。(図表1-12、図表2-12)

### 3.1.3 販売(購入)された福祉用具の状況

#### (1) 販売(購入)継続利用の状況

- ・ 販売(購入)継続の割合は、6か月後84.2%、12か月後77.5%、18か月後67.5%であった。
- ・ 調査対象福祉用具を販売(購入)してから、20%ほどの方が入院や入所をしていた。(図表1-17、図表2-17)
- ・ 入院や入所をした場合の期間は、令和7年5月調査で1.78か月、11月調査で2.70か月であった。(図表1-19、図表2-19)
- ・ 販売(購入)された福祉用具の使用状況では、「使用できている」割合は令和7年5月時点で92.1%、11月時点で87.1%であった。(図表1-13、図表2-13)
- ・ また、使用しなくなった福祉用具の取り扱いとしては、「そのまま置いてある」が最も多かった。(図表1-16、図表2-16)

#### (2) 販売(購入)後使用中止の状況

- ・ 販売(購入)後に使用中止となった割合は、6か月後15.8%、12か月後22.5%、18か月後32.5%であった。

- ・ 販売(購入)に使用中止となった理由(複数回答)で多かったのは、「身体の状態が良くなったから」、「身体の状態が悪くなったから」、「ご利用者様が入院したから」、「ご利用者様が入所したから」、「ご利用者様が死亡したから」であった。(図表 1-15、図表 2-15)
- ・ 販売(購入)された調査対象福祉用具を使用しなくなった後、在宅で生活されていたのは約半数であった。(図表 1-22、図表 2-22)
- ・ 販売(購入)された調査対象福祉用具を使用しなくなった場合であっても、在宅で生活されている場合においては、他の福祉用具の利用も確認された。(図表 1-23、図表 2-23)

### 3.1.4 利用期間と費用負担の状況

#### (1)貸与月数(平均)と利用者負担額における分岐月数(中央値)

- ・ 本調査における貸与月数(平均)は、単点杖 13.6 か月、歩行器 10.6 か月、固定用スロープ 9.4 か月、多点杖 11.3 か月であった。(図表 3-02)
- ・ 本調査における「利用者負担額における分岐月数(中央値)」は、単点杖 10.9 か月、歩行器 14.3 か月、固定用スロープ 14.1 か月、多点杖 16.0 か月であった。(図表 3-05)

#### (2)利用者負担額・給付額の増減

- ・ 貸与又は販売(購入)を選択した結果、利用者負担額が減少した利用者は全体の 66.0%、増加した利用者は 34.0%であり、給付額の増減割合も同様であった。(図表 3-06、図表 3-08)
- ・ 貸与を選択した利用者について、販売(購入)を選択した場合と比較すると、利用者負担額は 181,579 円減少し、給付額は 1,471,349 円減少した。(図表 3-12)
- ・ 販売(購入)を選択した利用者について、貸与を選択した場合と比較すると、利用者負担額は 69,714 円減少し、給付額は 436,248 円減少した。(図表 3-15)
- ・ 貸与や販売(購入)の選択によって実際に発生した費用額(利用者負担額+給付額)は 5,683,811 円であり、仮に全て貸与だった場合の費用額は 6,189,773 円、仮に全て販売(購入)だった場合の費用額は 7,336,738 円であった。(図表 3-16、図表 3-17、図表 3-18)

### 3.1.5 調査結果のまとめ

- ・ 本調査の結果、選択制対象福祉用具については、制度導入後も貸与を中心とした利用形態が継続していることが確認された。更に、貸与開始から 18 か月を経過した時点では、半数以上の利用者が様々な状況変化を理由として貸与を中止しており、貸与中止後も別の福祉用具を利用しているケースが多く、利用者の身体状況や生活環境の変化に応じて福祉用具の内容が変更されている実態が確認された。
- ・ 販売(購入)された福祉用具については、18 か月後に利用継続している割合は7割にも満たず、利用中止後は自宅に保管されたままとなるケースが多く、不要となった福祉用具の取り扱いに関する課題が示唆された。
- ・ 利用者負担額及び給付額については、全体としては減少する結果となったものの、負担額や給付額が増加したケースも一定程度確認された。

- ・これらの結果から、選択制の判断基準となる福祉用具の使用期間を予測することの困難性が明らかになった。
- ・また、選択制の実施にあたっては、利用者に対する制度説明や貸与・販売の比較情報の提供等が求められており、これに係るコストは、選択制における販売(購入)費用の約1割に相当するものであった。

## 3.2 今後に向けて

- ・利用者負担を軽減し、制度の持続可能性の確保を図るとともに、福祉用具の適時・適切な利用、安全を確保する観点から 2024(令和 6)年 4 月より一部の福祉用具について貸与と販売の選択制が導入された。当協会は貸与と販売の選択制が適切に運用されるには、制度の実施状況を把握し、課題を整理することが必要と考え、選択制により給付された福祉用具の状況を 18 か月にわたり追跡調査した。
- ・「利用者負担の軽減」では、選択する時点つまりは福祉用具の利用開始時点でその後の利用期間や状態変化を正確に見通すことは容易でなく、利用者の費用負担額が減少したケースがある一方で、増加したケースも一定程度あり、貸与又は販売(購入)を選択した結果が利用者負担額の減少に結びつくかどうかは、利用期間・状況によって異なることが確認された。
- ・「制度の持続可能性の確保」のための「給付費の軽減」では、選択制の導入により給付額が一定程度抑制されている結果であったが、福祉用具専門相談員をはじめとするケアチームが、利用者が適切に選択するために必要な情報(選択候補となる福祉用具貸与・販売の価格、平均貸与月数、修理・故障時の対応、メリット/デメリット等)を提供するための経費についても勘案して効果を検討する必要性が明らかになった。
- ・「適時・適切な利用と安全確保」では、貸与においては継続的な福祉用具専門相談員のモニタリングにより、利用者の身体状況や生活環境の変化に応じて見直しが行われていることが確認できた。販売(購入)においても、今回の追跡調査で利用中止する者が一定程度確認されモニタリングの重要性が再認された。
- ・今後は、要介護者・要支援者の自立を図るために福祉用具専門相談員をはじめとしたケアチームの連携の強化とともに、福祉用具専門相談員をはじめとするケアチームの事務負担等に係る費用を踏まえた制度の持続可能性を検討することが必要である。当協会としては、選択制の趣旨を踏まえつつ適切な制度運用が図られるよう引き続き取り組んでいきたい。

以上

## 4. 参考資料

### 4.1 その他集計表

#### 4.1.1 第3回調査:12か月後(令和7年5月実施)

##### 1. 利用者に関する情報・要介護度(貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-25

要介護度

		調査数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請 中
全体		216 100.0	17 7.9	47 21.8	54 25.0	45 20.8	24 11.1	15 6.9	12 5.6	2 0.9
調査 対象 用具	単点杖	4 100.0	-	1 25.0	2 50.0	1 25.0	-	-	-	-
	歩行器	35 100.0	1 2.9	5 14.3	8 22.9	7 20.0	9 25.7	4 11.4	1 2.9	-
	固定用スロープ	45 100.0	3 6.7	6 13.3	6 13.3	15 33.3	7 15.6	2 4.4	4 8.9	2 4.4
	多点杖	132 100.0	13 9.8	35 26.5	38 28.8	22 16.7	8 6.1	9 6.8	7 5.3	-

##### 2. 利用者に関する情報・他サービスの利用状況(貸与・継続)【複数回答(MA)】

図表 1-26

他サービス利用状況

		調査数	訪問 介護	訪問 入浴 介護	訪問 看護	訪問 リハ ビリ	通所 介護	通所 リハ ビリ	護 短 期 入 所 生 活 介 護	な し
全体		216 100.0	48 22.2	6 2.8	38 17.6	28 13.0	92 42.6	41 19.0	14 6.5	40 18.5
調査 対象 用具	単点杖	4 100.0	2 50.0	1 25.0	-	-	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0
	歩行器	35 100.0	10 28.6	1 2.9	7 20.0	7 20.0	17 48.6	8 22.9	4 11.4	5 14.3
	固定用スロープ	45 100.0	8 17.8	3 6.7	11 24.4	6 13.3	19 42.2	9 20.0	5 11.1	7 15.6
	多点杖	132 100.0	28 21.2	1 0.8	20 15.2	15 11.4	55 41.7	23 17.4	5 3.8	27 20.5

3. 相談員による確認事項・モニタリングの実施回数(貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-27

昨年12月以降のモニタリング実施回数

		調査数	0回	1回	2回	3回	4回以上
全体		216 100.0	51 23.6	140 64.8	18 8.3	4 1.9	3 1.4
調査対象用具	単点杖	4 100.0	-	2 50.0	1 25.0	1 25.0	-
	歩行器	35 100.0	9 25.7	22 62.9	4 11.4	-	-
	固定用スロープ	45 100.0	12 26.7	28 62.2	5 11.1	-	-
	多点杖	132 100.0	30 22.7	88 66.7	8 6.1	3 2.3	3 2.3

図表 1-28

昨年12月以降のモニタリング実施回数

		調査数	平均	最大値
全体		216	0.98	12.00
調査対象用具	単点杖	4	1.75	3.00
	歩行器	35	0.86	2.00
	固定用スロープ	45	0.84	2.00
	多点杖	132	1.03	12.00

4. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況1[立ち上がり](貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-29

現在の身体状況1 [立ち上がり]

		調査数	でき つか まら ない で	ば何 でか に つか まれ	一 部 介 助	で き な い
全体		141 100.0	20 14.2	112 79.4	8 5.7	1 0.7
調査 対象 用具	単点杖	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-	-
	歩行器	19 100.0	-	16 84.2	3 15.8	-
	固定用スロープ	28 100.0	5 17.9	20 71.4	2 7.1	1 3.6
	多点杖	91 100.0	14 15.4	74 81.3	3 3.3	-

5. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況2[移乗](貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-30

現在の身体状況2 [移乗]

		調査数	し自 立 ( 介 助 な	見 守 り 等	一 部 介 助	全 介 助
全体		141 100.0	82 58.2	47 33.3	11 7.8	1 0.7
調査 対象 用具	単点杖	3 100.0	3 100.0	-	-	-
	歩行器	19 100.0	6 31.6	9 47.4	4 21.1	-
	固定用スロープ	28 100.0	12 42.9	12 42.9	3 10.7	1 3.6
	多点杖	91 100.0	61 67.0	26 28.6	4 4.4	-

6. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況3[屋内歩行](貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-31

現在の身体状況3 [屋内歩行]

		調査数	でつかまら ないで	ば何かに つかま れ	一部 介助	全 介助
全体		141 100.0	23 16.3	110 78.0	6 4.3	2 1.4
調査 対象 用具	単点杖	3 100.0	- -	3 100.0	- -	- -
	歩行器	19 100.0	- -	17 89.5	2 10.5	- -
	固定用スロープ	28 100.0	4 14.3	20 71.4	3 10.7	1 3.6
	多点杖	91 100.0	19 20.9	70 76.9	1 1.1	1 1.1

7. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況4[屋外歩行](貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-32

現在の身体状況4 [屋外歩行]

		調査数	でつかまら ないで	ば何かに つかま れ	一部 介助	全 介助
全体		141 100.0	9 6.4	110 78.0	16 11.3	6 4.3
調査 対象 用具	単点杖	3 100.0	- -	3 100.0	- -	- -
	歩行器	19 100.0	- -	13 68.4	5 26.3	1 5.3
	固定用スロープ	28 100.0	3 10.7	19 67.9	3 10.7	3 10.7
	多点杖	91 100.0	6 6.6	75 82.4	8 8.8	2 2.2

8. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 5[移動](貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-33

現在の身体状況5 [移動]

		調査数	し自立 (介助な)	見守り等	一部介助	全介助
全体		141 100.0	55 39.0	68 48.2	15 10.6	3 2.1
調査対象用具	単点杖	3 100.0	2 66.7	1 33.3	- -	- -
	歩行器	19 100.0	4 21.1	10 52.6	5 26.3	- -
	固定用スロープ	28 100.0	7 25.0	16 57.1	3 10.7	2 7.1
	多点杖	91 100.0	42 46.2	41 45.1	7 7.7	1 1.1

9. 相談員による利用者への聞き取り事項・要介護度(貸与・中止)【単一回答(SA)】

図表 1-34

要介護度

		調査数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中
全体		48 100.0	4 8.3	8 16.7	16 33.3	14 29.2	3 6.3	- -	2 4.2	1 2.1
で令和 調査利6 対用年 象中1 用止1 具した ま	単点杖	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -
	歩行器	7 100.0	- -	- -	3 42.9	3 42.9	1 14.3	- -	- -	- -
	固定用スロープ	13 100.0	- -	1 7.7	5 38.5	4 30.8	1 7.7	- -	2 15.4	- -
	多点杖	27 100.0	4 14.8	7 25.9	8 29.6	6 22.2	1 3.7	- -	- -	1 3.7

10. 相談員による利用者への聞き取り事項・他サービスの利用状況(貸与・中止)【複数回答(MA)】

図表 1-35

他サービス利用状況

		調査数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	護短期入所生活介護	なし
全体		48 100.0	7 14.6	1 2.1	4 8.3	7 14.6	19 39.6	6 12.5	2 4.2	13 27.1
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 用止1 具し月 たま	単点杖	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-
	歩行器	7 100.0	-	-	-	3 42.9	2 28.6	2 28.6	-	1 14.3
	固定用スロープ	13 100.0	3 23.1	1 7.7	2 15.4	3 23.1	5 38.5	1 7.7	2 15.4	2 15.4
	多点杖	27 100.0	4 14.8	-	2 7.4	1 3.7	11 40.7	3 11.1	-	10 37.0

11. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況1[立ち上がり](貸与・中止)【単一回答(SA)】

図表 1-36

現在の身体状況1 [立ち上がり]

		調査数	できる か ま ら ない で	ば何 か に つ か ま れ	一 部 介 助	で き ない
全体		48 100.0	9 18.8	34 70.8	4 8.3	1 2.1
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 用止1 具し月 たま	単点杖	1 100.0	1 100.0	-	-	-
	歩行器	7 100.0	-	6 85.7	1 14.3	-
	固定用スロープ	13 100.0	2 15.4	9 69.2	1 7.7	1 7.7
	多点杖	27 100.0	6 22.2	19 70.4	2 7.4	-

12. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 2[移乗](貸与・中止)  
【単一回答(SA)】

図表 1-37

現在の身体状況2 [移乗]

		調査数	し自立 (介助な)	見守り等	一部介助	全介助
全体		48 100.0	33 68.8	10 20.8	4 8.3	1 2.1
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 用止1 具し月 たま	単点杖	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -
	歩行器	7 100.0	4 57.1	2 28.6	1 14.3	- -
	固定用スロープ	13 100.0	9 69.2	2 15.4	1 7.7	1 7.7
	多点杖	27 100.0	19 70.4	6 22.2	2 7.4	- -

13. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 3[屋内歩行](貸与・中止)  
【単一回答(SA)】

図表 1-38

現在の身体状況3 [屋内歩行]

		調査数	でつか まら ない で	ば何 でか につ かま れ	一部介助	全介助
全体		48 100.0	14 29.2	30 62.5	2 4.2	2 4.2
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 用止1 具し月 たま	単点杖	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -
	歩行器	7 100.0	- -	6 85.7	1 14.3	- -
	固定用スロープ	13 100.0	1 7.7	10 76.9	- -	2 15.4
	多点杖	27 100.0	12 44.4	14 51.9	1 3.7	- -

14. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 4[屋外歩行](貸与・中止)【単一回答(SA)】

図表 1-39

現在の身体状況4 [屋外歩行]

		調査数	つかまら ないで できる	ば何 かにつ かま れ る で きる	一部 介 助	全 介 助
全体		48 100.0	10 20.8	30 62.5	6 12.5	2 4.2
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 用止1 具し月 たま	単点杖	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -
	歩行器	7 100.0	- -	5 71.4	2 28.6	- -
	固定用スロープ	13 100.0	- -	10 76.9	1 7.7	2 15.4
	多点杖	27 100.0	9 33.3	15 55.6	3 11.1	- -

15. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 5[移動](貸与・中止)【単一回答(SA)】

図表 1-40

現在の身体状況5 [移動]

		調査数	し自 立 ( 介 助 な )	見 守 り 等	一部 介 助	全 介 助
全体		48 100.0	23 47.9	18 37.5	6 12.5	1 2.1
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 用止1 具し月 たま	単点杖	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -
	歩行器	7 100.0	2 28.6	3 42.9	2 28.6	- -
	固定用スロープ	13 100.0	6 46.2	5 38.5	1 7.7	1 7.7
	多点杖	27 100.0	14 51.9	10 37.0	3 11.1	- -

## 16. 利用者に関する情報・要介護度(販売・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-41

要介護度		調査数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中
全体		101 100.0	15 14.9	30 29.7	17 16.8	15 14.9	13 12.9	7 6.9	4 4.0	-
調査対象用具	単点杖	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-
	歩行器	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	2 33.3	-	-
	固定用スロープ	37 100.0	4 10.8	8 21.6	6 16.2	3 8.1	11 29.7	2 5.4	3 8.1	-
	多点杖	57 100.0	10 17.5	21 36.8	10 17.5	11 19.3	1 1.8	3 5.3	1 1.8	-

## 17. 利用者に関する情報・他サービスの利用状況(販売・継続)【複数回答(MA)】

図表 1-42

他サービス利用状況		調査数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護、療養介護	なし
全体		101 100.0	18 17.8	2 2.0	14 13.9	8 7.9	40 39.6	17 16.8	9 8.9	31 30.7
調査対象用具	単点杖	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-
	歩行器	6 100.0	-	-	3 50.0	1 16.7	-	3 50.0	1 16.7	2 33.3
	固定用スロープ	37 100.0	9 24.3	1 2.7	7 18.9	6 16.2	20 54.1	3 8.1	6 16.2	7 18.9
	多点杖	57 100.0	9 15.8	1 1.8	4 7.0	1 1.8	19 33.3	11 19.3	2 3.5	22 38.6

18. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 1[立ち上がり](販売・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-43

現在の身体状況1 [立ち上がり]

		調査数	つかまら ないで できる	ば何 かにつ かま れ	一 部 介 助	で き な い
全体		101 100.0	16 15.8	69 68.3	12 11.9	4 4.0
調査 対象 用具	単点杖	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	歩行器	6 100.0	-	4 66.7	2 33.3	-
	固定用スロープ	37 100.0	3 8.1	25 67.6	7 18.9	2 5.4
	多点杖	57 100.0	13 22.8	39 68.4	3 5.3	2 3.5

19. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 2[移乗](販売・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-44

現在の身体状況2 [移乗]

		調査数	し自 立 ( 介 助 な )	見 守 り 等	一 部 介 助	全 介 助
全体		101 100.0	49 48.5	36 35.6	12 11.9	4 4.0
調査 対象 用具	単点杖	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	歩行器	6 100.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	-
	固定用スロープ	37 100.0	14 37.8	15 40.5	5 13.5	3 8.1
	多点杖	57 100.0	33 57.9	17 29.8	6 10.5	1 1.8

20. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 3[屋内歩行](販売・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-45

現在の身体状況3 [屋内歩行]

		調査数	でつかまら ないで	ば何かに つかまれ	一部介 助	全介 助
全体		101 100.0	11 10.9	72 71.3	10 9.9	8 7.9
調査 対象 用具	単点杖	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	歩行器	6 100.0	-	5 83.3	1 16.7	-
	固定用スロープ	37 100.0	1 2.7	27 73.0	3 8.1	6 16.2
	多点杖	57 100.0	10 17.5	39 68.4	6 10.5	2 3.5

21. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 4[屋外歩行](販売・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-46

現在の身体状況4 [屋外歩行]

		調査数	でつかまら ないで	ば何かに つかまれ	一部介 助	全介 助
全体		101 100.0	6 5.9	67 66.3	20 19.8	8 7.9
調査 対象 用具	単点杖	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	歩行器	6 100.0	-	4 66.7	1 16.7	1 16.7
	固定用スロープ	37 100.0	2 5.4	20 54.1	10 27.0	5 13.5
	多点杖	57 100.0	4 7.0	42 73.7	9 15.8	2 3.5

22. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 5[移動](販売・継続)【単一回答(SA)】

図表 1-47

現在の身体状況5 [移動]

		調査数	し自立 (介助な)	見守り等	一部介助	全介助
全体		101 100.0	34 33.7	42 41.6	21 20.8	4 4.0
調査対象用具	単点杖	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -
	歩行器	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	- -
	固定用スロープ	37 100.0	11 29.7	14 37.8	9 24.3	3 8.1
	多点杖	57 100.0	21 36.8	25 43.9	10 17.5	1 1.8

23. 相談員による利用者への聞き取り事項・要介護度(販売・中止)【単一回答(SA)】

図表 1-48

要介護度

		調査数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	申請中
全体		6 100.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	-	-	-
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 止1月 用具たま	単点杖	1 100.0	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-
	歩行器	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	-	-	-
	多点杖	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-

24. 相談員による利用者への聞き取り事項・他サービス利用状況(販売・中止)  
【複数回答(MA)】

図表 1-49

他サービス利用状況

		調査数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護、療養介護	なし
全体		6 100.0	2 33.3	-	1 16.7	-	3 50.0	-	1 16.7	2 33.3
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 用止1 具し月 たま	単点杖	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-
	歩行器	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	3 100.0	1 33.3	-	-	-	2 66.7	-	1 33.3	1 33.3
	多点杖	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-	1 50.0

25. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 1[立ち上がり](販売・中止)【単一回答(SA)】

図表 1-50

現在の身体状況 1 [立ち上がり]

		調査数	でき つか まら ない で	ば何 でか でき につ かま れ	一 部 介 助	で き な い
全体		6 100.0	-	5 83.3	1 16.7	-
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 用止1 具し月 たま	単点杖	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	歩行器	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	3 100.0	-	2 66.7	1 33.3	-
	多点杖	2 100.0	-	2 100.0	-	-

26. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 2[移乗](販売・中止)【単一回答(SA)】

図表 1-51

現在の身体状況2 [移乗]

		調査数	し自立 (介助な)	見守り等	一部介助	全介助
全体		6 100.0	2 33.3	3 50.0	1 16.7	-
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 用止1 具し月 たま	単点杖	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	歩行器	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-
	多点杖	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-

27. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 3[屋内歩行](販売・中止)【単一回答(SA)】

図表 1-52

現在の身体状況3 [屋内歩行]

		調査数	でつか まら ない で	ば何 でか に つか まれ	一部介助	全介助
全体		6 100.0	1 16.7	4 66.7	-	1 16.7
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 用止1 具し月 たま	単点杖	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	歩行器	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	3 100.0	-	2 66.7	-	1 33.3
	多点杖	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-

28. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 4[屋外歩行](販売・中止)【単一回答(SA)】

図表 1-53

現在の身体状況4 [屋外歩行]

		調査数	つかまら ないで できる	ば何 でか につ かま れ	一 部 介 助	全 介 助
全体		6 100.0	- -	2 33.3	3 50.0	1 16.7
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 用止1 具し月 たま	単点杖	1 100.0	- -	- -	1 100.0	- -
	歩行器	- -	- -	- -	- -	- -
	固定用スロープ	3 100.0	- -	1 33.3	1 33.3	1 33.3
	多点杖	2 100.0	- -	1 50.0	1 50.0	- -

29. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 5[移動](販売・中止)【単一回答(SA)】

図表 1-54

現在の身体状況5 [移動]

		調査数	し自 立 ( 介 助 な )	見 守 り 等	一 部 介 助	全 介 助
全体		6 100.0	1 16.7	3 50.0	2 33.3	- -
で令 調に和 査利6 対用年 象中1 用止1 具し月 たま	単点杖	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -
	歩行器	- -	- -	- -	- -	- -
	固定用スロープ	3 100.0	- -	2 66.7	1 33.3	- -
	多点杖	2 100.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -

#### 4.1.2 第4回調査:18か月後(令和7年11月実施)

##### 1. 利用者に関する情報・要介護度(貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-25

要介護度

		調査数	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	申請中
全体		138 100.0	11 8.0	35 25.4	40 29.0	25 18.1	15 10.9	4 2.9	5 3.6	3 2.2
調査対象用具	単点杖	3 100.0	- -	1 33.3	1 33.3	1 33.3	- -	- -	- -	- -
	歩行器	19 100.0	1 5.3	2 10.5	6 31.6	4 21.1	3 15.8	1 5.3	1 5.3	1 5.3
	固定用スロープ	27 100.0	2 7.4	3 11.1	5 18.5	10 37.0	3 11.1	1 3.7	2 7.4	1 3.7
	多点杖	89 100.0	8 9.0	29 32.6	28 31.5	10 11.2	9 10.1	2 2.2	2 2.2	1 1.1

##### 2. 利用者に関する情報・他サービスの利用状況(貸与・継続)【複数回答(MA)】

図表 2-26

他サービス利用状況

		調査数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護、療養介護	なし
全体		138 100.0	33 23.9	1 0.7	20 14.5	15 10.9	60 43.5	24 17.4	12 8.7	31 22.5
調査対象用具	単点杖	3 100.0	1 33.3	- -	1 33.3	- -	2 66.7	- -	- -	- -
	歩行器	19 100.0	5 26.3	- -	2 10.5	1 5.3	8 42.1	5 26.3	- -	4 21.1
	固定用スロープ	27 100.0	4 14.8	1 3.7	4 14.8	1 3.7	8 29.6	7 25.9	6 22.2	9 33.3
	多点杖	89 100.0	23 25.8	- -	13 14.6	13 14.6	42 47.2	12 13.5	6 6.7	18 20.2

3. 相談員による確認事項・モニタリングの実施回数(貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-27

本年6月以降のモニタリング実施回数

		調査数	0回	1回	2回	3回	4回以上
全体		138 100.0	29 21.0	97 70.3	8 5.8	2 1.4	2 1.4
調査対象用具	単点杖	3 100.0	- -	2 66.7	- -	1 33.3	- -
	歩行器	19 100.0	4 21.1	13 68.4	1 5.3	- -	1 5.3
	固定用スロープ	27 100.0	8 29.6	16 59.3	3 11.1	- -	- -
	多点杖	89 100.0	17 19.1	66 74.2	4 4.5	1 1.1	1 1.1

図表 2-28

本年6月以降のモニタリング実施回数

		調査数	平均	最大値
全体		138	0.93	5.00
調査対象用具	単点杖	3	1.67	3.00
	歩行器	19	1.05	5.00
	固定用スロープ	27	0.81	2.00
	多点杖	89	0.92	5.00

4. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況1[立ち上がり](貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-29

現在の身体状況1 [立ち上がり]

		調査数	できか まら ない で	ば何 でか につ かま れ	一 部 介 助	で き な い
全体		116 100.0	19 16.4	90 77.6	5 4.3	2 1.7
調査 対象 用具	単点杖	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -
	歩行器	17 100.0	- -	14 82.4	2 11.8	1 5.9
	固定用スロープ	19 100.0	3 15.8	14 73.7	1 5.3	1 5.3
	多点杖	78 100.0	16 20.5	60 76.9	2 2.6	- -

5. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況2[移乗](貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-30

現在の身体状況2 [移乗]

		調査数	し自 立 ( 介 助 な	見 守 り 等	一 部 介 助	全 介 助
全体		116 100.0	65 56.0	39 33.6	11 9.5	1 0.9
調査 対象 用具	単点杖	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -
	歩行器	17 100.0	7 41.2	7 41.2	3 17.6	- -
	固定用スロープ	19 100.0	8 42.1	7 36.8	3 15.8	1 5.3
	多点杖	78 100.0	49 62.8	24 30.8	5 6.4	- -

6. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況3[屋内歩行](貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-31

現在の身体状況3 [屋内歩行]

		調査数	でき かま らない で	ば何 でき かに つか まれ	一 部 介 助	全 介 助
全体		116 100.0	17 14.7	89 76.7	7 6.0	3 2.6
調査 対象 用具	単点杖	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -
	歩行器	17 100.0	- -	13 76.5	4 23.5	- -
	固定用スロープ	19 100.0	2 10.5	13 68.4	2 10.5	2 10.5
	多点杖	78 100.0	15 19.2	61 78.2	1 1.3	1 1.3

7. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況4[屋外歩行](貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-32

現在の身体状況4 [屋外歩行]

		調査数	でき かま らない で	ば何 でき かに つか まれ	一 部 介 助	全 介 助
全体		116 100.0	10 8.6	81 69.8	21 18.1	4 3.4
調査 対象 用具	単点杖	2 100.0	- -	2 100.0	- -	- -
	歩行器	17 100.0	- -	9 52.9	7 41.2	1 5.9
	固定用スロープ	19 100.0	2 10.5	11 57.9	4 21.1	2 10.5
	多点杖	78 100.0	8 10.3	59 75.6	10 12.8	1 1.3

8. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 5[移動](貸与・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-33

現在の身体状況5 [移動]

		調査数	し自立 (介助な)	見守り等	一部介助	全介助
全体		116 100.0	51 44.0	46 39.7	15 12.9	4 3.4
調査対象用具	単点杖	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -
	歩行器	17 100.0	3 17.6	8 47.1	5 29.4	1 5.9
	固定用スロープ	19 100.0	6 31.6	8 42.1	3 15.8	2 10.5
	多点杖	78 100.0	41 52.6	29 37.2	7 9.0	1 1.3

9. 相談員による利用者への聞き取り事項・要介護度(貸与・中止)【単一回答(SA)】

図表 2-34

要介護度

		調査数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	自立	申請中
全体		69 100.0	5 7.2	15 21.7	15 21.7	20 29.0	6 8.7	4 5.8	3 4.3	1 1.4	-
令和7年5月までに利用中止した調査対象用具	単点杖	2 100.0	-	-	1 50.0	1 50.0	-	-	-	-	-
	歩行器	13 100.0	-	1 7.7	2 15.4	4 30.8	5 38.5	1 7.7	-	-	-
	固定用スロープ	13 100.0	-	1 7.7	4 30.8	6 46.2	-	-	2 15.4	-	-
	多点杖	41 100.0	5 12.2	13 31.7	8 19.5	9 22.0	1 2.4	3 7.3	1 2.4	1 2.4	-

### 10. 相談員による利用者への聞き取り事項・他サービスの利用状況(貸与・中止)【複数回答(MA)】

図表 2-35

他サービス利用状況

		調査数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護、療養介護	なし
全体		69 100.0	12 17.4	2 2.9	11 15.9	12 17.4	22 31.9	15 21.7	1 1.4	19 27.5
令和7年5月までに利用中止した調査対象用具	単点杖	2 100.0	- -	- -	- -	- -	1 50.0	- -	- -	1 50.0
	歩行器	13 100.0	3 23.1	- -	2 15.4	6 46.2	5 38.5	5 38.5	1 7.7	1 7.7
	固定用スロープ	13 100.0	4 30.8	1 7.7	4 30.8	2 15.4	4 30.8	3 23.1	- -	2 15.4
	多点杖	41 100.0	5 12.2	1 2.4	5 12.2	4 9.8	12 29.3	7 17.1	- -	15 36.6

### 11. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況1[立ち上がり](貸与・中止)【単一回答(SA)】

図表 2-36

現在の身体状況1 [立ち上がり]

		調査数	つかまらな い で	ば何かに つかま れ	一部介 助	でき ない
全体		69 100.0	12 17.4	49 71.0	6 8.7	2 2.9
令和7年5月までに利用中止した調査対象用具	単点杖	2 100.0	1 50.0	1 50.0	- -	- -
	歩行器	13 100.0	1 7.7	10 76.9	2 15.4	- -
	固定用スロープ	13 100.0	- -	10 76.9	1 7.7	2 15.4
	多点杖	41 100.0	10 24.4	28 68.3	3 7.3	- -

12.相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 2[移乗](貸与・中止)  
【単一回答(SA)】

図表 2-37

現在の身体状況2 [移乗]

		調査数	し自立 (介助な)	見守り等	一部介助	全介助
全体		69 100.0	44 63.8	15 21.7	8 11.6	2 2.9
に令和7 年5月 まで 調査 対象 用具	単点杖	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-
	歩行器	13 100.0	7 53.8	1 7.7	5 38.5	-
	固定用スロープ	13 100.0	6 46.2	5 38.5	-	2 15.4
	多点杖	41 100.0	30 73.2	8 19.5	3 7.3	-

13.相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 3[屋内歩行](貸与・中止)  
【単一回答(SA)】

図表 2-38

現在の身体状況3 [屋内歩行]

		調査数	でつか まら ない で	ば何 か に つか まれ	一部介助	全介助
全体		69 100.0	20 29.0	40 58.0	5 7.2	4 5.8
に令和7 年5月 まで 調査 対象 用具	単点杖	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-
	歩行器	13 100.0	2 15.4	7 53.8	3 23.1	1 7.7
	固定用スロープ	13 100.0	1 7.7	10 76.9	-	2 15.4
	多点杖	41 100.0	16 39.0	22 53.7	2 4.9	1 2.4

14.相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 4[屋外歩行](貸与・中止)【単一回答(SA)】

図表 2-39

現在の身体状況4 [屋外歩行]		調査数	できかまらないで	ば何かにつかまれ	一部介助	全介助
全体		69 100.0	14 20.3	43 62.3	6 8.7	6 8.7
に令和7年5月まで調査対象とした調査対象用具	単点杖	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-
	歩行器	13 100.0	1 7.7	7 53.8	4 30.8	1 7.7
	固定用スロープ	13 100.0	-	11 84.6	-	2 15.4
	多点杖	41 100.0	12 29.3	24 58.5	2 4.9	3 7.3

15.相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 5[移動](貸与・中止)【単一回答(SA)】

図表 2-40

現在の身体状況5 [移動]		調査数	し自立(介助なし)	見守り等	一部介助	全介助
全体		69 100.0	32 46.4	27 39.1	8 11.6	2 2.9
に令和7年5月まで調査対象とした調査対象用具	単点杖	2 100.0	1 50.0	1 50.0	-	-
	歩行器	13 100.0	2 15.4	7 53.8	4 30.8	-
	固定用スロープ	13 100.0	4 30.8	7 53.8	-	2 15.4
	多点杖	41 100.0	25 61.0	12 29.3	4 9.8	-

## 16.利用者に関する情報・要介護度(販売・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-41

要介護度

		調査数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	自立	申請中
全体		93 100.0	15 16.1	27 29.0	10 10.8	14 15.1	13 14.0	8 8.6	3 3.2	2 2.2	1 1.1
調査対象用具	単点杖	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
	歩行器	6 100.0	1 16.7	1 16.7	-	1 16.7	1 16.7	2 33.3	-	-	-
	固定用スロープ	35 100.0	5 14.3	7 20.0	3 8.6	1 2.9	10 28.6	5 14.3	3 8.6	1 2.9	-
	多点杖	51 100.0	9 17.6	19 37.3	6 11.8	12 23.5	2 3.9	1 2.0	-	1 2.0	1 2.0

## 17.利用者に関する情報・他サービスの利用状況(販売・継続)【複数回答(MA)】

図表 2-42

他サービス利用状況

		調査数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護、療養介護	なし
全体		93 100.0	27 29.0	-	13 14.0	10 10.8	36 38.7	13 14.0	6 6.5	29 31.2
調査対象用具	単点杖	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-
	歩行器	6 100.0	3 50.0	-	2 33.3	2 33.3	4 66.7	2 33.3	2 33.3	1 16.7
	固定用スロープ	35 100.0	10 28.6	-	6 17.1	6 17.1	17 48.6	4 11.4	4 11.4	7 20.0
	多点杖	51 100.0	14 27.5	-	5 9.8	2 3.9	14 27.5	7 13.7	-	21 41.2

18.相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 1[立ち上がり](販売・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-43

現在の身体状況1 [立ち上がり]

		調査数	つかまら ないで できる	ば何 かにつ かま れ で か ん る	一 部 介 助	で き な い
全体		93 100.0	13 14.0	63 67.7	11 11.8	6 6.5
調査 対象 用具	単点杖	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	歩行器	6 100.0	-	4 66.7	2 33.3	-
	固定用スロープ	35 100.0	4 11.4	21 60.0	6 17.1	4 11.4
	多点杖	51 100.0	9 17.6	37 72.5	3 5.9	2 3.9

19.相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 2[移乗](販売・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-44

現在の身体状況2 [移乗]

		調査数	自 立 し な い 介 助 な	見 守 り 等	一 部 介 助	全 介 助
全体		93 100.0	44 47.3	29 31.2	13 14.0	7 7.5
調査 対象 用具	単点杖	1 100.0	1 100.0	-	-	-
	歩行器	6 100.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7
	固定用スロープ	35 100.0	11 31.4	12 34.3	8 22.9	4 11.4
	多点杖	51 100.0	30 58.8	16 31.4	3 5.9	2 3.9

20. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 3[屋内歩行](販売・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-45

現在の身体状況3 [屋内歩行]

		調査数	できるか まらな いで	ば何 かにつ かま れ	一部 介助	全 介助
全体		93 100.0	16 17.2	57 61.3	11 11.8	9 9.7
調査 対象 用具	単点杖	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	歩行器	6 100.0	-	3 50.0	2 33.3	1 16.7
	固定用スロープ	35 100.0	3 8.6	20 57.1	6 17.1	6 17.1
	多点杖	51 100.0	13 25.5	33 64.7	3 5.9	2 3.9

21.相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 4[屋外歩行](販売・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-46

現在の身体状況4 [屋外歩行]

		調査数	できるか まらな いで	ば何 かにつ かま れ	一部 介助	全 介助
全体		93 100.0	9 9.7	54 58.1	15 16.1	15 16.1
調査 対象 用具	単点杖	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	歩行器	6 100.0	-	3 50.0	-	3 50.0
	固定用スロープ	35 100.0	2 5.7	17 48.6	7 20.0	9 25.7
	多点杖	51 100.0	7 13.7	33 64.7	8 15.7	3 5.9

22. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 5[移動](販売・継続)【単一回答(SA)】

図表 2-47

現在の身体状況5 [移動]

		調査数	し自立 (介助な)	見守り等	一部介助	全介助
全体		93 100.0	39 41.9	30 32.3	16 17.2	8 8.6
調査対象用具	単点杖	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -
	歩行器	6 100.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7
	固定用スロープ	35 100.0	9 25.7	12 34.3	9 25.7	5 14.3
	多点杖	51 100.0	27 52.9	17 33.3	5 9.8	2 3.9

23. 相談員による利用者への聞き取り事項・要介護度(販売・中止)【単一回答(SA)】

図表 2-48

要介護度

		調査数	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	自立	申請中
全体		7 100.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	2 28.6	- -	- -	1 14.3	- -	- -
令和7年5月までに 利用中止した 調査対象用具	単点杖	1 100.0	- -	- -	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
	歩行器	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	固定用スロープ	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	多点杖	5 100.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	- -	- -	1 20.0	- -	- -

24. 相談員による利用者への聞き取り事項・他サービス利用状況(販売・中止)  
【複数回答(MA)】

図表 2-49

他サービス利用状況

		調査数	訪問介護	訪問入浴介護	訪問看護	訪問リハビリ	通所介護	通所リハビリ	短期入所生活介護、療養介護	なし
全体		7 100.0	2 28.6	-	2 28.6	1 14.3	2 28.6	1 14.3	-	3 42.9
令和7年5月までに利用中止した調査対象用具	単点杖	1 100.0	-	-	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
	歩行器	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
	多点杖	5 100.0	2 40.0	-	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	-	2 40.0

25. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 1[立ち上がり](販売・中止)【単一回答(SA)】

図表 2-50

現在の身体状況 1 [立ち上がり]

		調査数	できる	つかまらな いで	ば何かに つかま れ	一部介 助	でき ない
全体		7 100.0	1 14.3	4 57.1	2 28.6	-	-
令和7年5月までに利用中止した調査対象用具	単点杖	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-
	歩行器	-	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-
	多点杖	5 100.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	-	-

26. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 2[移乗](販売・中止)【単一回答(SA)】

図表 2-51

現在の身体状況2 [移乗]

		調査数	し自立(介助なし)	見守り等	一部介助	全介助
全体		7 100.0	4 57.1	1 14.3	2 28.6	- -
令和7年5月までに利用中止した調査対象用具	単点杖	1 100.0	-	-	1 100.0	-
	歩行器	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	1 100.0	1 100.0	-	-	-
	多点杖	5 100.0	3 60.0	1 20.0	1 20.0	-

27. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 3[屋内歩行](販売・中止)【単一回答(SA)】

図表 2-52

現在の身体状況3 [屋内歩行]

		調査数	つかまらないうで	ば何かにつかまれば	一部介助	全介助
全体		7 100.0	3 42.9	2 28.6	1 14.3	1 14.3
令和7年5月までに利用中止した調査対象用具	単点杖	1 100.0	-	-	1 100.0	-
	歩行器	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	多点杖	5 100.0	3 60.0	1 20.0	-	1 20.0

28. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 4[屋外歩行](販売・中止)【単一回答(SA)】

図表 2-53

現在の身体状況4 [屋外歩行]

		調査数	つかまら ないで できる	ば何か につか まら ない	一部 介助	全 介助
全体		7 100.0	1 14.3	3 42.9	1 14.3	2 28.6
に令和7 年5月 まで 調査 対象 用具	単点杖	1 100.0	-	-	-	1 100.0
	歩行器	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	1 100.0	-	1 100.0	-	-
	多点杖	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0

29. 相談員による利用者への聞き取り事項・現在の身体状況 5[移動](販売・中止)【単一回答(SA)】


図表 2-54

現在の身体状況5 [移動]

		調査数	し自立 (介 助 な)	見 守 り 等	一部 介助	全 介助
全体		7 100.0	4 57.1	1 14.3	1 14.3	1 14.3
に令和7 年5月 まで 調査 対象 用具	単点杖	1 100.0	-	-	1 100.0	-
	歩行器	-	-	-	-	-
	固定用スロープ	1 100.0	1 100.0	-	-	-
	多点杖	5 100.0	3 60.0	1 20.0	-	1 20.0

## 4.2 第3回調査票(令和7年5月実施)

### 1. 調査票A-1【貸与(2024/11継続)利用者用】

「福祉用具選択制の実施状況に関する追跡調査」登録シート（第3回：2025年5月）				
調査票A-1【貸与(2024/11継続)利用者用】				
<b>1. 調査いただく相談員の情報（web登録ではemailアドレスを最初に入力します）</b>				
○貸与事業所番号：（差し込み）	○相談員氏名：（差し込み）			
<b>2. 利用者に関する情報（2025年5月時点）</b>				
○利用者の社内管理番号（顧客コード等）：（差し込み）	※web入力の際は同じコードを入力ください。			
○要介護度： 要支援1・2・要介護1・2・3・4・5・申請中				
○調査対象用具：（差し込み）	○TAISコード： -			
○調査対象用具1個あたりの単位数： 単位				
○自己負担割合： 1割・2割・3割・なし・その他（ ）				
○他サービス利用状況（複数回答可、福祉用具貸与のみの場合は「なし」を選択）				
<input type="checkbox"/> 訪問介護	<input type="checkbox"/> 訪問入浴介護			
<input type="checkbox"/> 訪問看護	<input type="checkbox"/> 訪問リハビリ			
<input type="checkbox"/> 通所介護	<input type="checkbox"/> 通所リハビリ			
<input type="checkbox"/> 短期入所生活介護、療養介護	<input type="checkbox"/> なし			
<b>3. 相談員による確認事項</b>				
○昨年12月以降のモニタリング実施回数（今回を除く） 回				
○モニタリング実施又は回収時点の状況				
<input type="checkbox"/> 継続中				
○今回モニタリング実施日：（西暦） 年 月 日 ※次の設問（貸与継続の検討の結果）へ				
<input type="checkbox"/> 回収済				
○貸与終了日：（西暦） 年 月 日				
○回収した理由（複数回答可）				
<input type="checkbox"/> A_入院（医療機関）	<input type="checkbox"/> G_介助者介護への切り替え	<input type="checkbox"/> M_他の用具（貸与）への切り替え		
<input type="checkbox"/> B_入居（サ高住・有老）	<input type="checkbox"/> H_住改・リフォームへの切り替え	<input type="checkbox"/> N_他社への入れ替え		
<input type="checkbox"/> C_入所（老健・特養等）	<input type="checkbox"/> I_自立判定による保険適用外	<input type="checkbox"/> O_経済的理由		
<input type="checkbox"/> D_身体状況の悪化	<input type="checkbox"/> J_利用者が使用しなかった	<input type="checkbox"/> P_その他（自由記述）		
<input type="checkbox"/> E_身体状況の改善	<input type="checkbox"/> K_死亡	（ ）		
<input type="checkbox"/> F_転居（親族宅等）	<input type="checkbox"/> L_購入品への切り替え			
※回収済の場合の設問は以上です				
○貸与継続の検討の結果（回収済の場合を除く）				
貸与の継続 ・ 販売への切り替え				
<b>4. 相談員による利用者への聞き取り事項（回収済の場合を除く）</b>				
○現在の身体状況				
・立ち上がり	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> できない
・移乗	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・屋内歩行	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・屋外歩行	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・移動	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
○本シートはweb登録のための下書き用です。上記の内容は以下リンクより入力をお願いします。				
【登録期限：2025年6月25日（水）】	<a href="https://forms.gle/RJ9wzJbqXyLgX34v5">https://forms.gle/RJ9wzJbqXyLgX34v5</a>			

## 2. 調査票A-2【貸与(2024/11中止)利用者用】

「福祉用具選択制の実施状況に関する追跡調査」登録シート（第3回：2025年5月）

### 調査票A-2【貸与(2024/11中止)利用者用】

#### 1. 調査いただく相談員の情報（web登録ではemailアドレスを最初に入力します）

○貸与事業所番号：（差し込み）  
○相談員氏名：（差し込み）

#### 2. 利用者に関する情報

○利用者の社内管理番号（顧客コード等）：（差し込み） ※web入力の際は同じコードを入力ください。

○2024年11月までに利用中止した調査対象用具：（差し込み）

#### 3. 相談員による利用者への聞き取り事項（2025年5月時点）

○利用者の現在の状況

在宅で生活している  入院している  入所している  死亡された  その他（ ）  
※在宅生活以外の場合は以上です

○要介護度： 要支援1・2・要介護1・2・3・4・5・申請中

○他サービス利用状況（複数回答可、福祉用具貸与のみの場合は「なし」を選択）

訪問介護  訪問入浴介護  訪問看護  訪問リハビリ  
 通所介護  通所リハビリ  短期入所生活介護、療養介護  なし

○現在の身体状況

・立ち上がり	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> できない
・移乗	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・屋内歩行	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・屋外歩行	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・移動	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助

○現在における福祉用具の利用有無

有り  無し

○利用している福祉用具の種目（複数回答可）

・貸与

<input type="checkbox"/> 車いす	<input type="checkbox"/> 特殊寝台	<input type="checkbox"/> 床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/> 体位変換器
<input type="checkbox"/> 手すり	<input type="checkbox"/> スロープ	<input type="checkbox"/> 歩行器	<input type="checkbox"/> 歩行補助つえ
<input type="checkbox"/> 徘徊感知機器	<input type="checkbox"/> 移動用リフト	<input type="checkbox"/> 自動排泄処理装置	

・販売

<input type="checkbox"/> 腰掛便座	<input type="checkbox"/> 排泄予測支援機器	<input type="checkbox"/> 入浴補助用具	<input type="checkbox"/> 簡易浴槽
<input type="checkbox"/> スロープ	<input type="checkbox"/> 歩行器	<input type="checkbox"/> 歩行補助つえ	

○本シートはweb登録のための下書き用です。上記の内容は以下リンクより入力をお願いします。

【登録期限：2025年6月25日（水）】

<https://forms.gle/A1QJDcPdajDLq6hdA>



### 3. 調査票B-1【販売(2024/11 使用継続)利用者用】

「福祉用具選択制の実施状況に関する追跡調査」登録シート（第3回：2025年5月）

調査票B-1【販売(2024/11使用継続)利用者用】

#### 1. 調査いただく相談員の情報（web登録ではemailアドレスを最初に入力します）

○販売事業所番号：（差し込み）  
○相談員氏名：（差し込み）

#### 2. 利用者に関する情報（2025年5月時点）

○利用者の社内管理番号（顧客コード等）：（差し込み） ※web入力の際は同じコードを入力ください。

○要介護度： 要支援1・2・要介護1・2・3・4・5・申請中 調査対象用具：（差し込み）

○自己負担割合： 1割・2割・3割・なし・その他（ ）

○他サービス利用状況（複数回答可、福祉用具のみの場合は「なし」を選択）

- 訪問介護     訪問入浴介護     訪問看護     訪問リハビリ  
 通所介護     通所リハビリ     短期入所生活介護、療養介護     なし

#### 3. 相談員による利用者への聞き取り事項

○現在の身体状況

- |        |                                     |                                      |                               |                               |
|--------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| ・立ち上がり | <input type="checkbox"/> つかまらないでできる | <input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> できない |
| ・移乗    | <input type="checkbox"/> 自立（介助なし）   | <input type="checkbox"/> 見守り等        | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助  |
| ・屋内歩行  | <input type="checkbox"/> つかまらないでできる | <input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助  |
| ・屋外歩行  | <input type="checkbox"/> つかまらないでできる | <input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助  |
| ・移動    | <input type="checkbox"/> 自立（介助なし）   | <input type="checkbox"/> 見守り等        | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助  |

○この1年の間に、入院や入所はありましたか？

- 入院や入所はなかった  
 入院や入所があった（合計 　　か月）

○この1年の間に、福祉用具の再購入や新たな利用開始はありましたか？

- なかった  
 福祉用具を再度購入した（内容： 　　）  
 福祉用具の貸与を開始した（内容： 　　）  
 その他（ 　　）

○調査対象福祉用具の使用状況

使用できている ・ 使用していない → ○いつ頃から使用していないですか？

年 月 頃

○使用していない理由は何ですか？（複数回答可）

- 用具が使いづらいから  
 用具の調子が悪いから  
 用具が壊れたから  
 身体の状態が良くなったから  
 身体の状態が悪くなったから  
 ご利用者様が入院したから  
 ご利用者様が入所したから  
 ご利用者様が死亡したから  
 その他（ 　　）

○使用していない用具はどうしましたか？

- そのまま置いてある  
 家庭ごみ・粗大ごみなどで処分した  
 他人（身内を含む）に譲った  
 中古品として売却した  
 その他（ 　　）

○本シートはweb登録のための下書き用です。上記の内容は以下リンクより入力をお願いします。

【登録期限：2025年6月25日（水）】

<https://forms.gle/Z7mQhKpaHUwVC9iv7>



## 4. 調査票B-2【販売(2024/11 使用中止)利用者用】

「福祉用具選択制の実施状況に関する追跡調査」登録シート（第3回：2025年5月）

調査票B-2【販売（2024/11使用中止）利用者用】

### 1. 調査いただく相談員の情報（web登録ではemailアドレスを最初に入力します）

○販売事業所番号：（差し込み）  
○相談員氏名：（差し込み）

### 2. 利用者に関する情報

○利用者の社内管理番号（顧客コード等）：（差し込み） ※web入力の際は同じコードを入力ください。

○2024年11月までに使用中止した調査対象用具：（差し込み）

### 3. 相談員による利用者への聞き取り事項（2025年5月時点）

○利用者の現在の状況

在宅で生活している  入院している  入所している  死亡された  その他（ ）  
※在宅生活以外の場合は以上です

○要介護度： 要支援1・2・要介護1・2・3・4・5・申請中

○他サービス利用状況（複数回答可、福祉用具のみの場合は「なし」を選択）

訪問介護  訪問入浴介護  訪問看護  訪問リハビリ  
 通所介護  通所リハビリ  短期入所生活介護、療養介護  なし

○現在の身体状況

・立ち上がり  つかまらないでできる  何かにつかまればできる  一部介助  できない  
・移乗  自立（介助なし）  見守り等  一部介助  全介助  
・屋内歩行  つかまらないでできる  何かにつかまればできる  一部介助  全介助  
・屋外歩行  つかまらないでできる  何かにつかまればできる  一部介助  全介助  
・移動  自立（介助なし）  見守り等  一部介助  全介助

○現在における福祉用具の使用有無

有り  無し

○使用している福祉用具の種目（複数回答可）

・貸与

車いす  特殊寝台  床ずれ防止用具  体位変換器  
 手すり  スロープ  歩行器  歩行補助つえ  
 徘徊感知機器  移動用リフト  自動排泄処理装置

・販売

腰掛便座  排泄予測支援機器  入浴補助用具  簡易浴槽  
 スロープ  歩行器  歩行補助つえ

○本シートはweb登録のための下書き用です。上記の内容は以下リンクより入力をお願いします。

【登録期限：2025年6月25日（水）】

<https://forms.gle/ZGUEdVbKtnCVdNTW7>



## 4.3 第4回調査票(令和7年11月実施)

### 5. 調査票A-1【貸与(2025/5貸与継続)利用者用】

「福祉用具選択制の実施状況に関する追跡調査」登録シート（第4回：2025年11月）

調査票A-1【(2025/5貸与継続)利用者用】

**1. 調査いただく相談員の情報（web登録ではemailアドレスを最初に入力します）**

○貸与事業所番号： \_\_\_\_\_ ○相談員氏名： \_\_\_\_\_

**2. 利用者に関する情報（2025年11月時点）**

○利用者の社内管理番号（顧客コード等）： \_\_\_\_\_ ※web入力の際は同じコードを入力ください。

○要介護度： 要支援1・2・要介護1・2・3・4・5・申請中

○調査対象用具： \_\_\_\_\_ ○TAISコード： \_\_\_\_\_

○調査対象用具1個あたりの単位数： \_\_\_\_\_ 単位

○自己負担割合： 1割・2割・3割・なし・その他（ \_\_\_\_\_ ）

○他サービス利用状況（複数回答可、福祉用具貸与のみの場合は「なし」を選択）

訪問介護    訪問入浴介護    訪問看護    訪問リハビリ  
 通所介護    通所リハビリ    短期入所生活介護、療養介護    なし

**3. 相談員による確認事項**

○本年6月以降のモニタリング実施回数（今回を除く）  
 \_\_\_\_\_ 回

○モニタリング実施又は回収時点の状況

継続中  
 ○今回モニタリング実施日：（西暦） \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ※次の設問（貸与継続の検討の結果）へ

回収済  
 ○貸与終了日：（西暦） \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

○回収した理由（複数回答可）

<input type="checkbox"/> A_入院（医療機関）	<input type="checkbox"/> G_介助者介護への切り替え	<input type="checkbox"/> M_他の用具（貸与）への切り替え
<input type="checkbox"/> B_入居（サ高住・有老）	<input type="checkbox"/> H_住改・リフォームへの切り替え	<input type="checkbox"/> N_他社への入れ替え
<input type="checkbox"/> C_入所（老健・特養等）	<input type="checkbox"/> I_自立判定による保険適用外	<input type="checkbox"/> O_経済的理由
<input type="checkbox"/> D_身体状況の悪化	<input type="checkbox"/> J_利用者が使用したがない	<input type="checkbox"/> P_その他（自由記述） （ _____ ）
<input type="checkbox"/> E_身体状況の改善	<input type="checkbox"/> K_死亡	
<input type="checkbox"/> F_転居（親族宅等）	<input type="checkbox"/> L_購入品への切り替え	

※回収済の場合の設問は以上です

○貸与継続の検討の結果（回収済の場合を除く）  
 貸与の継続 ・ 販売への切り替え


**4. 相談員による利用者への聞き取り事項（回収済の場合を除く）**

○現在の身体状況

・立ち上がり	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> できない
・移乗	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・屋内歩行	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・屋外歩行	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・移動	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助

○本シートはweb登録のための下書き用です。上記の内容は以下リンクより入力をお願いします。  
 【登録期限：2025年12月12日（金）】 <https://forms.gle/zK1XcLnAniGmjpw9>

※本年5月の福祉用具利用状況に応じて調査票様式が異なりますので、必ず本書面のリンクを使用ください。



## 6. 調査票A-2【貸与(2025/5貸与中止)利用者用】

「福祉用具選択制の実施状況に関する追跡調査」登録シート（第4回：2025年11月）

調査票A-2【(2025/5貸与中止)利用者用】

### 1. 調査いただく相談員の情報（web登録ではemailアドレスを最初に入力します）

○貸与事業所番号： \_\_\_\_\_ ○相談員氏名： \_\_\_\_\_

### 2. 利用者に関する情報

○利用者の社内管理番号（顧客コード等）： \_\_\_\_\_ ※web入力の際は同じコードを入力ください。

○2025年5月までに利用中止した調査対象用具： \_\_\_\_\_

### 3. 相談員による利用者への聞き取り事項（2025年11月時点）

○利用者の現在の状況

在宅で生活している  入院している  入所している  死亡された  その他（ \_\_\_\_\_ ）

※在宅生活以外の場合は以上です

○要介護度： 要支援1・2・要介護1・2・3・4・5・自立・申請中 \_\_\_\_\_

○他サービス利用状況（複数回答可、福祉用具貸与のみの場合は「なし」を選択）

訪問介護  訪問入浴介護  訪問看護  訪問リハビリ  
 通所介護  通所リハビリ  短期入所生活介護、療養介護  なし

○現在の身体状況

・立ち上がり	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> できない
・移乗	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・屋内歩行	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・屋外歩行	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・移動	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助

○現在における福祉用具の利用有無

有り  無し

○利用している福祉用具の種目（複数回答可）

・貸与

<input type="checkbox"/> 車いす	<input type="checkbox"/> 特殊寝台	<input type="checkbox"/> 床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/> 体位変換器
<input type="checkbox"/> 手すり	<input type="checkbox"/> スロープ	<input type="checkbox"/> 歩行器	<input type="checkbox"/> 歩行補助つえ
<input type="checkbox"/> 徘徊感知機器	<input type="checkbox"/> 移動用リフト	<input type="checkbox"/> 自動排泄処理装置	

・販売

<input type="checkbox"/> 腰掛便座	<input type="checkbox"/> 排泄予測支援機器	<input type="checkbox"/> 入浴補助用具	<input type="checkbox"/> 簡易浴槽
<input type="checkbox"/> スロープ	<input type="checkbox"/> 歩行器	<input type="checkbox"/> 歩行補助つえ	

○本シートはweb登録のための下書き用です。上記の内容は以下リンクより入力をお願いします。

【登録期限：2025年12月12日（金）】 <https://forms.gle/2QZD2XxFryV57zpSA>

※本年5月の福祉用具利用状況に応じて調査票様式が異なりますので、必ず本書面のリンクを使用ください。



## 7. 調査票B-1【販売(2025/5 販売使用継続)利用者用】

「福祉用具選択制の実施状況に関する追跡調査」登録シート（第4回：2025年11月）

調査票B-1【(2025/5販売使用継続)利用者用】

### 1. 調査いただく相談員の情報（web登録ではemailアドレスを最初に入力します）

○販売事業所番号： \_\_\_\_\_ ○相談員氏名： \_\_\_\_\_

### 2. 利用者に関する情報（2025年11月時点）

○利用者の社内管理番号（顧客コード等）： \_\_\_\_\_ ※web入力の際は同じコードを入力ください。

○要介護度： 要支援1・2・要介護1・2・3・4・5・自立・申請中 調査対象用具： \_\_\_\_\_

○自己負担割合： 1割・2割・3割・なし・その他（ \_\_\_\_\_ ）

○他サービス利用状況（複数回答可、福祉用具のみの場合は「なし」を選択）

- 訪問介護     訪問入浴介護     訪問看護     訪問リハビリ  
 通所介護     通所リハビリ     短期入所生活介護、療養介護     なし

### 3. 相談員による利用者への聞き取り事項

○現在の身体状況

- |        |                                     |                                      |                               |                               |
|--------|-------------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| ・立ち上がり | <input type="checkbox"/> つかまらないでできる | <input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> できない |
| ・移乗    | <input type="checkbox"/> 自立（介助なし）   | <input type="checkbox"/> 見守り等        | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助  |
| ・屋内歩行  | <input type="checkbox"/> つかまらないでできる | <input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助  |
| ・屋外歩行  | <input type="checkbox"/> つかまらないでできる | <input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助  |
| ・移動    | <input type="checkbox"/> 自立（介助なし）   | <input type="checkbox"/> 見守り等        | <input type="checkbox"/> 一部介助 | <input type="checkbox"/> 全介助  |

○この6か月の間に、入院や入所はありましたか？

- 入院や入所はなかった  
 入院や入所があった（合計 \_\_\_\_\_ か月）

○この6か月の間に、福祉用具の再購入や新たな利用開始はありましたか？

- なかった  
 福祉用具を再度購入した（内容： \_\_\_\_\_ ）  
 福祉用具の貸与を開始した（内容： \_\_\_\_\_ ）  
 その他（ \_\_\_\_\_ ）

○調査対象福祉用具の使用状況

使用できている ・ 使用していない → ○いつ頃から使用していないですか？

年 月 頃

○使用していない理由は何ですか？（複数回答可）

- 用具が使いづらいから  
 用具の調子が悪いから  
 用具が壊れたから  
 身体の状態が良くなったから  
 身体の状態が悪くなったから  
 ご利用者様が入院したから  
 ご利用者様が入所したから  
 ご利用者様が死亡したから  
 その他（ \_\_\_\_\_ ）

○使用していない用具はどうしましたか？

- そのまま置いてある  
 家庭ごみ・粗大ごみなどで処分した  
 他人（身内を含む）に譲った  
 中古品として売却した  
 その他（ \_\_\_\_\_ ）

○本シートはweb登録のための下書き用です。上記の内容は以下リンクより入力をお願いします。

【登録期限：2025年12月12日（金）】

<https://forms.gle/dB9oZJwdmnEWcqRd7>

※本年5月の福祉用具利用状況に応じて調査票様式が異なりますので、必ず本書面のリンクを使用ください。



## 8. 調査票B-2【販売(2025/5 販売使用中止)利用者用】

「福祉用具選択制の実施状況に関する追跡調査」登録シート（第4回：2025年11月）

調査票B-2【(2025/5販売使用中止)利用者用】

### 1. 調査いただく相談員の情報（web登録ではemailアドレスを最初に入力します）

○販売事業所番号： \_\_\_\_\_ ○相談員氏名： \_\_\_\_\_

### 2. 利用者に関する情報

○利用者の社内管理番号（顧客コード等）： \_\_\_\_\_ ※web入力の際は同じコードを入力ください。

○2025年5月までに使用中止した調査対象用具： \_\_\_\_\_

### 3. 相談員による利用者への聞き取り事項（2025年11月時点）

○利用者の現在の状況

在宅で生活している     入院している     入所している     死亡された     その他（    ）  
※在宅生活以外の場合は以上です

○要介護度： 要支援1・2・要介護1・2・3・4・5・自立・申請中

○他サービス利用状況（複数回答可、福祉用具のみの場合は「なし」を選択）

訪問介護     訪問入浴介護     訪問看護     訪問リハビリ  
 通所介護     通所リハビリ     短期入所生活介護、療養介護     なし

○現在の身体状況

・立ち上がり	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> できない
・移乗	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・屋内歩行	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・屋外歩行	<input type="checkbox"/> つかまらないでできる	<input type="checkbox"/> 何かにつかまればできる	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助
・移動	<input type="checkbox"/> 自立（介助なし）	<input type="checkbox"/> 見守り等	<input type="checkbox"/> 一部介助	<input type="checkbox"/> 全介助

○現在における福祉用具の使用有無

有り     無し

○使用している福祉用具の種目（複数回答可）

・貸与

<input type="checkbox"/> 車いす	<input type="checkbox"/> 特殊寝台	<input type="checkbox"/> 床ずれ防止用具	<input type="checkbox"/> 体位変換器
<input type="checkbox"/> 手すり	<input type="checkbox"/> スロープ	<input type="checkbox"/> 歩行器	<input type="checkbox"/> 歩行補助つえ
<input type="checkbox"/> 徘徊感知機器	<input type="checkbox"/> 移動用リフト	<input type="checkbox"/> 自動排泄処理装置	

・販売

<input type="checkbox"/> 腰掛便座	<input type="checkbox"/> 排泄予測支援機器	<input type="checkbox"/> 入浴補助用具	<input type="checkbox"/> 簡易浴槽
<input type="checkbox"/> スロープ	<input type="checkbox"/> 歩行器	<input type="checkbox"/> 歩行補助つえ	

○本シートはweb登録のための下書き用です。上記の内容は以下リンクより入力をお願いします。

【登録期限：2025年12月12日（金）】    <https://forms.gle/WLoYpDkH3mx45Lgo7>

※本年5月の福祉用具利用状況に応じて調査票様式が異なりますので、必ず本書面のリンクを使用ください。





福祉用具選択制の実施状況に関する追跡調査 報告書

---

令和8年3月

発行者 一般社団法人日本福祉用具供給協会

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-15 三電舎ビル4階

TEL 03-6721-5222

FAX 03-3434-3414

---